

令和3年度
「県民幸福度アンケート」
調査結果報告書

令和5年3月

群馬県

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査内容	2
3.	調査の設計	2
4.	集計・分析にあたって	2
5.	標本補正について	3
6.	回収率	5
7.	回答者の属性	7
8.	回答者の属性（地域別）	10
	（1）性別	10
	（2）年代	11
	（3）職業	12
	（4）居住歴	13
	（5）居住年数	14
	（6）世帯構成	15
	（7）世帯年収	16
	（8）未既婚状況	17
	（9）子どもの有無	18
II	調査結果	21
1.	「幸福」に関する考え方などについて	22
	（1）幸福感について	22
	（2）幸福感と満足度の関係について	28
	（3）満足度と重視度の関係について	60
2.	『群馬県に対する気持ち』について	62
	（1）群馬県のよいところ	62
	（2）群馬県への誇り	68
	（3）今後の居留意向	70
3.	居住地域や社会状況等への所感（充足感）について	72
	（1）充足度結果一覧	72
4.	情報発信について	76
	（1）県政に関する情報の入手媒体	76
	（2）群馬県制作動画の視聴頻度	78
	（3）アニメ「ぐんまちゃん」の認知度・視聴状況	80
5.	デジタルトランスフォーメーション（DX）について	82
	（1）デジタル化の推進意向	82
6.	新・群馬県総合計画について	84
	（1）『始動人』の認知度	84
(付)	調査票	87

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「県民の幸福度の向上」に向けた取組を推進する中で、幸福を実感できる社会の実現に向けて各種施策を検討するにあたり、県民の「幸福」への考え方や意識、日常生活への満足感等を把握し、より良い県政運営につなげるため実施しました。

2. 調査内容

- (1) 質問項目（項目数：65 問）
 - ア 県民の主観的幸福感についての項目（本質問 7 問（実質問数 20 問））
 - イ 施策実感についての項目（本質問 1 問（実質問数 40 問））
 - ウ 特定の施策についての項目（本質問 5 問）
- (2) 回答者属性（項目数：10 問）

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 群馬県内全域
- (2) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,300 人
- (4) 抽出方法 選挙人名簿を用いた層化二段無作為抽出法
11 地域から 300 人ずつ
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送・電子申請受付による無記名回収
- (6) 調査期間 令和 3 年 12 月 7 日～12 月 24 日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」は回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
例：回答者総数 3 人で、「はい」：1 人（33.3%）、「いいえ」 1 人（33.3%）、「無回答」：1 人（33.3%）の場合、合計は 100%となりません。
- (3) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えることがあります。
- (4) 本文及び図表中、意味を損なわない範囲で簡略化した選択肢があります。
- (5) 属性別分析の記載については、「無回答者」等は割愛しています。

5. 標本補正について

本調査では、地域別の状況把握ができるよう、各地域一律 300 標本を抽出しています。しかし、このままでは実際の人口との歪みが生じるため、県全体のアンケート結果の集計・分析にあたり、各地域の回答結果を単純に合計するのではなく、回答者の居住地の偏りを補正し、回答者の構成が県全体の縮図となるよう、地域別の集計ウエイト（地域ウエイト）を乗じて規正しました。（地域区分は地域分布図を参照）

全体（全県）集計結果は、規正標本数を基に回答者の割合（百分率%）を補正しています。

なお、本章（I 調査概要）の 7. 回答者の属性の頁、及び、8. 回答者の属性（地域別）の頁については、全体（全県）集計結果への補正を行わない値（通常集計）を以って掲載しています。

加えて、規正標本数は乗算結果の小数点以下第 1 位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。

地域別の有効回収数と「地域ウエイト」（推定母集団構成比÷有効回収構成比）

地域名	推定母集団 (18歳以上人口数)		有効回収数		地域ウエイト (A) / (B)
	実数 (人)	構成比 (%) (A)	実数 (人)	構成比 (%) (B)	
1 前橋地域	277,219	17.0	138	8.9	1.8989
2 北群馬渋川地域	94,180	5.8	130	8.4	0.6848
3 佐波伊勢崎地域	205,087	12.5	136	8.8	1.4254
4 高崎・安中地域	356,591	21.8	146	9.4	2.3087
5 多野藤岡地域	57,007	3.5	131	8.5	0.4113
6 甘楽富岡地域	59,577	3.6	141	9.1	0.3994
7 吾妻地域	46,782	2.9	153	9.9	0.2890
8 利根沼田地域	67,596	4.1	146	9.4	0.4376
9 太田地域	183,186	11.2	127	8.2	1.3634
10 桐生・みどり地域	135,907	8.3	141	9.1	0.9111
11 邑楽館林地域	151,344	9.3	156	10.1	0.9170
合計	1,634,476	100.0	1,545	100.0	—
無回答	—	—	37	—	1.0000

※18歳以上人口数出典：群馬県年齢別人口統計調査結果（令和元年10月1日現在、年齢不詳は除く）

「規正標本数」（個々の回答者に「地域ウエイト」を乗じて規正した標本数）

地域	合計	性別		年代					
		男性	女性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	1,582	646	894	163	156	241	274	338	399
	100.0	40.9	56.5	10.3	9.9	15.2	17.3	21.4	25.3
前橋地域	262	106	152	40	42	40	55	49	36
	100.0	40.6	58.0	15.2	15.9	15.2	21.0	18.8	13.8
北群馬渋川地域	89	37	51	13	11	18	15	16	15
	100.0	41.4	56.7	14.6	12.3	20.7	16.9	17.6	16.9
佐波伊勢崎地域	193	76	114	4	16	40	34	58	38
	100.0	39.1	59.1	2.2	8.1	20.7	17.7	30.3	19.9
高崎・安中地域	337	125	199	37	28	51	72	65	85
	100.0	37.0	58.9	11.0	8.2	15.1	21.2	19.2	25.3
多野藤岡地域	54	24	29	9	5	7	7	9	18
	100.0	45.0	54.2	16.8	8.4	12.2	12.2	17.6	32.8
甘楽富岡地域	57	22	33	6	6	8	11	11	13
	100.0	37.9	57.5	10.5	11.2	14.0	19.6	19.6	23.2
吾妻地域	44	20	23	2	2	6	6	9	19
	100.0	45.8	52.3	4.6	3.9	14.4	13.7	20.9	42.5
利根沼田地域	64	28	36	5	7	8	12	17	15
	100.0	43.8	56.2	8.2	10.3	12.3	18.5	26.7	24.0
太田地域	173	76	95	29	18	23	22	37	44
	100.0	44.2	55.2	16.6	10.3	13.4	12.6	21.3	25.2
桐生・みどり地域	129	56	71	7	10	18	22	31	39
	100.0	43.2	55.3	5.7	7.8	14.2	17.0	24.1	30.5
邑楽館林地域	143	67	72	8	12	16	17	30	60
	100.0	46.8	50.6	5.8	8.3	10.9	11.5	21.1	41.6

※「地域（市町村）」「性別」「年代」いずれか不明の人は補正除外とした

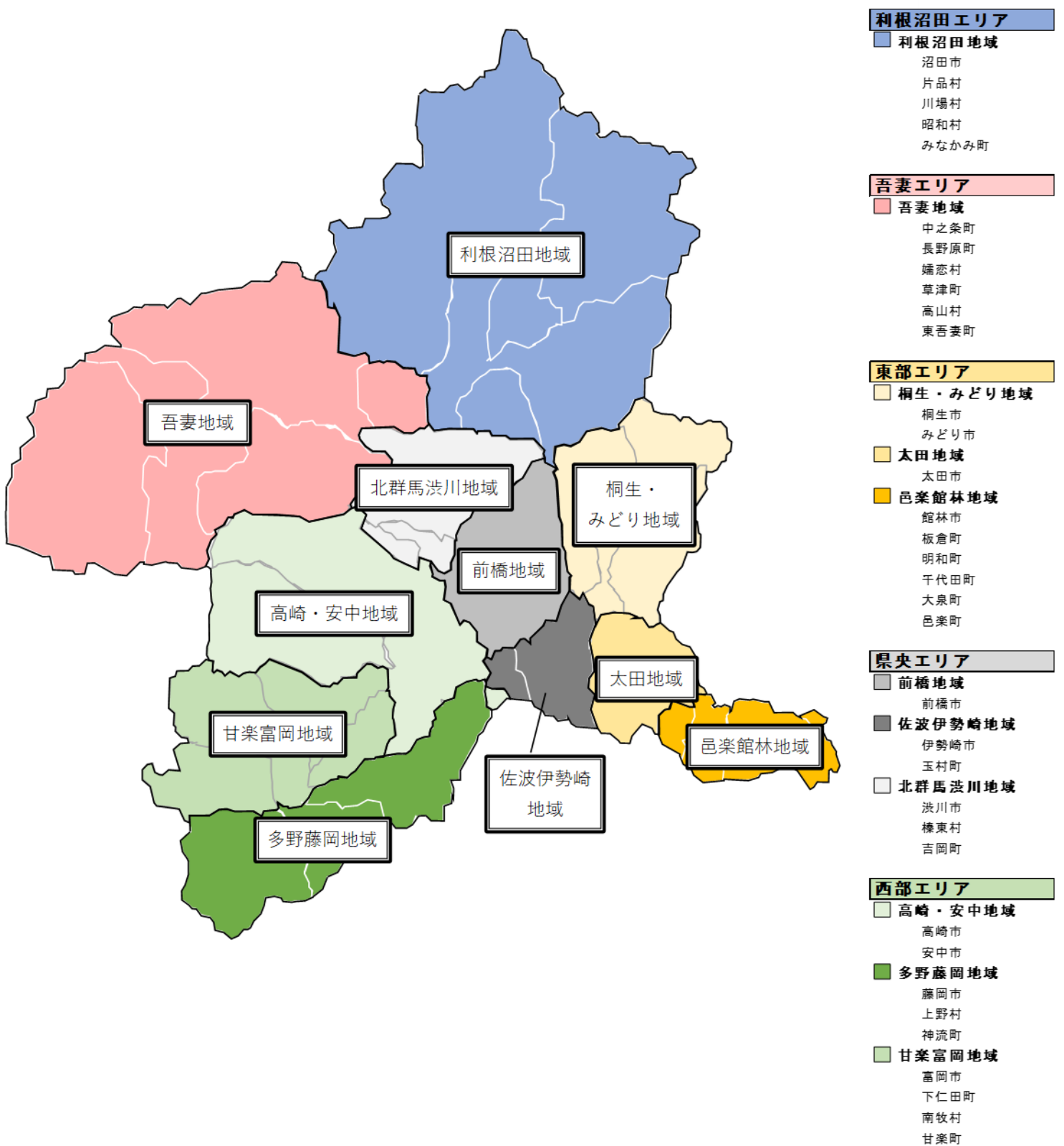
6. 回収率

(1) 有効回収数：1,582 件

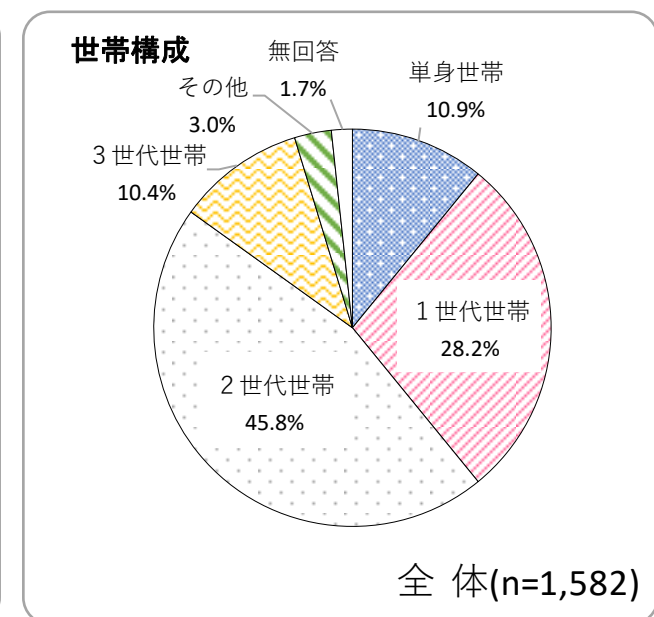
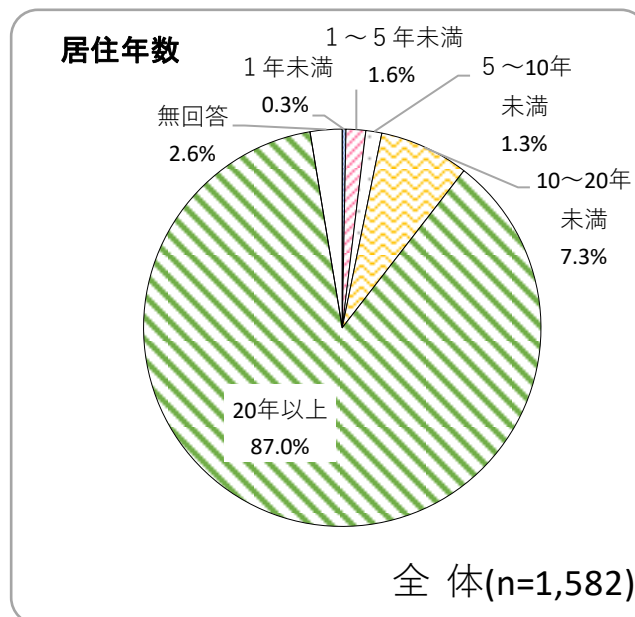
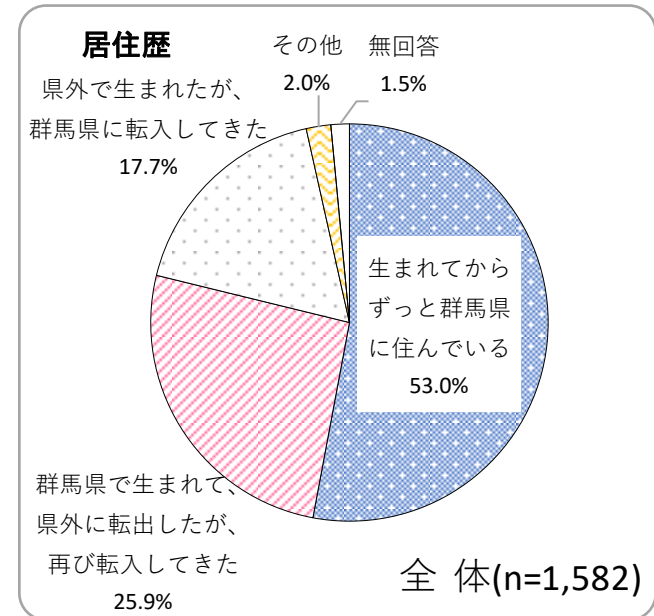
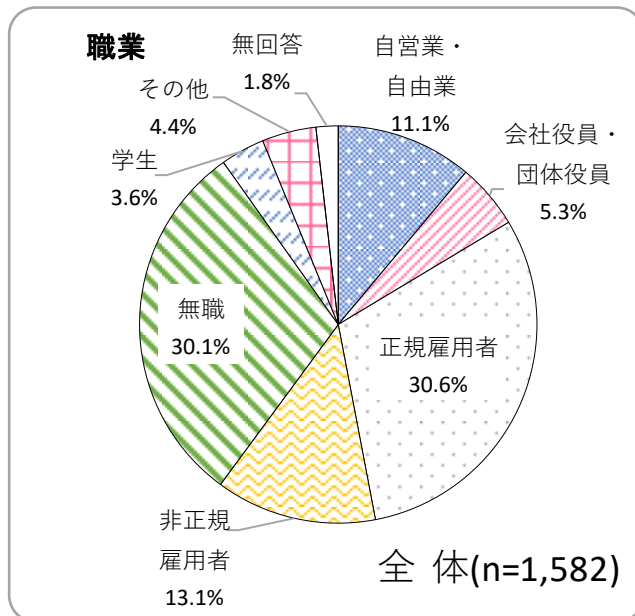
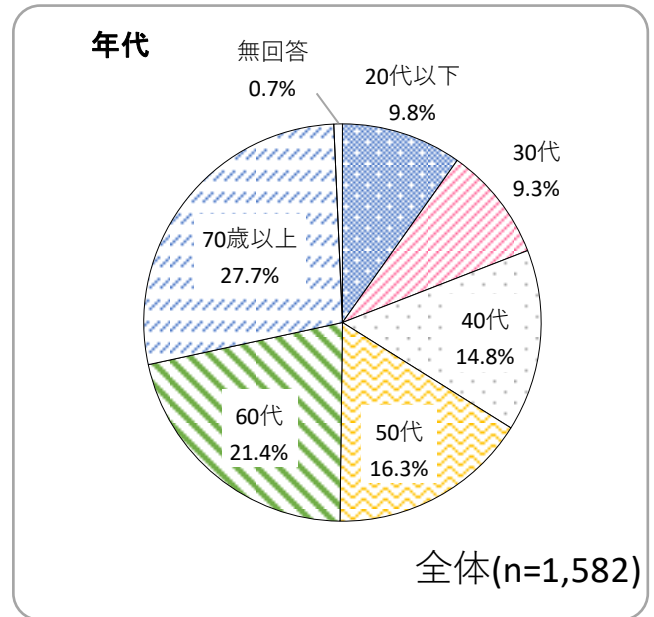
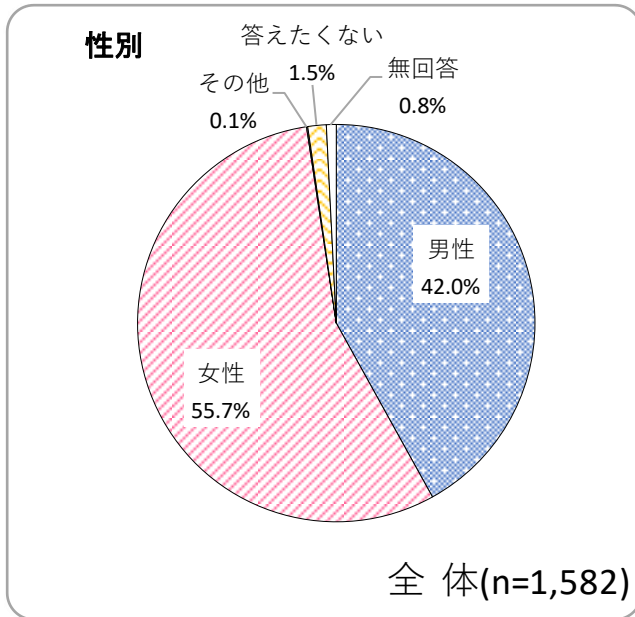
(2) 有効回収率：47.9%

	地域	市町村	有効回収数	回収率
1	前橋地域	前橋市	138	46.0
2	北群馬渋川地域	渋川市、榛東村、吉岡町	130	43.3
3	佐波伊勢崎地域	伊勢崎市、玉村町	136	45.3
4	高崎・安中地域	高崎市、安中市	146	48.7
5	多野藤岡地域	藤岡市、上野村、神流町	131	43.7
6	甘楽富岡地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町	141	47.0
7	吾妻地域	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町	153	51.0
8	利根沼田地域	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町	146	48.7
9	太田地域	太田市	127	42.3
10	桐生・みどり地域	桐生市、みどり市	141	47.0
11	邑楽郡館林地域	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町	156	52.0
居住地域無回答			37	
合計			1,582	47.9

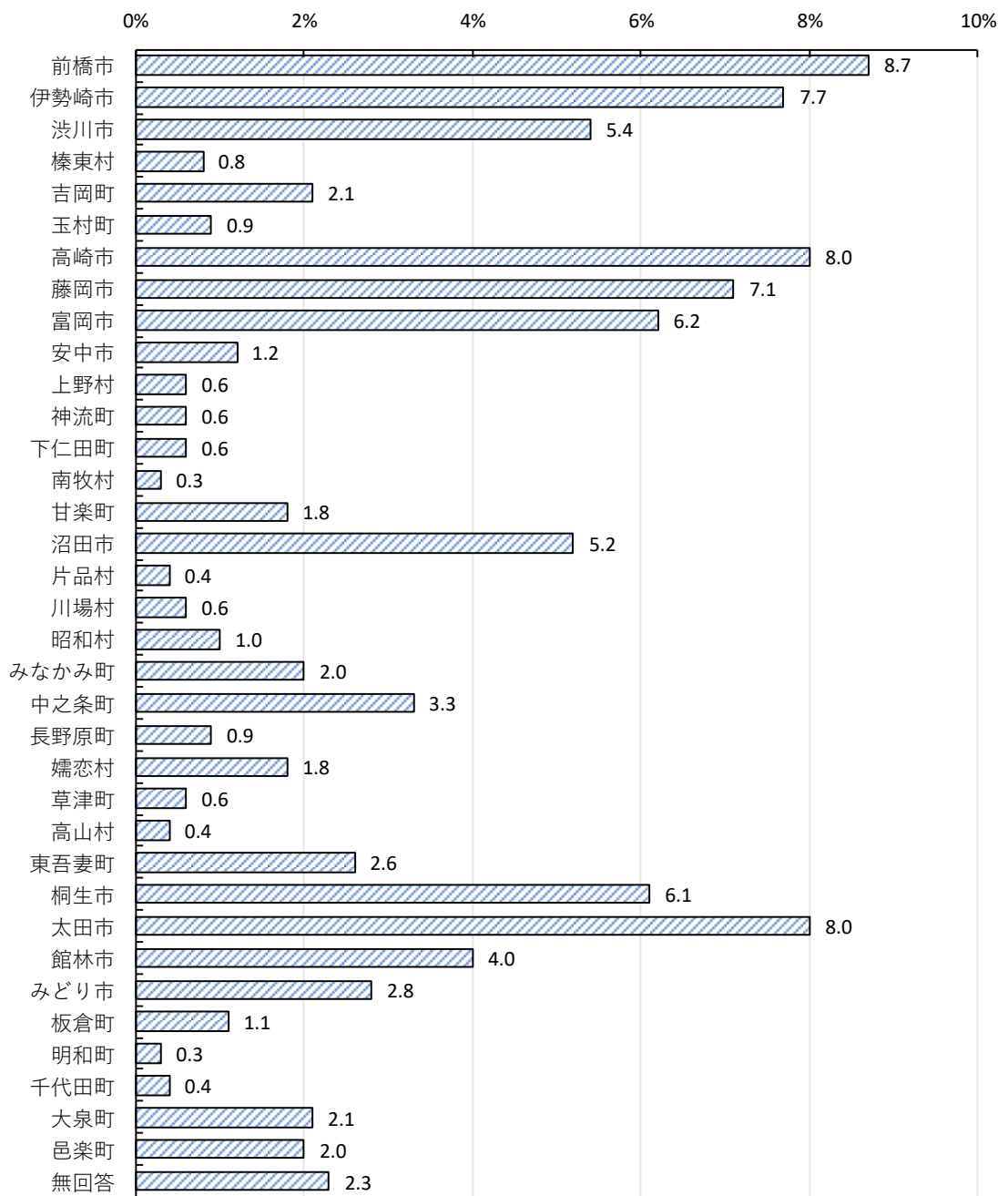
【地域分布図】



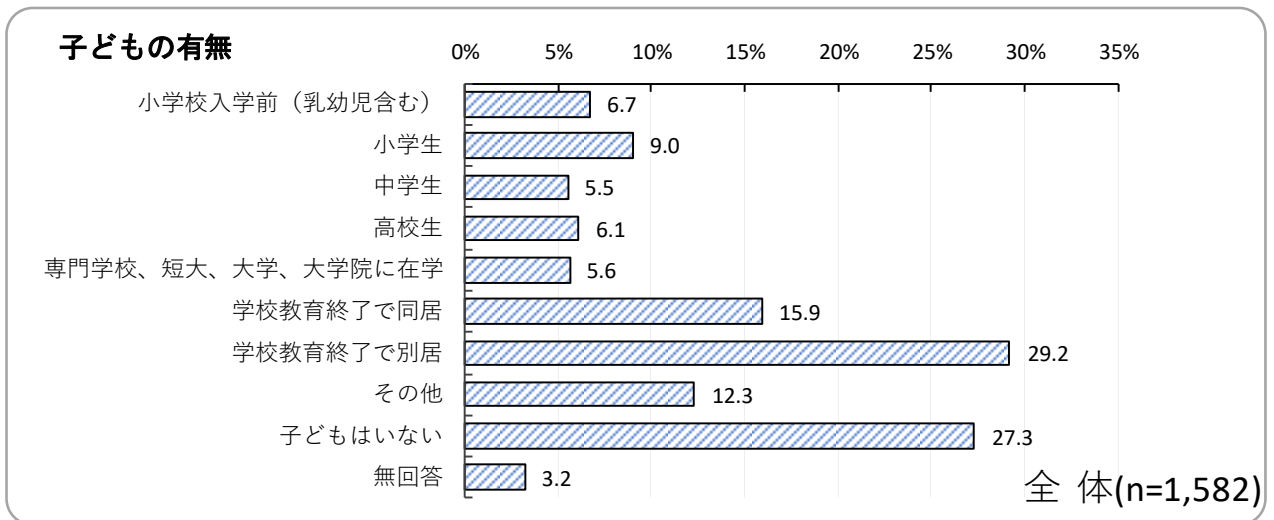
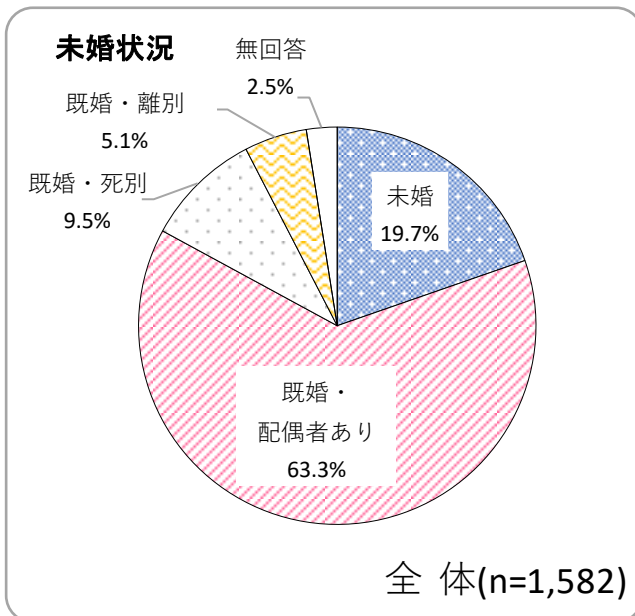
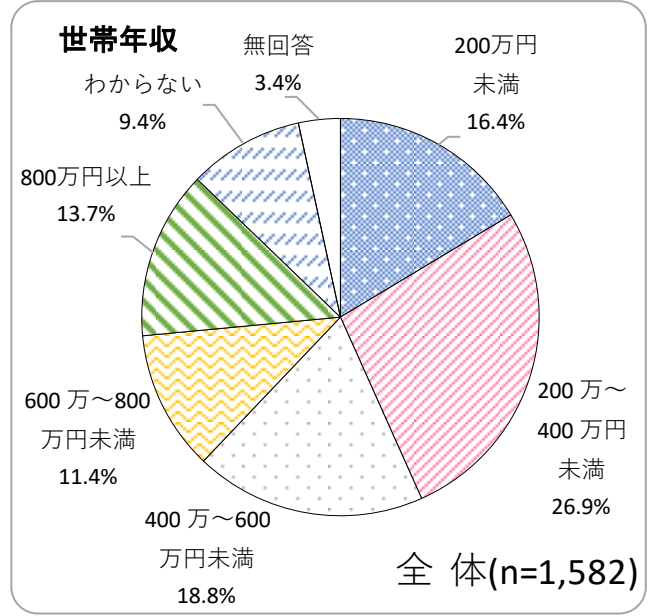
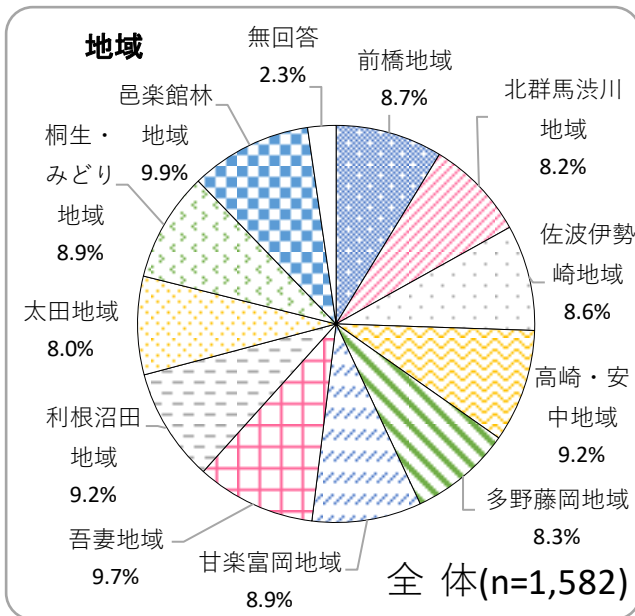
7. 回答者の属性



居住市町村

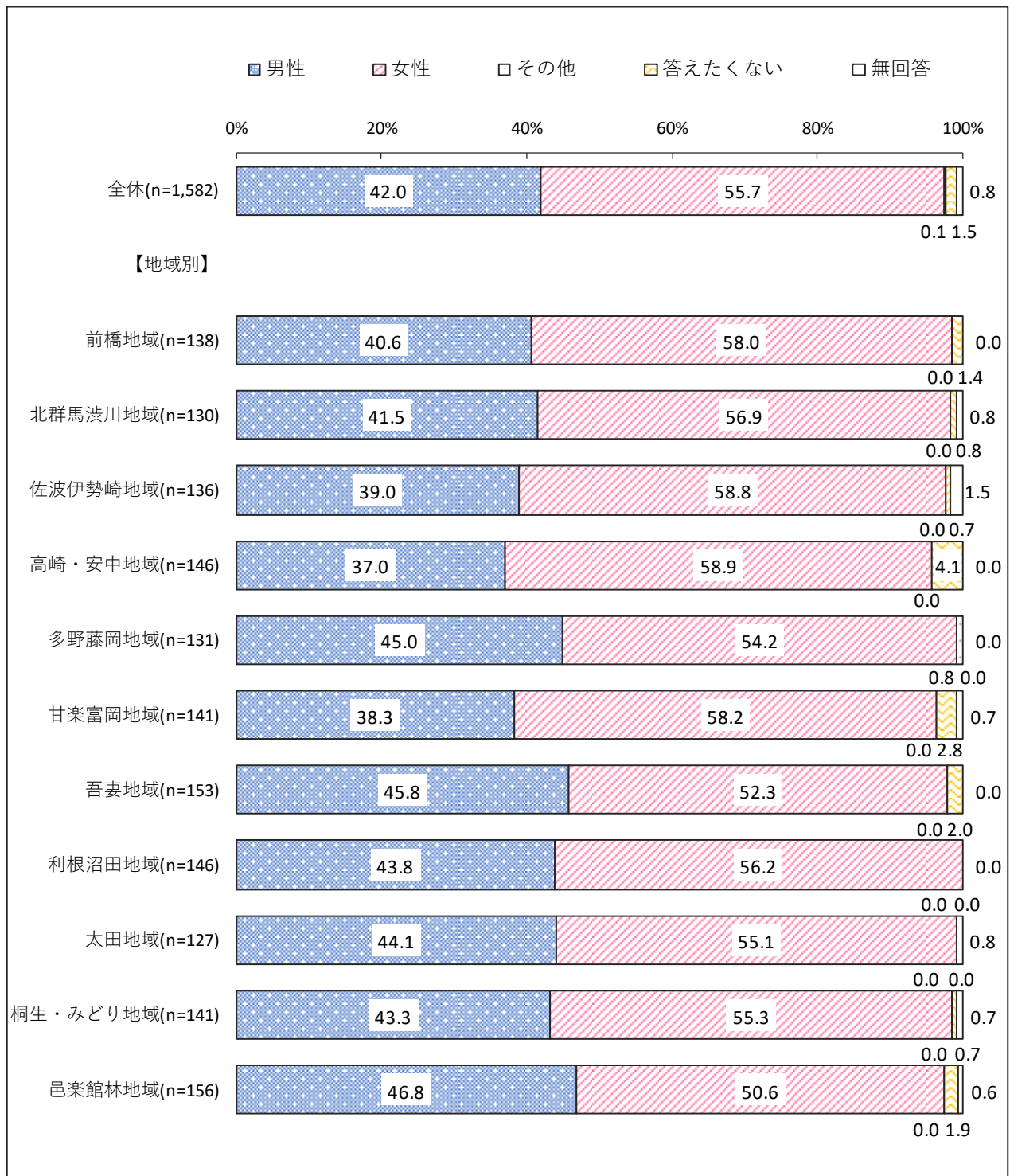


全体(n=1,582)

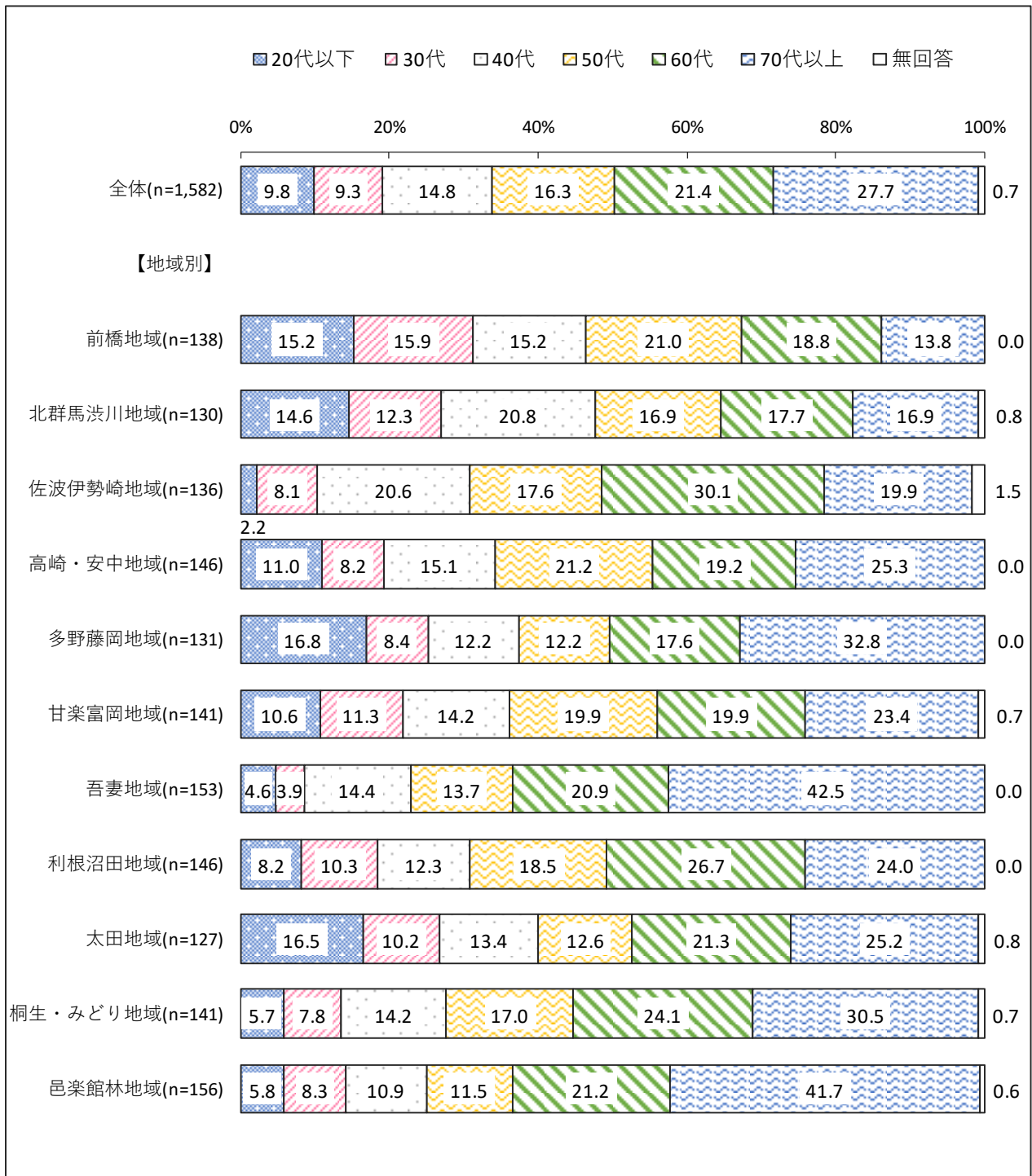


8. 回答者の属性（地域別）

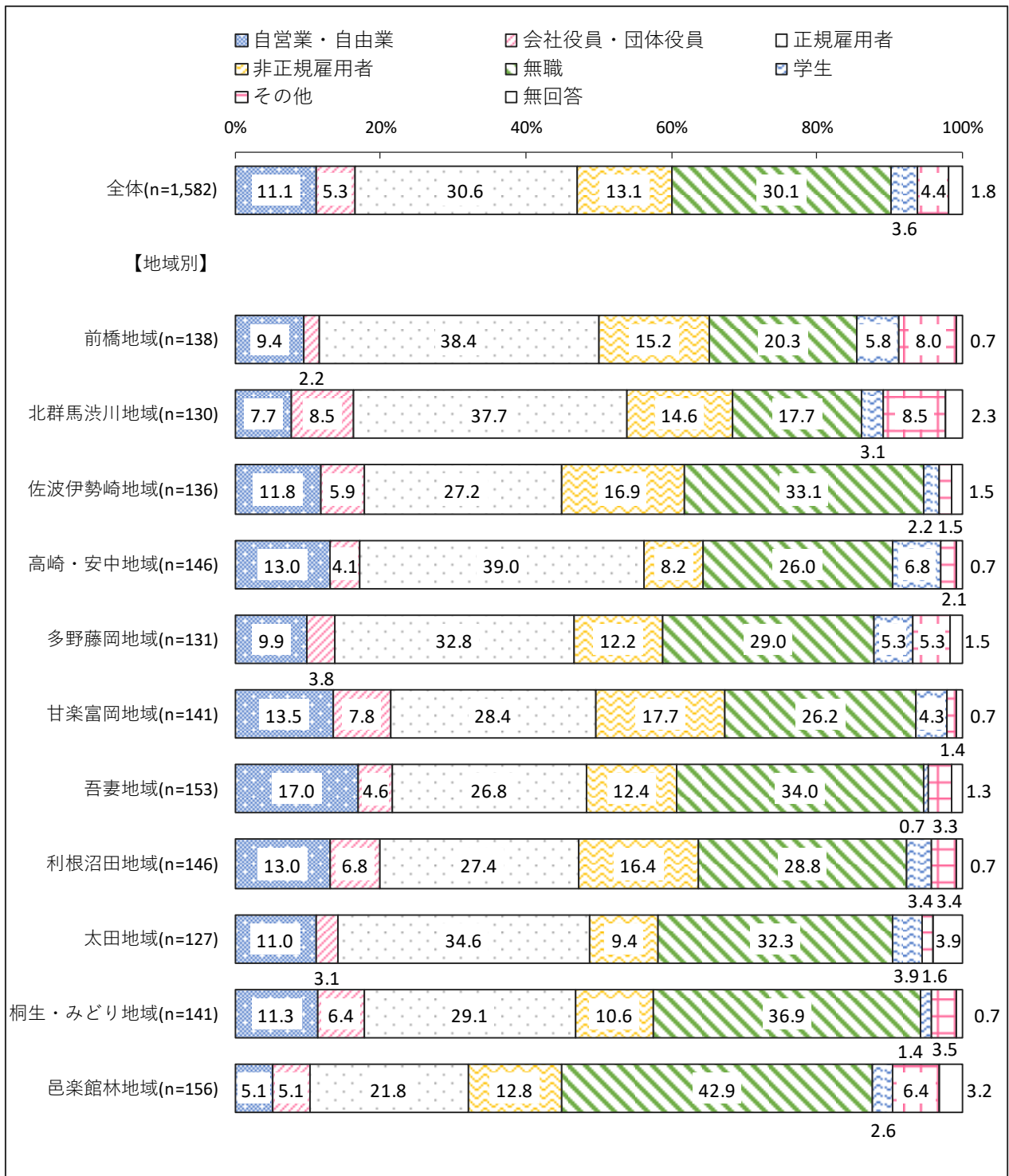
（1）性別



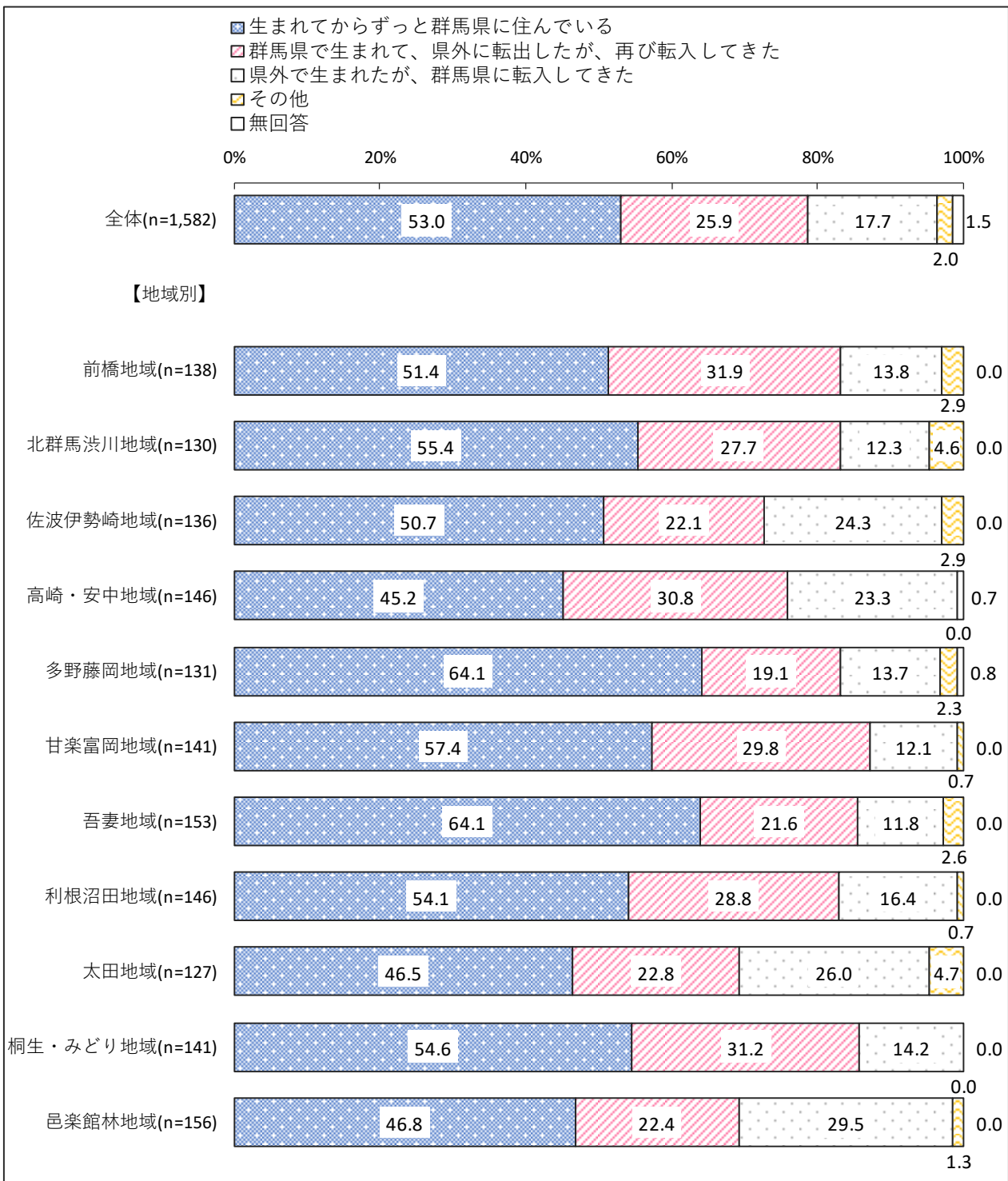
(2) 年代



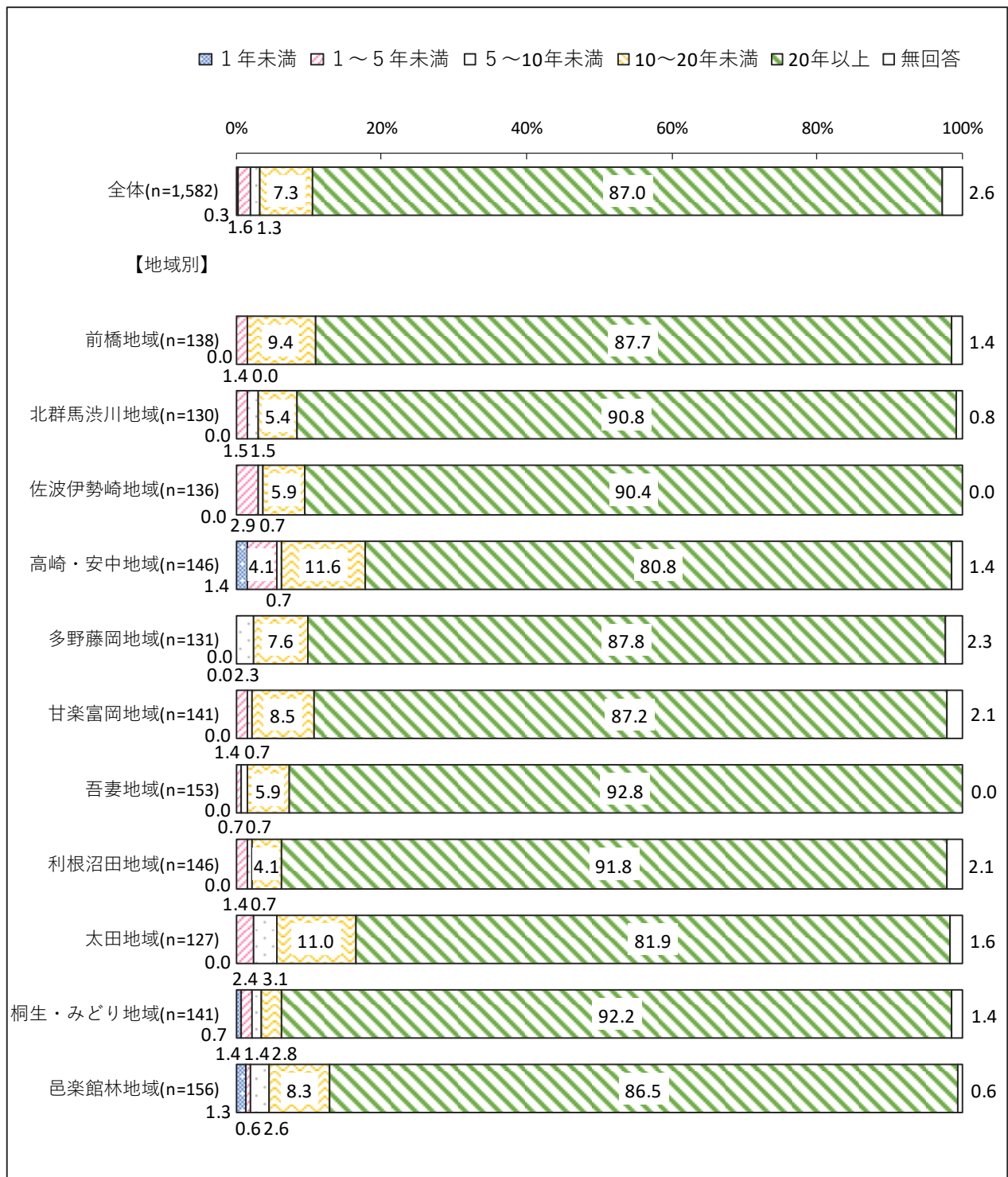
(3) 職業



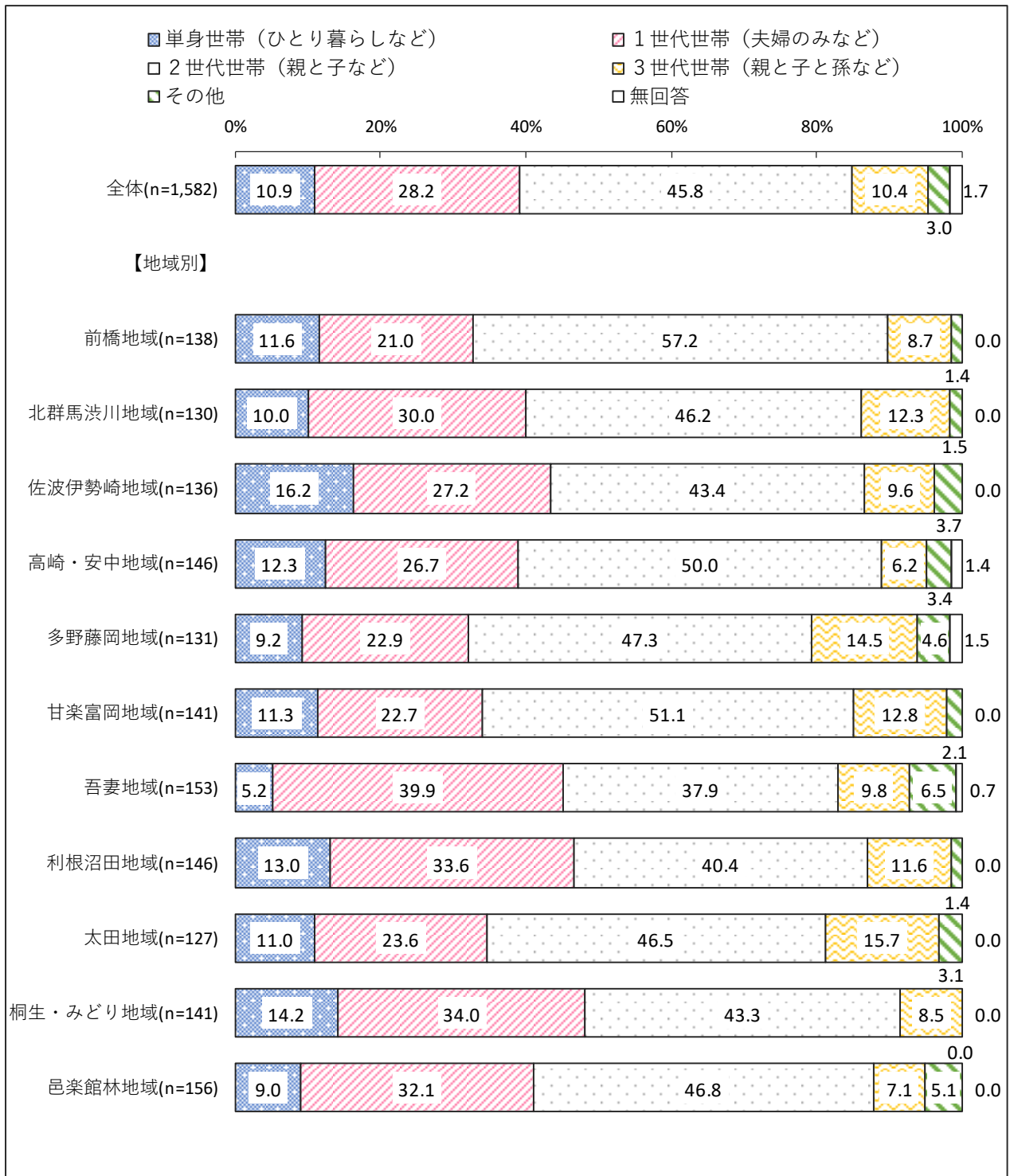
(4) 居住歴



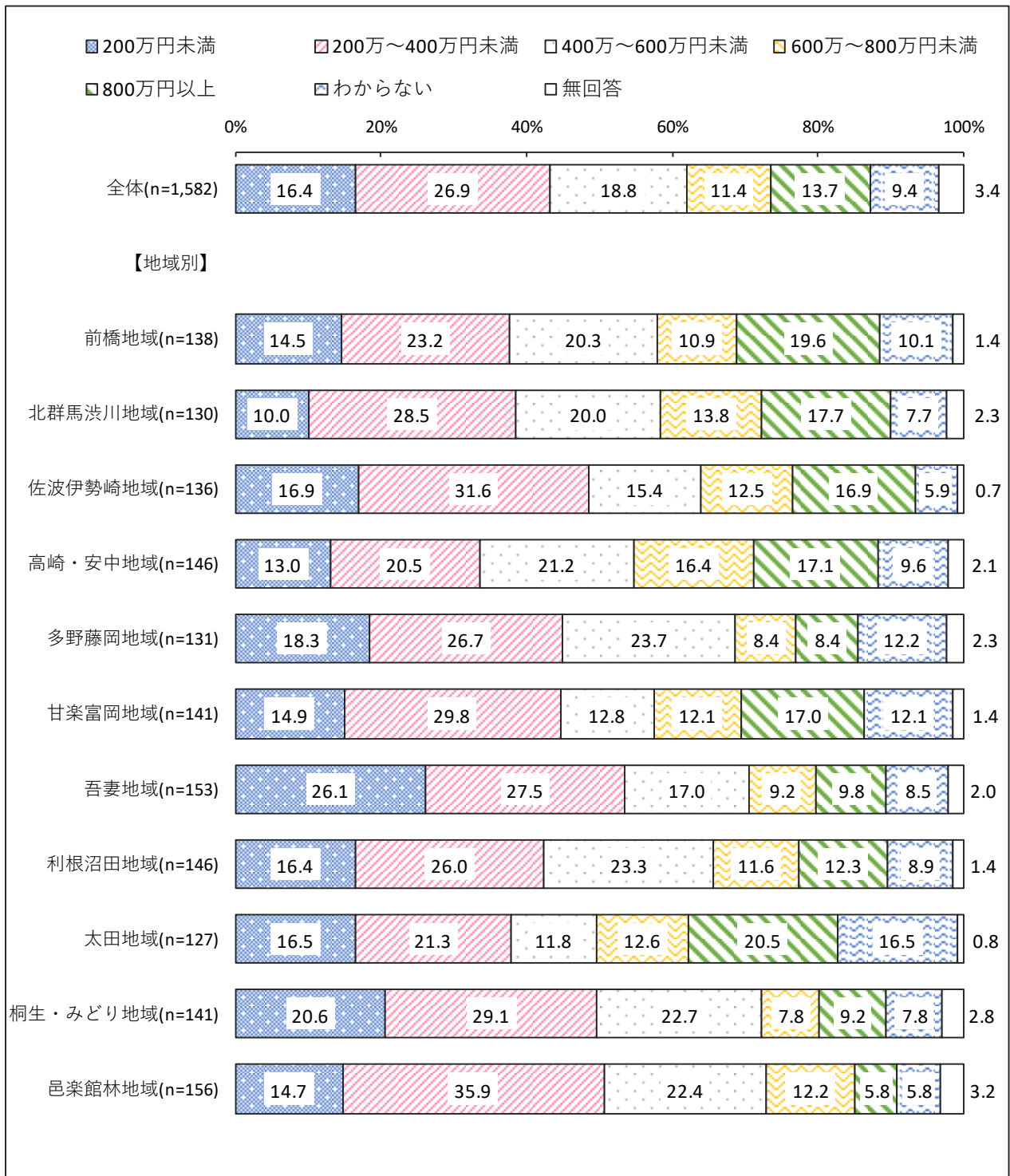
(5) 居住年数



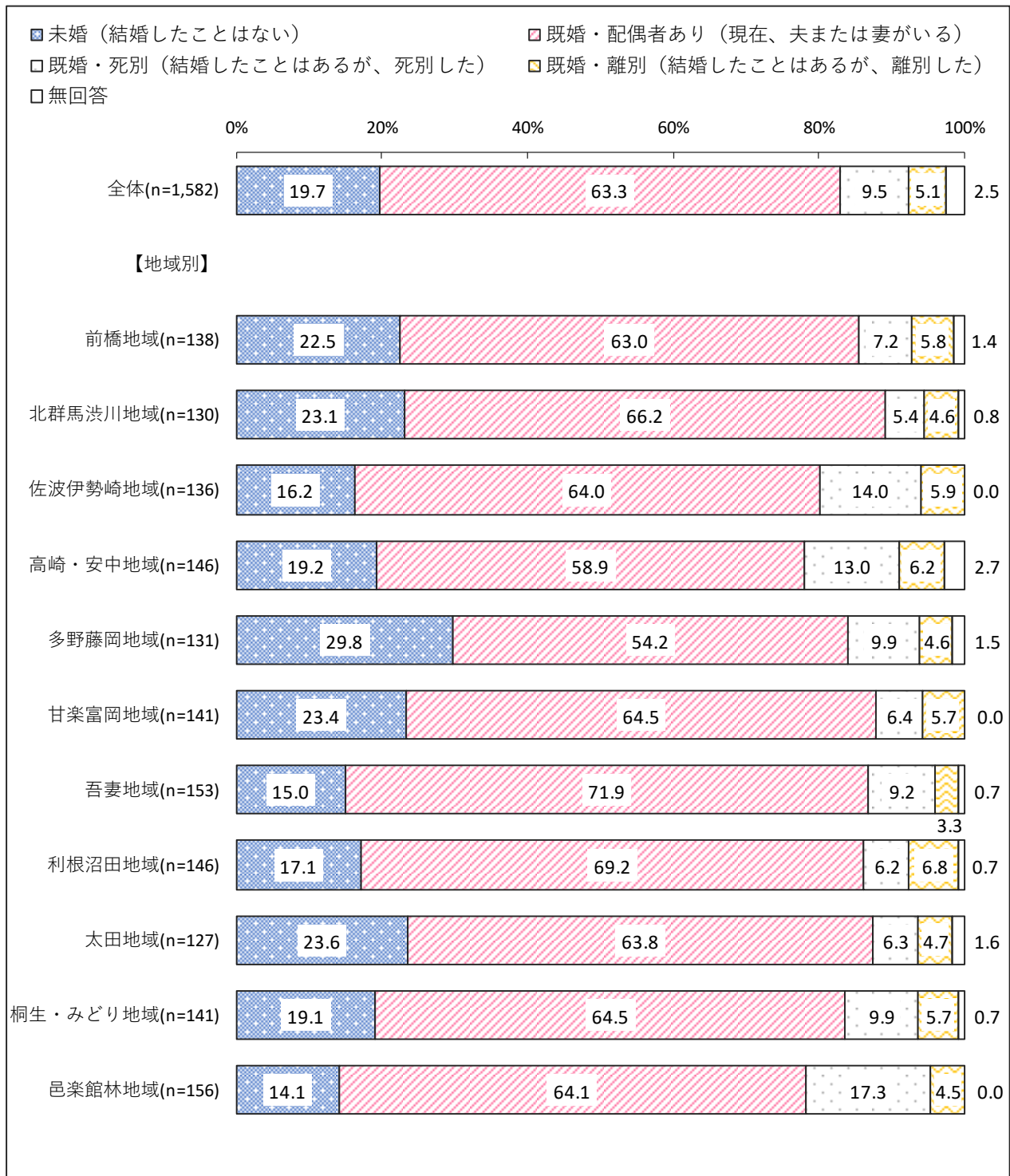
(6) 世帯構成



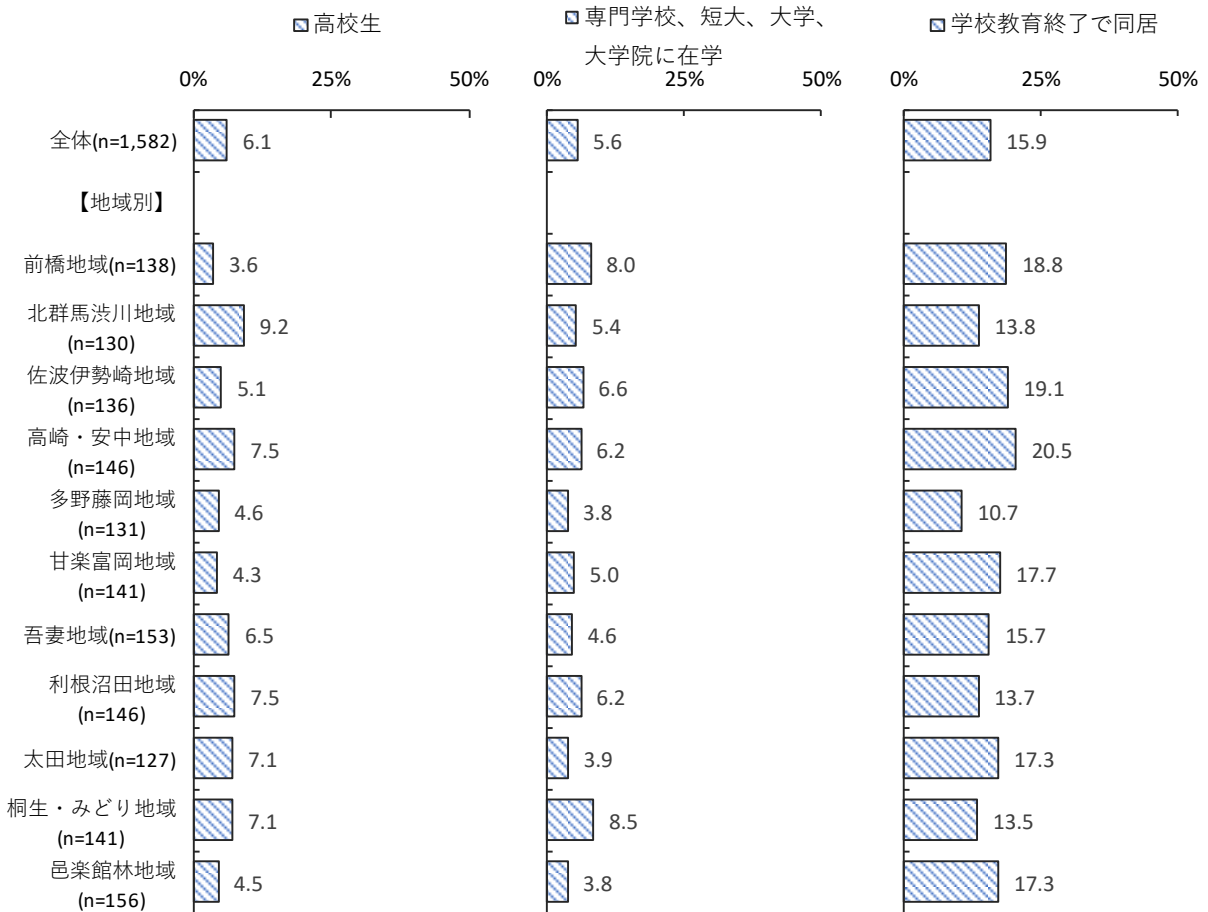
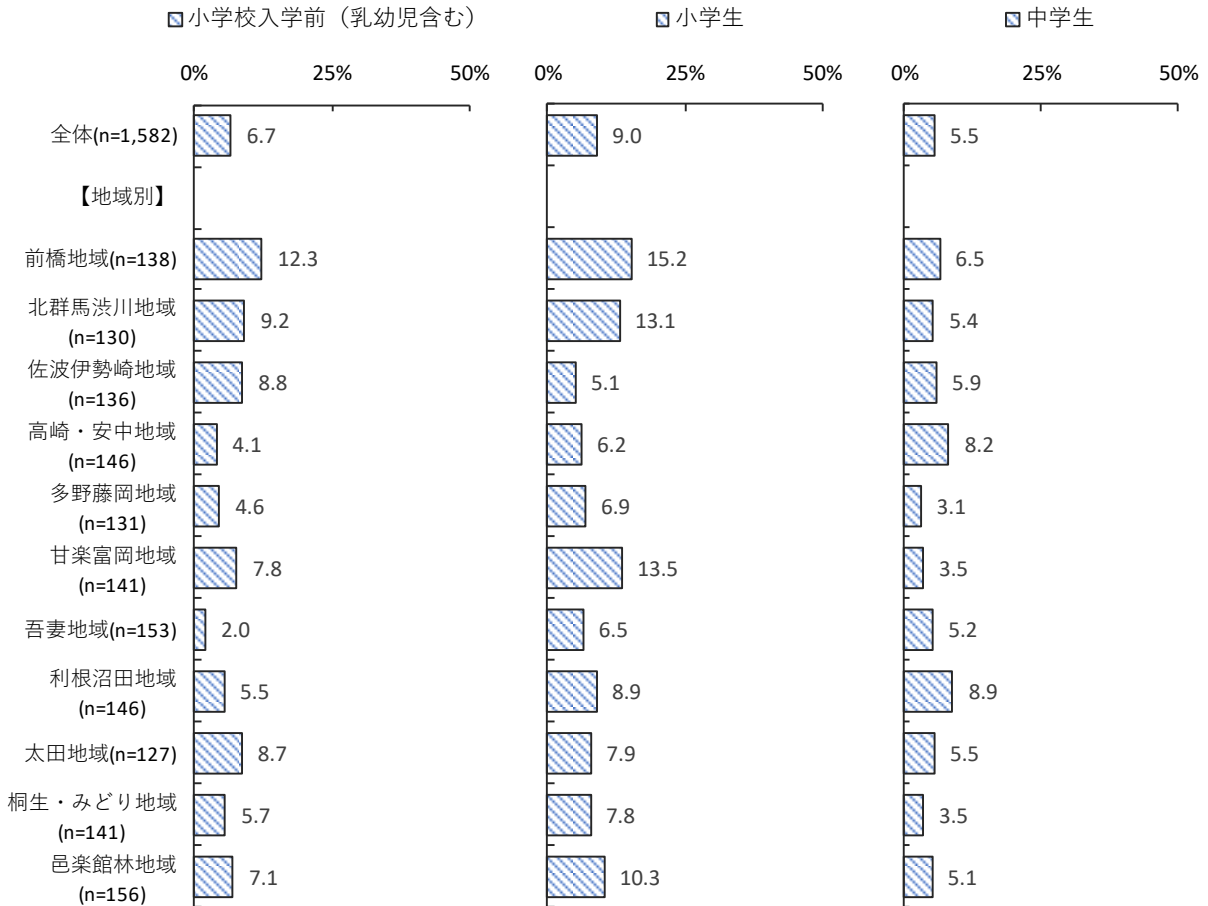
(7) 世帯年収

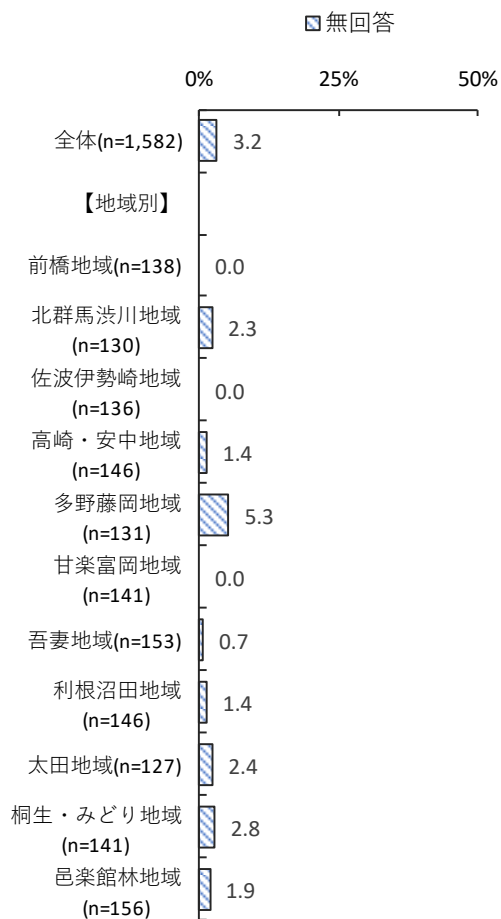
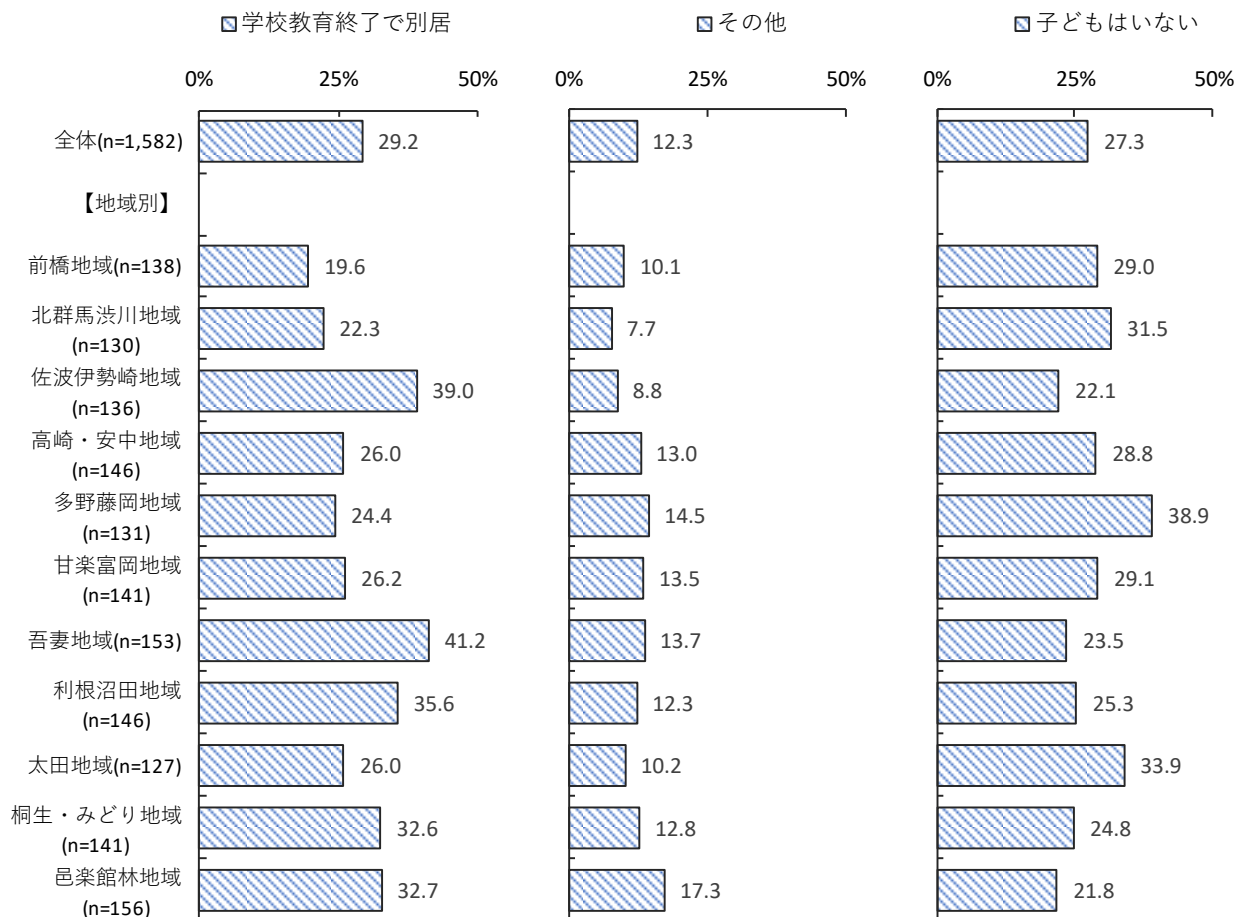


(8) 未既婚状況



(9) 子どもの有無





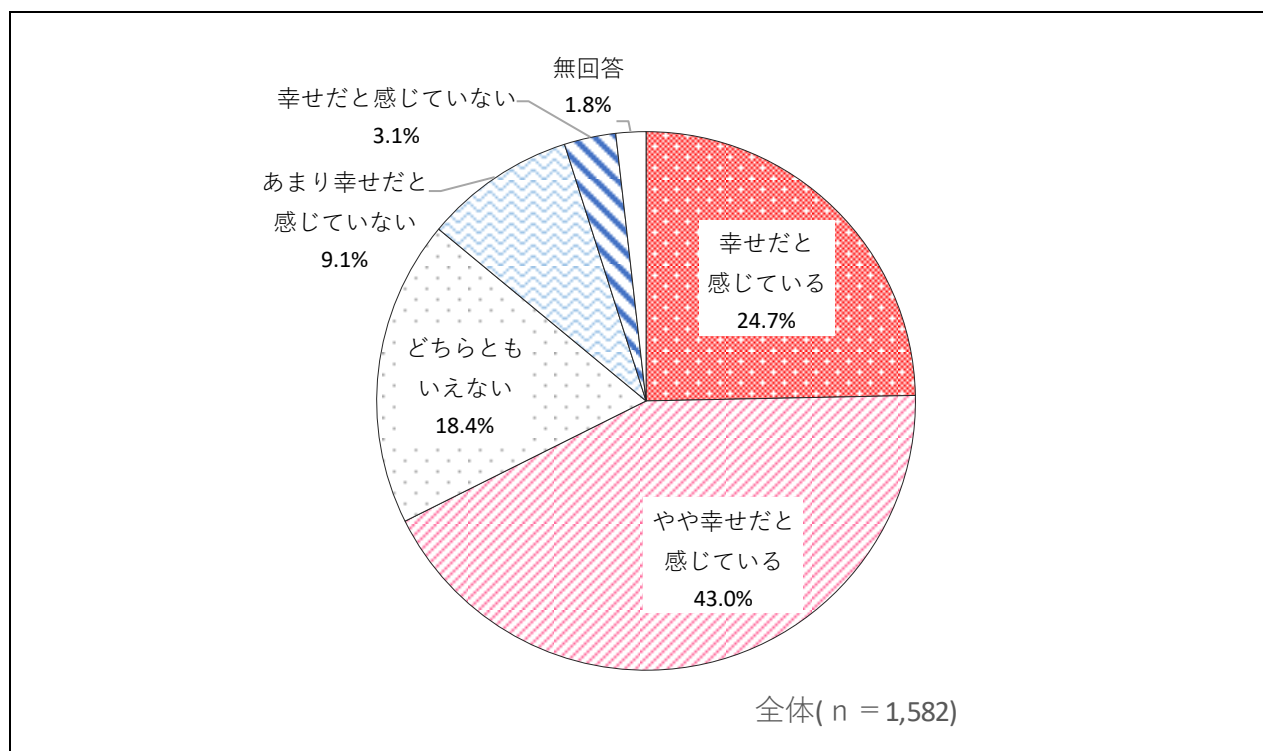
II 調查結果

1. 「幸福」に関する考え方などについて

(1) 幸福感について

① 属性別にみた幸福感

Q あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『幸せだと感じている』は6割以上 —

【全体結果】

「幸せだと感じている」(24.7%)と「やや幸せだと感じている」(43.0%)を合わせた『幸せだと感じている』(67.7%)は6割以上となっています。「あまり幸せだと感じていない」(9.1%)と「幸せだと感じていない」(3.1%)を合わせた『幸せだと感じていない』(12.2%)は1割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『幸せだと感じている』は0.7ポイント増加、『幸せだと感じていない』は0.4ポイント増加しています。

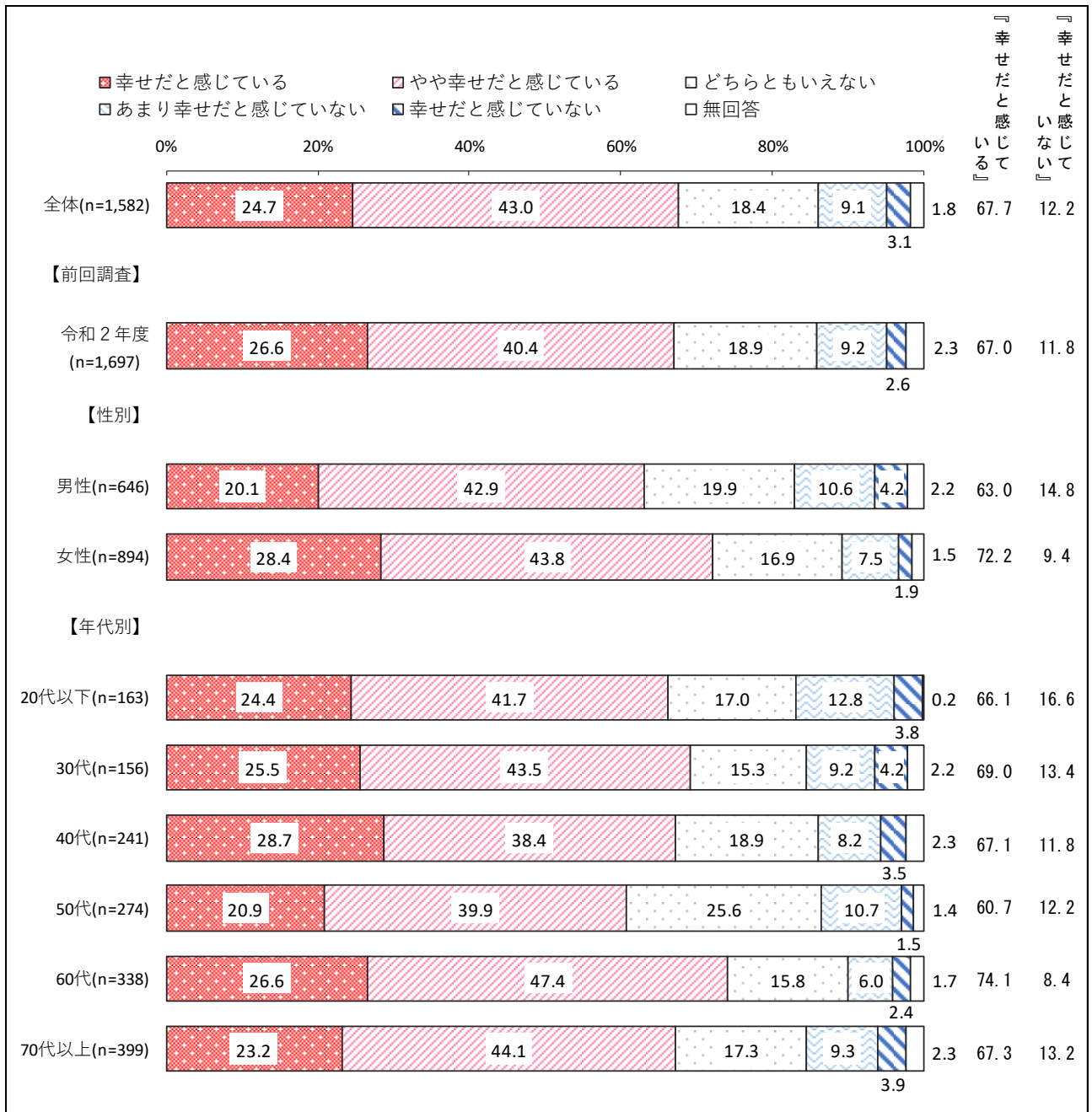
【属性別結果】

ア 性別

『幸せだと感じている』は、男性(63.0%)に比べて女性(72.2%)で高くなっています。

イ 年代別

『幸せだと感じている』は、60代(74.1%)で最も高く7割台、次いで30代(69.0%)、70代以上(67.3%)となっています。すべての年代で6割以上となっています。








② 幸福感を判断する際に重視する事項

現在及び 10 年後の幸福感を判断する 14 項目の回答率をランキング化しました。回答率が高いほど、「重視度」が高い項目です。

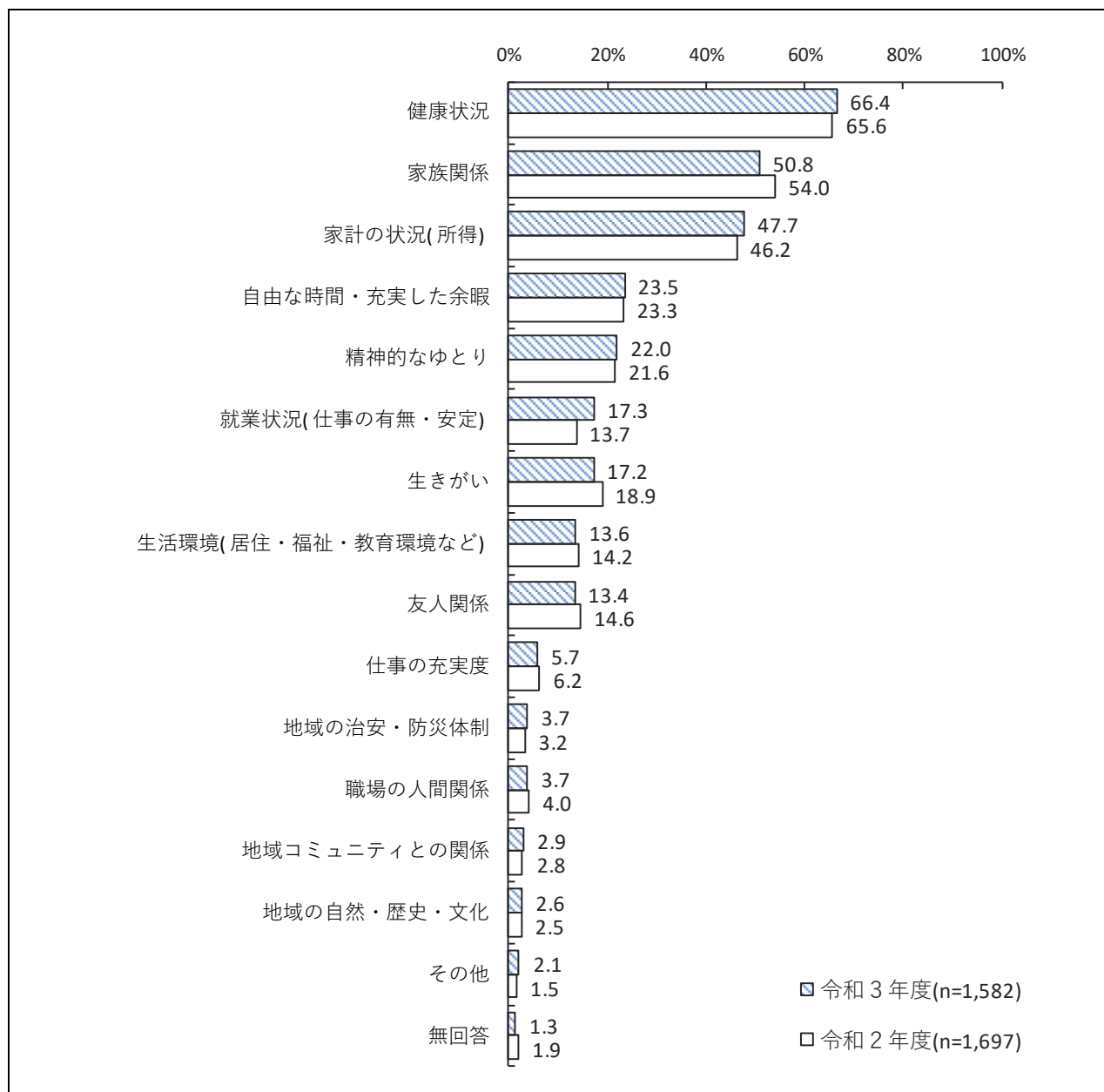
【全体結果】

10 年後の幸福感を判断する重視度が、現在の幸福感を判断する重視度に比べて高くなっている項目は、「健康状況」(66.4%→79.1%)、「家計の状況(所得)」(47.7%→56.2%)、「生活環境(居住・福祉・教育環境など)」(13.6%→18.4%)、「生きがい」(17.2%→19.4%)、「地域コミュニティとの関係」(2.9%→4.4%)、「地域の治安・防災体制」(3.7%→3.8%)となっています。

現在の幸福感を判断する重視度ランキング			10年後の幸福感を判断する重視度ランキング			
順位	項目	回答率 (%)	順位	項目	回答率 (%)	
1	健康状況	66.4	1	健康状況	79.1	
2	家族関係	50.8	2	家計の状況(所得)	56.2	
3	家計の状況(所得)	47.7	3	家族関係	45.7	
4	自由な時間・充実した余暇	23.5	4	精神的なゆとり	21.4	
5	精神的なゆとり	22.0	5	生きがい	19.4	
6	就業状況(仕事の有無・安定)	17.3	6	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	18.4	
7	生きがい	17.2	7	自由な時間・充実した余暇	16.5	
8	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	13.6	8	就業状況(仕事の有無・安定)	11.1	
9	友人関係	13.4	9	友人関係	8.0	
10	仕事の充実度	5.7	10	地域コミュニティとの関係	4.4	
11	地域の治安・防災体制	3.7	11	地域の治安・防災体制	3.8	
12	職場の人間関係	3.7	12	仕事の充実度	2.7	
13	地域コミュニティとの関係	2.9	13	職場の人間関係	1.8	
14	地域の自然・歴史・文化	2.6	14	地域の自然・歴史・文化	1.3	

 3ポイント以上増
 3ポイント以上減

Q 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。(○は3つ)



— 1位「健康状況」、2位「家族関係」、3位「家計の状況(所得)」 —

【全体結果】

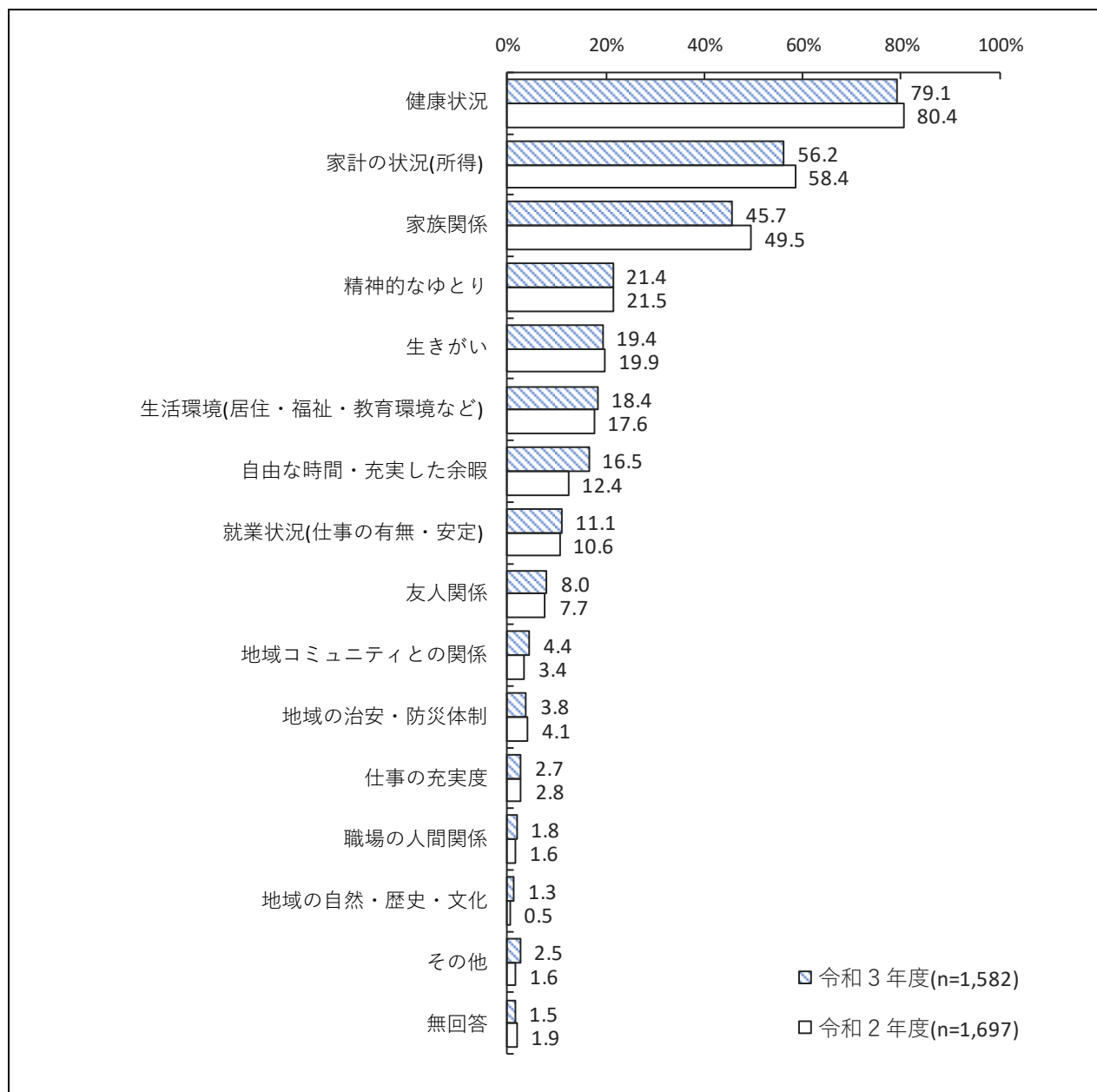
現在の幸福感を判断する際に重視する事項は、「健康状況」(66.4%)が最も高く6割台、次いで「家族関係」(50.8%)、「家計の状況(所得)」(47.7%)となっています。

その他の内容には、「恋人やパートナー」、「趣味」、「子どもや孫の成長」、「戦争や災害がないこと」等が挙げられています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、「就業状況(仕事の有無・安定)」は3.6ポイント増加しています。

Q 10年後のあなたを想像してお答えください。10年後のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に、重視するだろうと考えられる事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視するだろうと考えられるものを3つ選び、番号に○をつけてください。(○は3つ)



— 1位「健康状況」、2位「家計の状況(所得)」、3位「家族関係」 —

【全体結果】

10年後の幸福感を判断する際に重視する事項は、「健康状況」(79.1%)が最も高く約8割、次いで「家計の状況(所得)」(56.2%)、「家族関係」(45.7%)となっています。

その他の内容には、「老後(年金・福祉)」等が挙げられています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、「自由な時間・充実した余暇」は4.1ポイント増加、「家族関係」は3.8ポイント減少しています。

③ 幸福感別の重視する項目

	『幸せだと感じている』				『幸せだと感じていない』		(%)
	全体 (n=1,582)	幸せだと 感じている (n=390)	やや幸せだと 感じている (n=680)	どちらとも いえない (n=291)	あまり幸せだと 感じていない (n=144)	幸せだと 感じていない (n=49)	
健康状況	66.4	72.4	67.8	67.2	53.1	34.4	
家計の状況(所得)	47.7	42.1	46.0	59.7	46.7	49.1	
就業状況(仕事の有無・安定)	17.3	16.7	17.8	12.5	22.9	27.8	
生活環境(居住・福祉・教育環境など)	13.6	14.2	13.7	13.0	12.7	10.4	
地域の治安・防災体制	3.7	1.3	4.3	5.7	4.7	0.0	
地域の自然・歴史・文化	2.6	1.6	4.1	2.3	0.6	0.0	
家族関係	50.8	65.5	55.8	36.5	28.7	26.8	
友人関係	13.4	16.0	16.3	6.9	7.3	12.3	
職場の人間関係	3.7	2.0	3.6	6.1	4.4	5.3	
地域コミュニティとの関係	2.9	3.1	3.4	1.8	3.4	0.0	
精神的なゆとり	22.0	11.6	17.3	33.5	44.1	39.3	
生きがい	17.2	16.3	14.2	19.0	29.1	21.9	
仕事の充実度	5.7	9.0	3.8	5.1	5.0	9.4	
自由な時間・充実した余暇	23.5	19.7	26.0	19.6	29.3	30.4	
その他	2.1	1.9	0.7	3.6	3.5	9.4	

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 で色付け

一 『幸せだと感じている』層では、「健康状況」、「家族関係」を重視。

『幸せだと感じていない』層では、「家計の状況(所得)」、「精神的なゆとり」の重視度が高い傾向 一

幸福感別に重視度をみると、『幸せだと感じている』層では、「健康状況」が最も高く、次いで「家族関係」、「家計の状況(所得)」となっています。

「あまり幸せだと感じていない」では「健康状況」が最も高く、次いで「家計の状況(所得)」となっています。「幸せだと感じていない」では「家計の状況(所得)」が最も高く、次いで「精神的なゆとり」となっています。

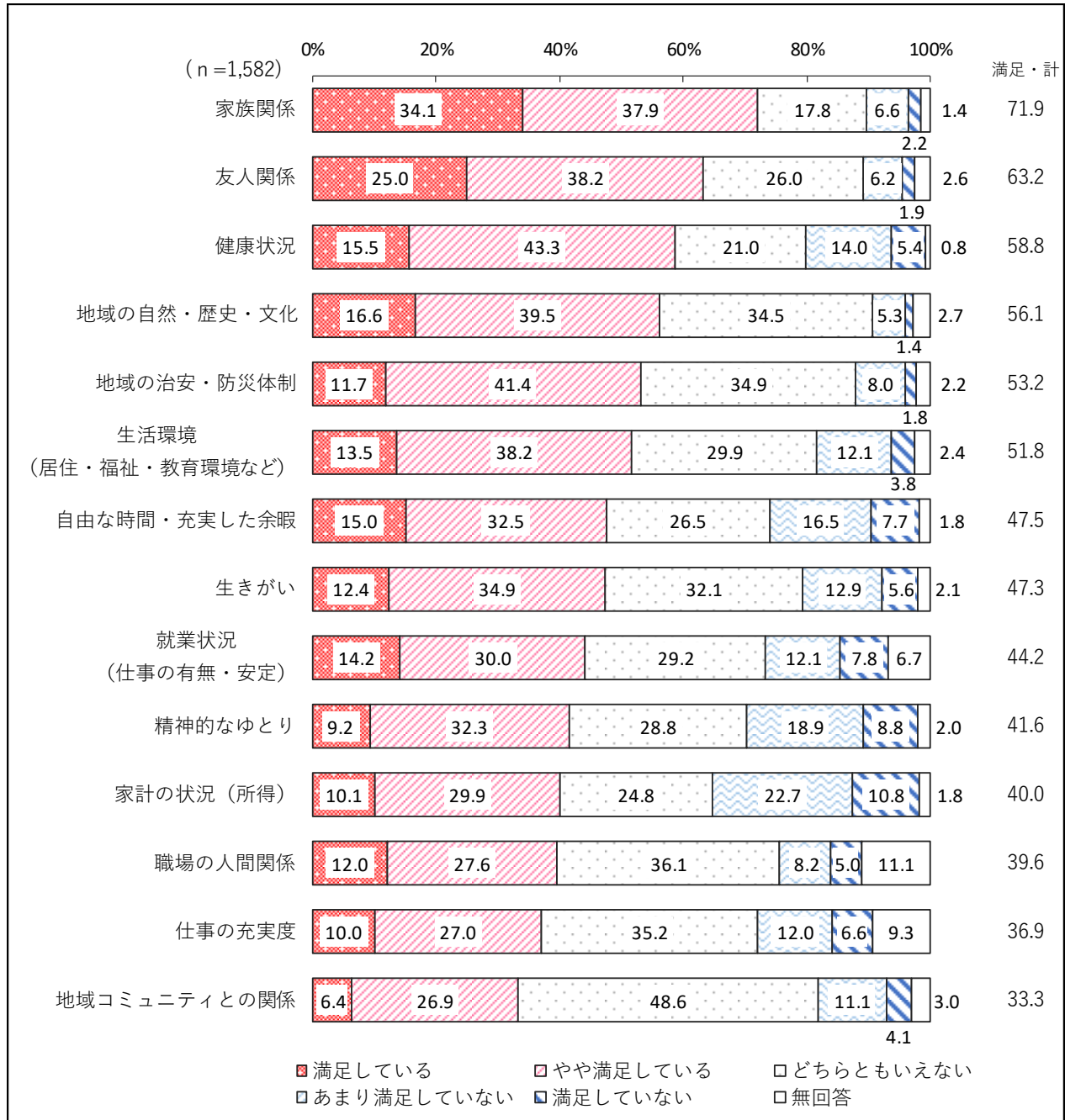
『幸せだと感じていない』層では、「家計の状況(所得)」、「精神的なゆとり」が高くなっています。

(2) 幸福感と満足度の関係について

Q 現在のあなたご自身の気持ちについてお答えください。次の1～14の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

① 満足度結果一覧

14項目の満足度（「満足している」+「やや満足している」）をランキング化しました。

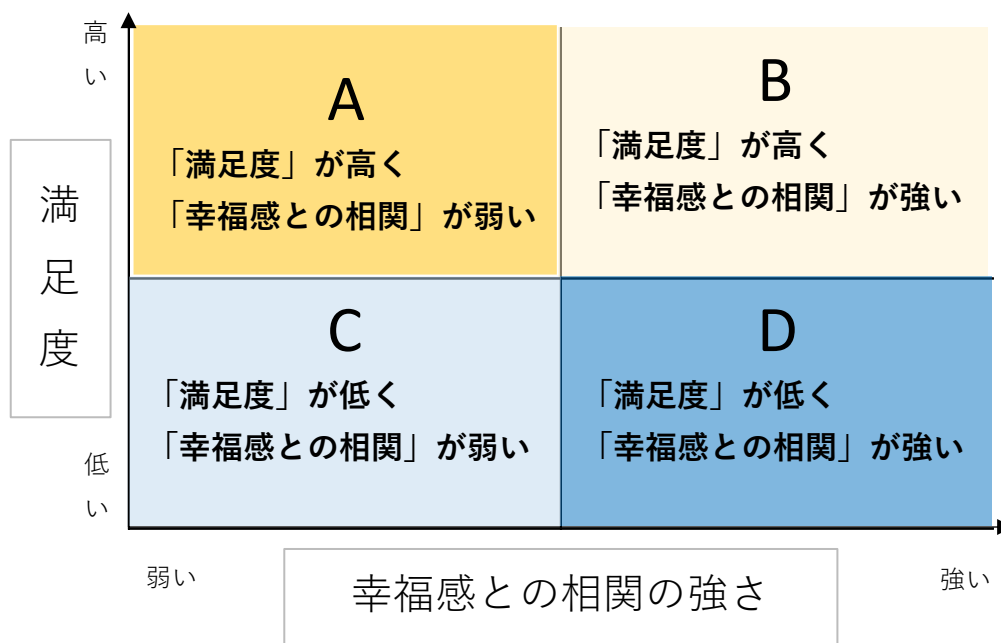


② 幸福感と満足度との関係

〈満足度と幸福感との相関の強さの散布図〉

本県の取組における項目間の相対的な位置づけを整理するため、「満足度」を縦軸、「幸福感との相関の強さ」を横軸にとり、各項目の「満足度」「幸福感との相関の強さ」の数値を散布図に示しました。

「満足度」と「幸福感との相関の強さ」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

幸福感との相関は弱いが満足度が高い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

幸福感との相関が強く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

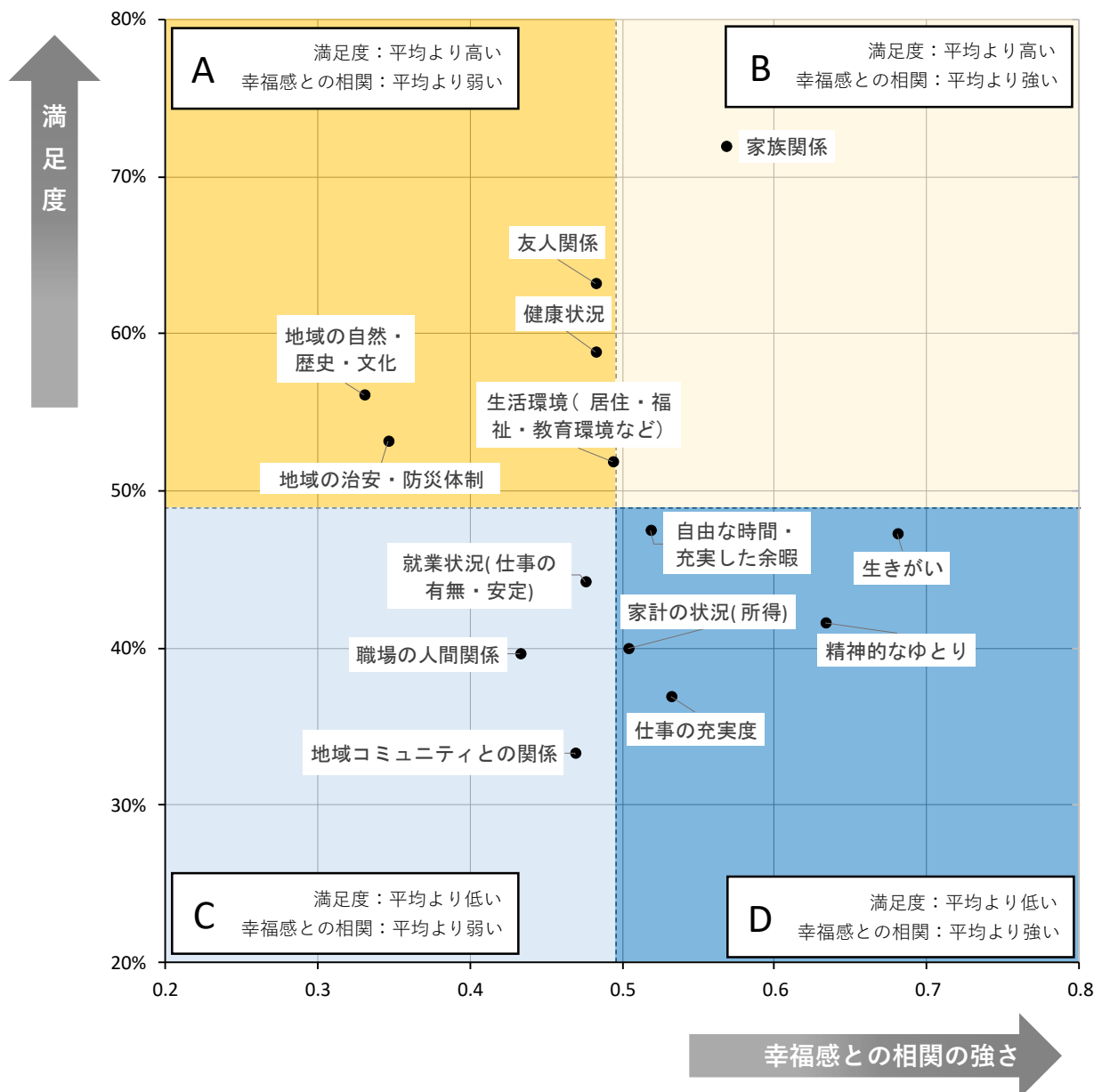
C：要検討領域

幸福感との相関が弱く満足度も低い取組は、県民のニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

幸福感との相関は強いが満足度が低いため、やり方を変え、満足度を高めていく必要がある項目

上記の領域に該当した項目の満足度の高低や幸福感との相関の強弱については、全体の平均と比較して、相対的に高い/強い、または低い/弱いということになります。

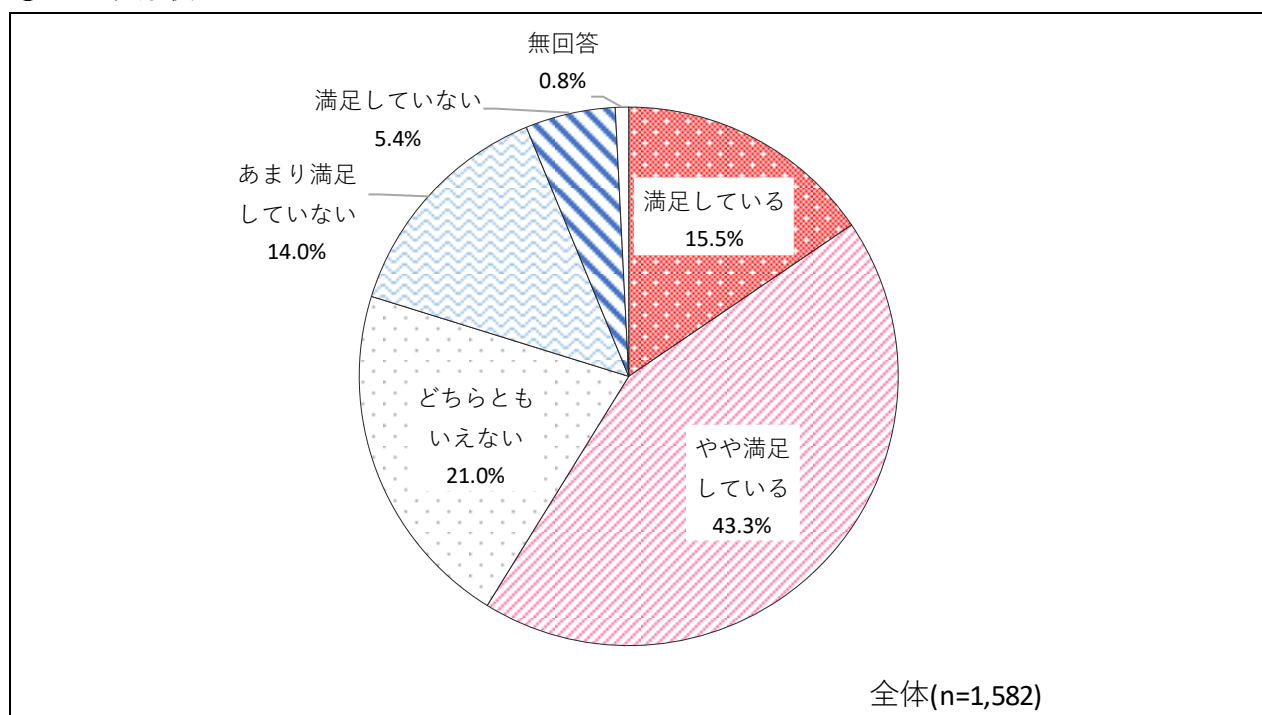


— 特に、幸福感に影響が強く満足度が低い項目は「生きがい」、「精神的なゆとり」 —

幸福感に影響が強く満足度が低い「D 重点的改善領域」の項目は、「生きがい」、「精神的なゆとり」、「仕事の充実度」、「自由な時間・充実した余暇」、「家計の状況(所得)」となっています。

③ 属性別にみた満足度

③-1 健康状況



— 健康状況に『満足している』は5割以上 —

【全体結果】

健康状況について、「満足している」（15.5%）と「やや満足している」（43.3%）を合わせた『満足している』（58.8%）は5割以上となっています。「あまり満足していない」（14.0%）と「満足していない」（5.4%）を合わせた『満足していない』（19.5%）は約2割となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は0.3ポイント減少、『満足していない』は1.9ポイント減少しています。

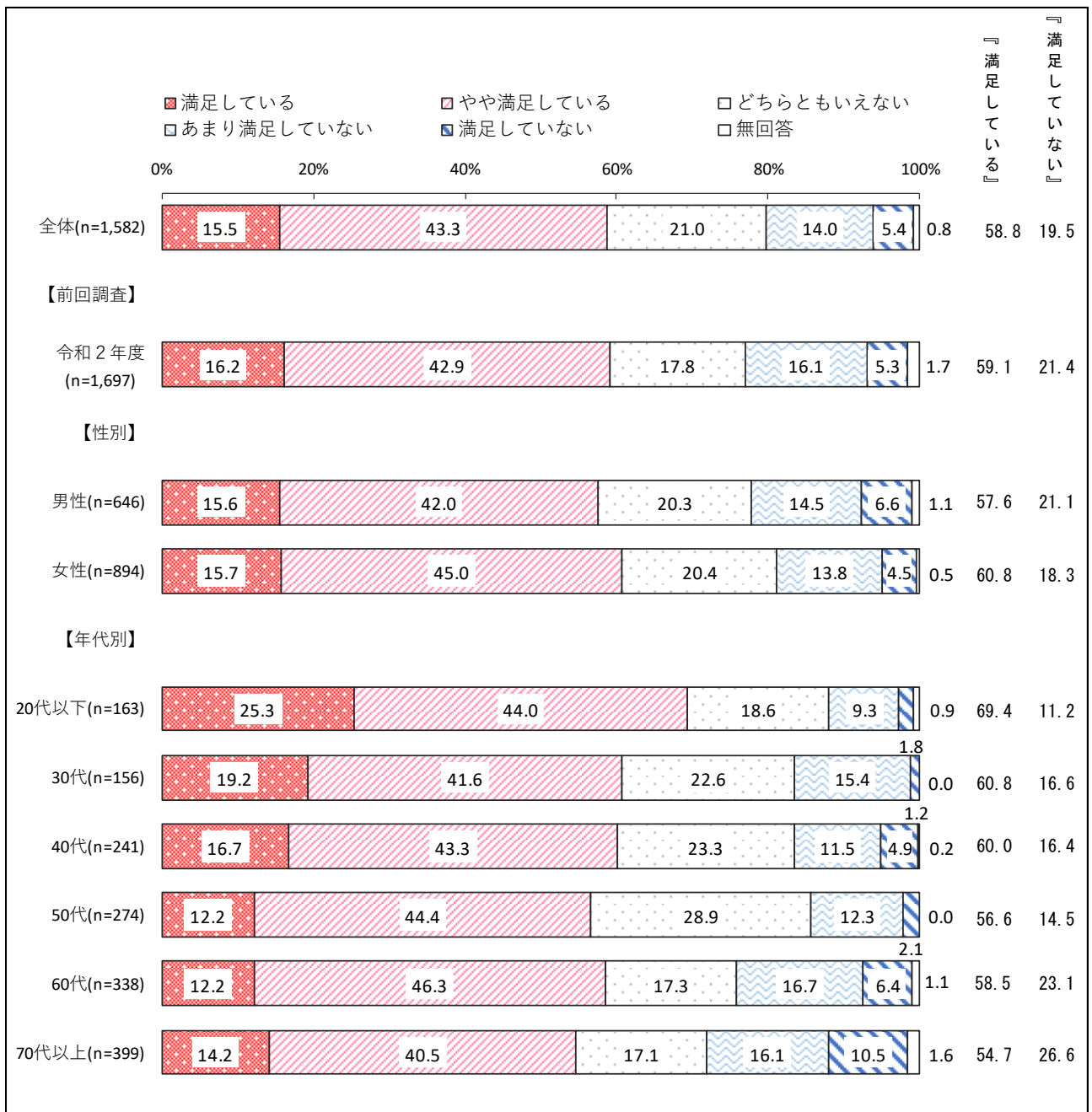
【属性別結果】

ア 性別

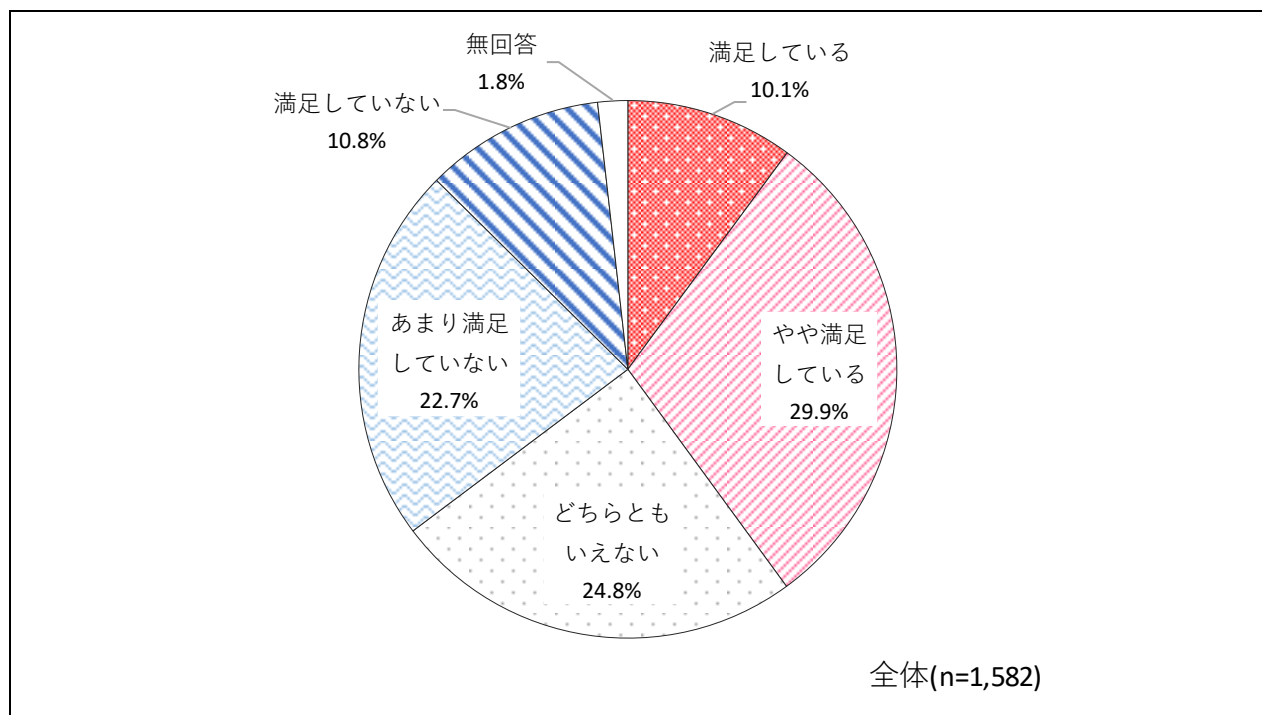
『満足している』は、男性（57.6%）に比べて女性（60.8%）でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、20代以下（69.4%）で最も高く約7割、40代以下の年代で6割以上となっています。『満足していない』は、60代（23.1%）、70代以上（26.6%）で2割台と他の年代と比べてやや高くなっています。



③-2 家計の状況（所得）



— 家計の状況（所得）に『満足している』は4割 —

【全体結果】

家計の状況（所得）について、「満足している」（10.1%）と「やや満足している」（29.9%）を合わせた『満足している』（40.0%）は4割となっています。「あまり満足していない」（22.7%）と「満足していない」（10.8%）を合わせた『満足していない』（33.5%）は3割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は3.3ポイント増加、『満足していない』は1.2ポイント減少しています。

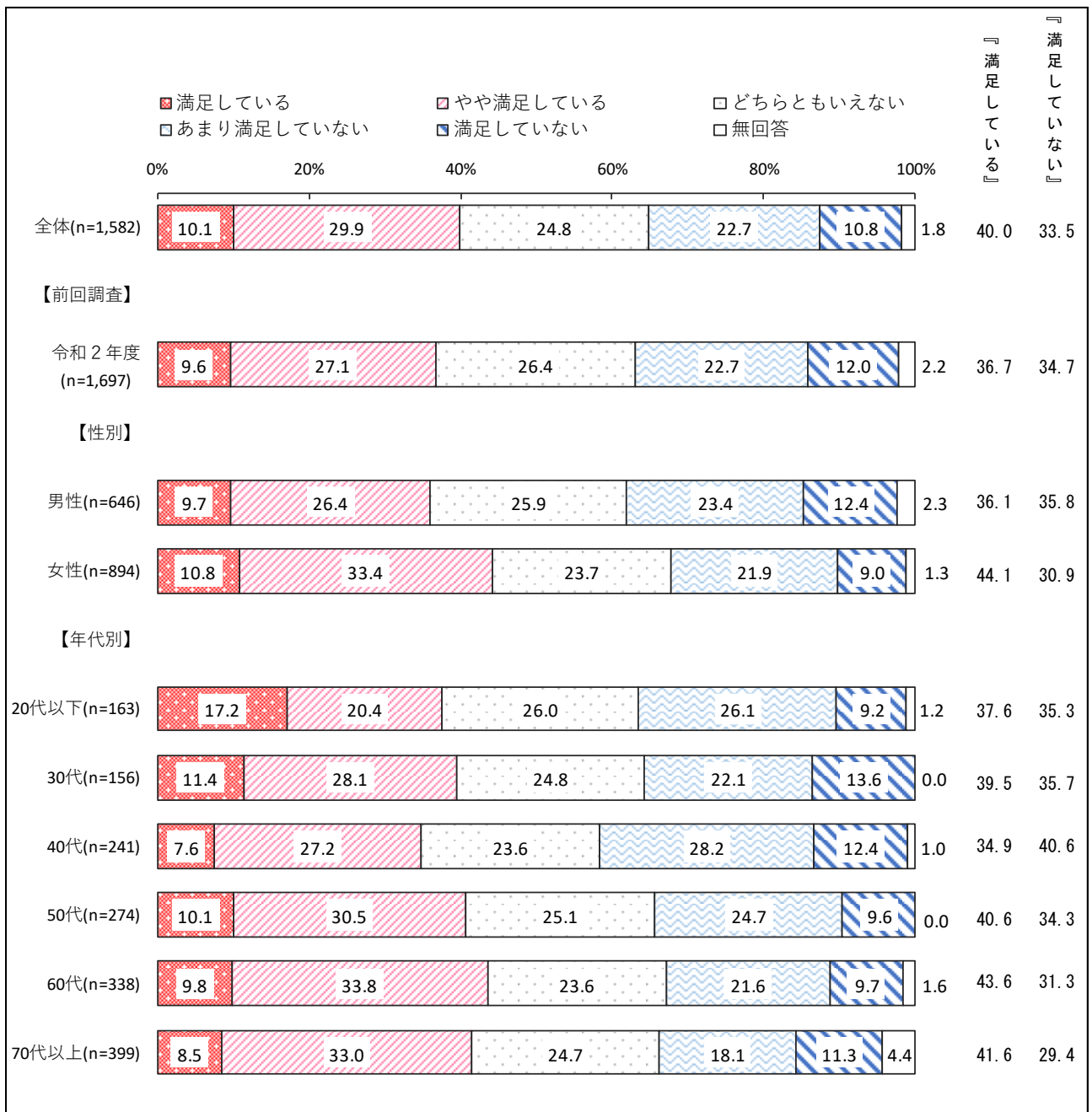
【属性別結果】

ア 性別

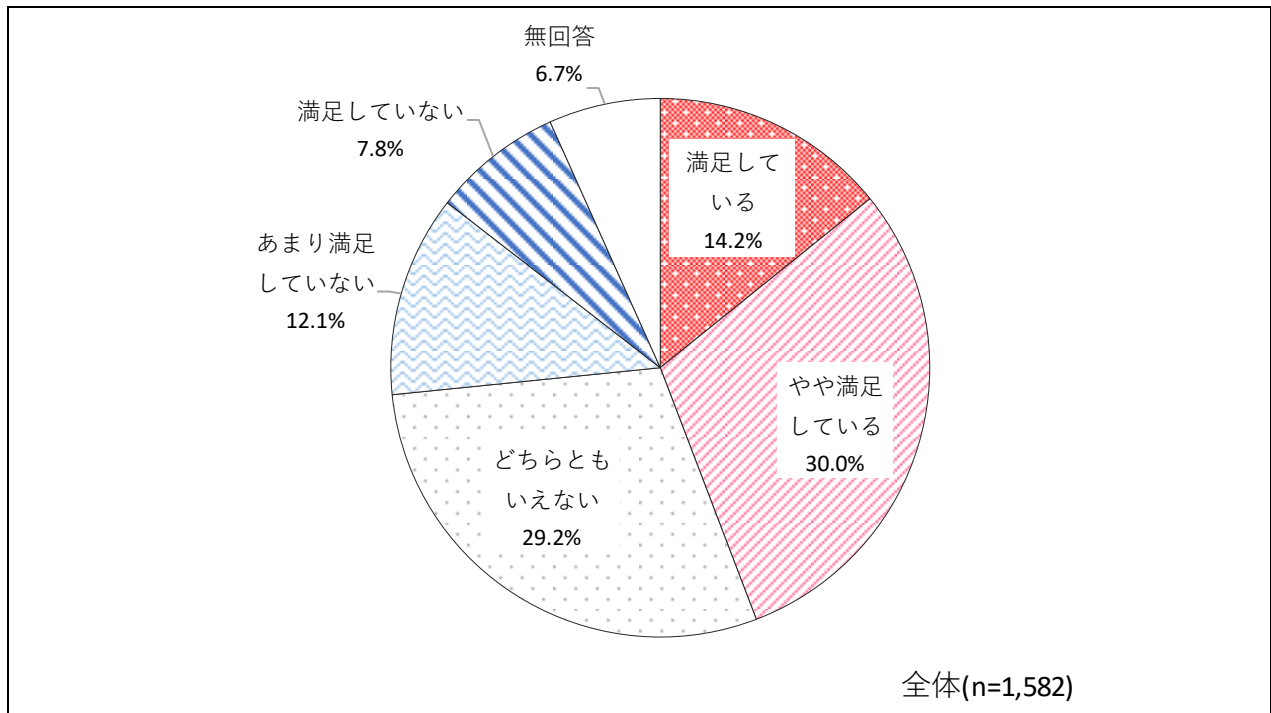
『満足している』は、男性（36.1%）に比べて女性（44.1%）で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、60代（43.6%）で最も高く、次いで70代以上（41.6%）となっています。『満足していない』は、40代（40.6%）で約4割と高く、『満足していない』が『満足している』を上回っています。



③-3 就業状況（仕事の有無・安定）



— 就業状況（仕事の有無・安定）に『満足している』は4割以上 —

【全体結果】

就業状況（仕事の有無・安定）について、「満足している」（14.2%）と「やや満足している」（30.0%）を合わせた『満足している』（44.2%）は4割以上となっています。「あまり満足していない」（12.1%）と「満足していない」（7.8%）を合わせた『満足していない』（19.9%）は約2割となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は2.1ポイント増加、『満足していない』は1.1ポイント減少しています。

【属性別結果】

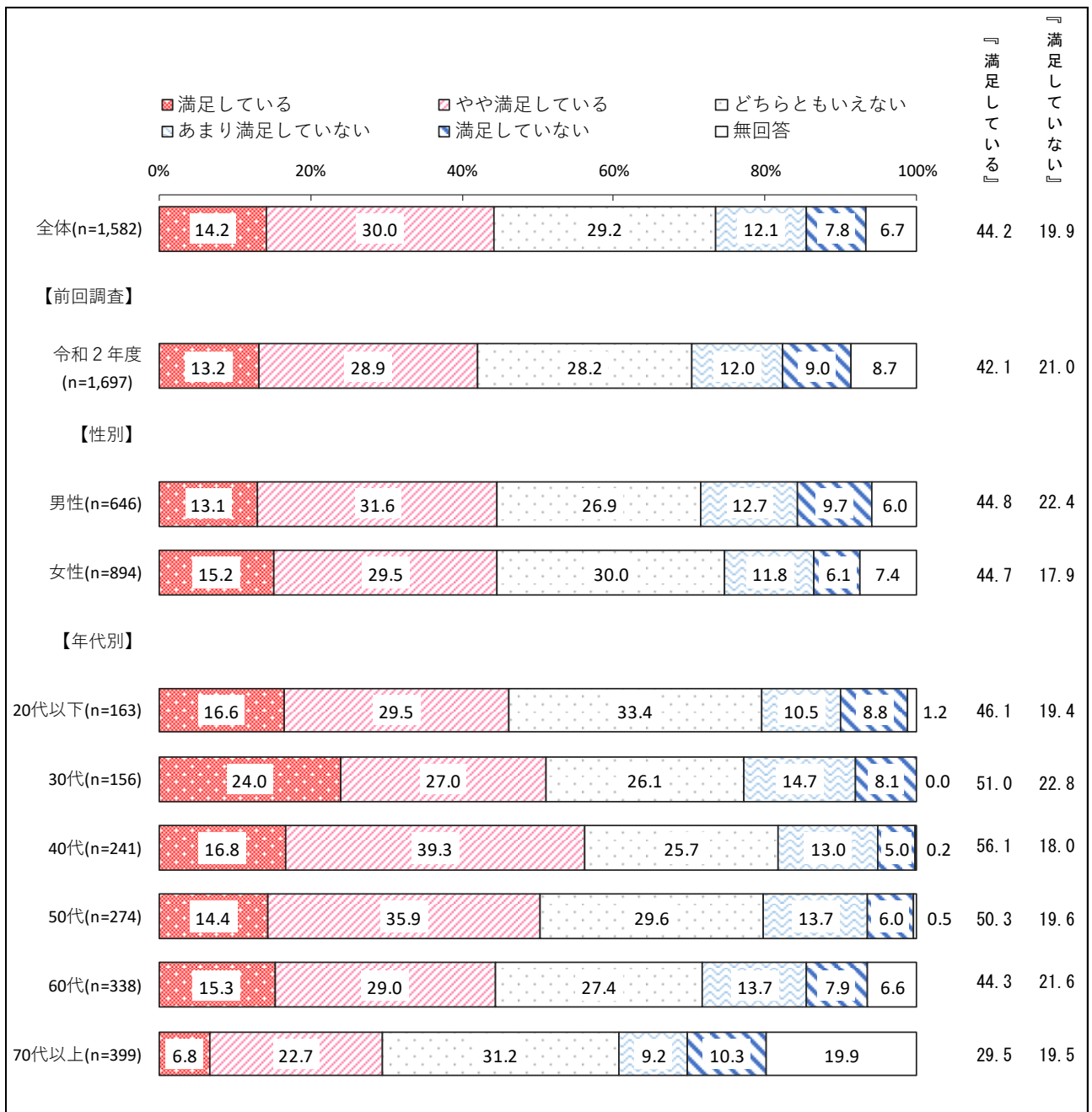
ア 性別

『満足している』は、性別による大きな差はみられません。

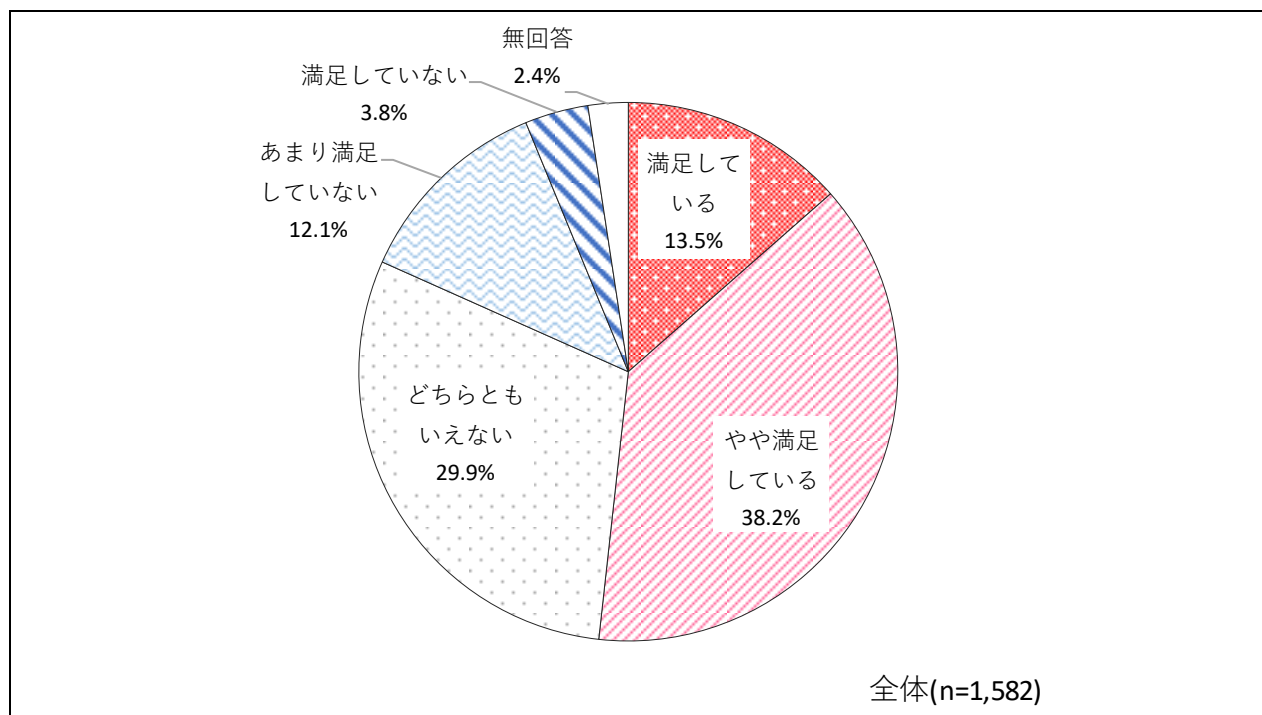
『満足していない』は、女性（17.9%）に比べて男性（22.4%）で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、40代（56.1%）で最も高く、30代～50代で5割以上となっています。「満足している」は、30代（24.0%）で2割台と他の年代と比べて高くなっています。



③-4 生活環境（住宅・福祉・教育環境など）



— 生活環境（住居・福祉・教育環境など）に『満足している』は5割以上 —

【全体結果】

生活環境（住居・福祉・教育環境など）について、「満足している」（13.5%）と「やや満足している」（38.2%）を合わせた『満足している』（51.8%）は5割以上となっています。「あまり満足していない」（12.1%）と「満足していない」（3.8%）を合わせた『満足していない』（15.9%）は1割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は1.9ポイント減少、『満足していない』は1.3ポイント増加しています。

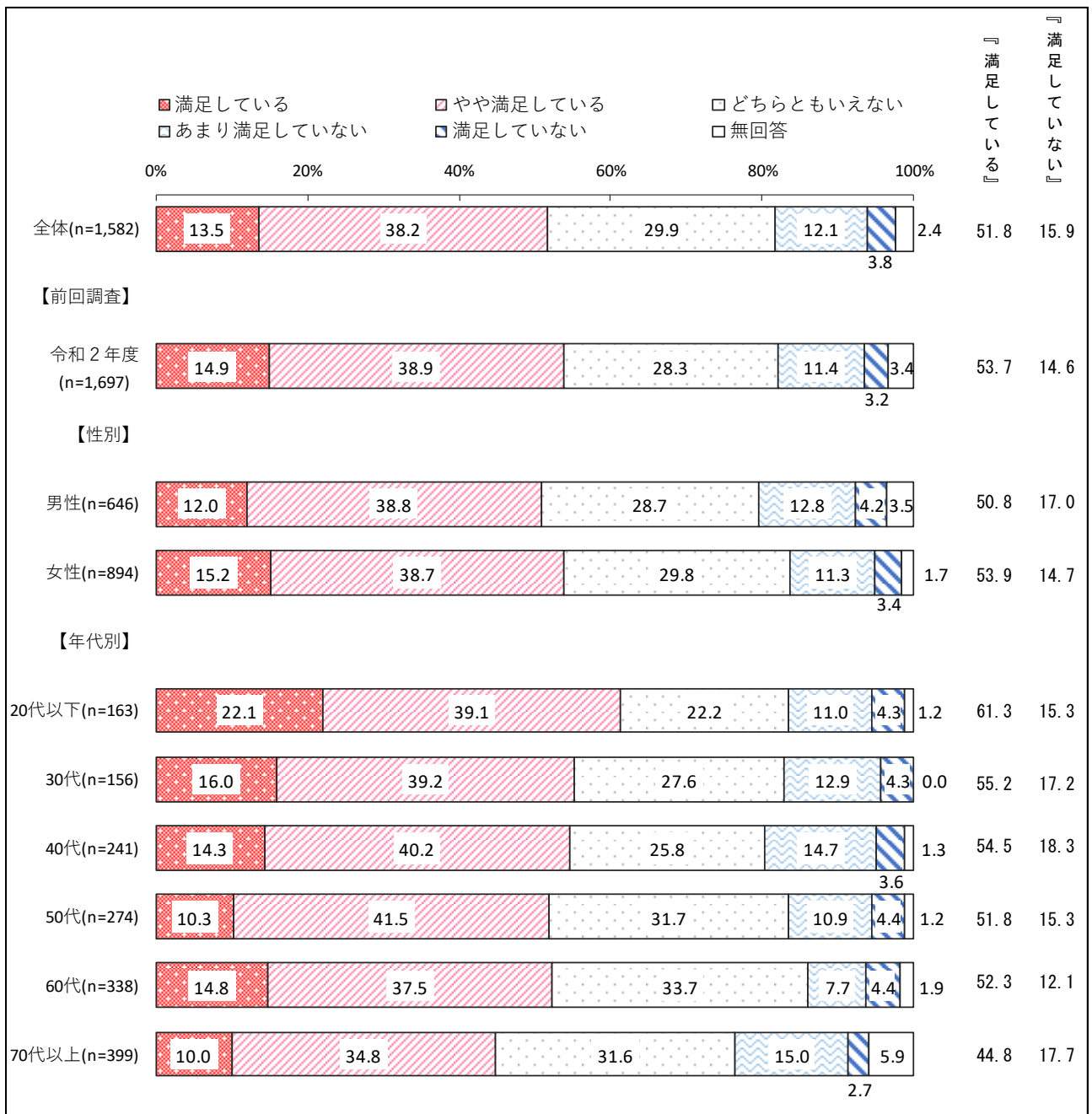
【属性別結果】

ア 性別

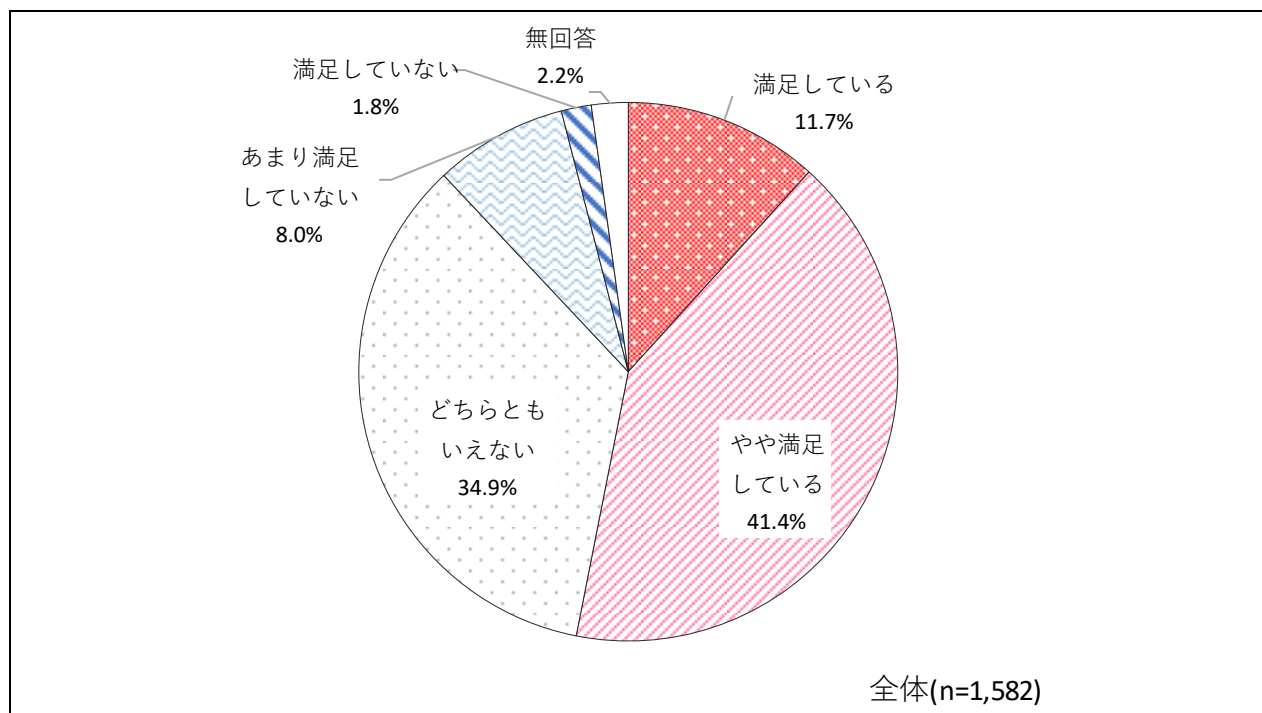
『満足している』は、男性（50.8%）に比べて女性（53.9%）でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、20代以下（61.3%）で最も高く6割以上となっています。70代以上（44.8%）で最も低く4割台となっています。



③-5 地域の治安・防災体制



— 地域の治安・防災体制に『満足している』は5割以上 —

【全体結果】

地域の治安・防災体制について、「満足している」(11.7%)と「やや満足している」(41.4%)を合わせた『満足している』(53.2%)は5割以上となっています。「あまり満足していない」(8.0%)と「満足していない」(1.8%)を合わせた『満足していない』(9.8%)は1割未満となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は0.9ポイント増加、『満足していない』は0.7ポイント減少しています。

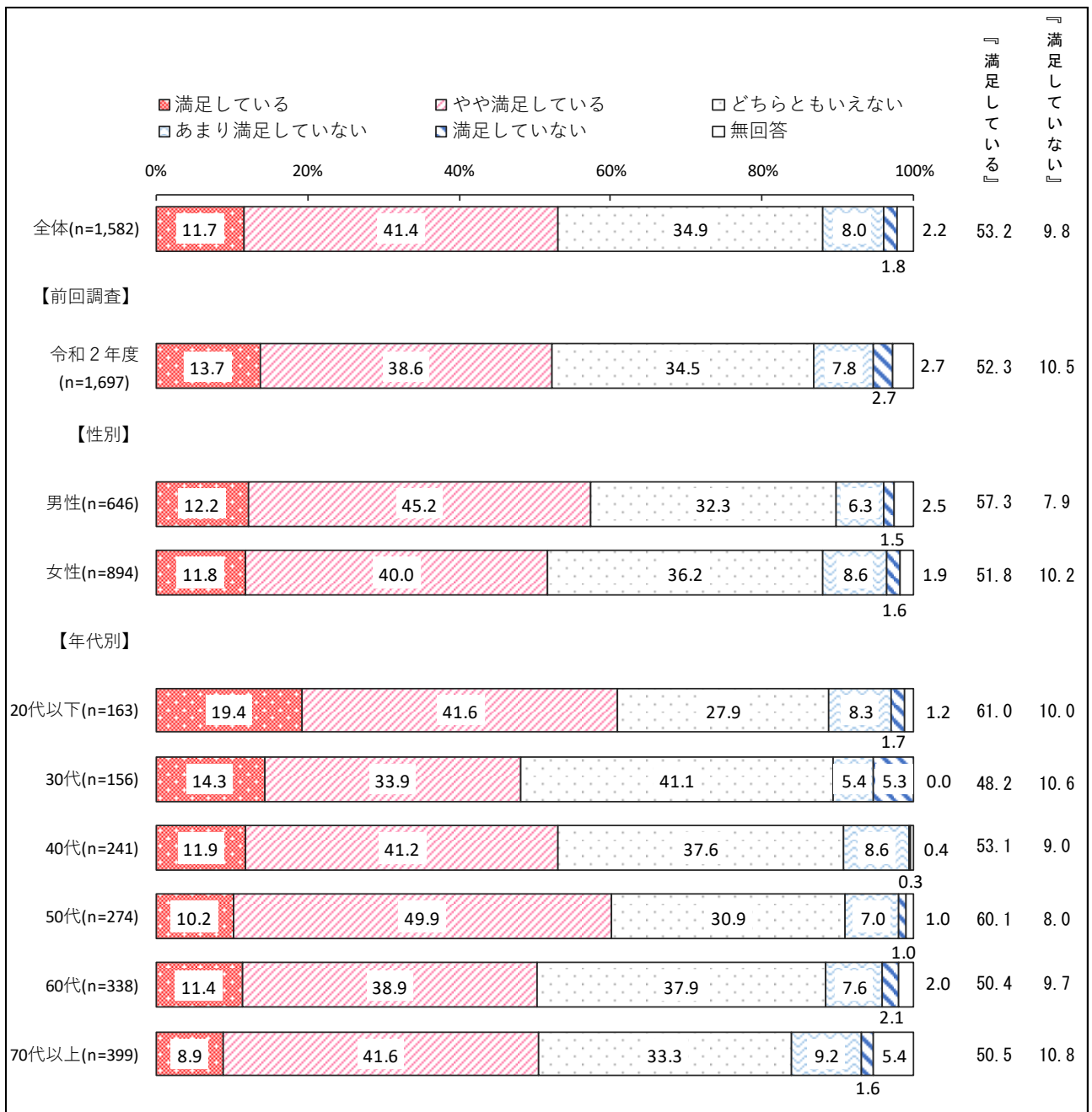
【属性別結果】

ア 性別

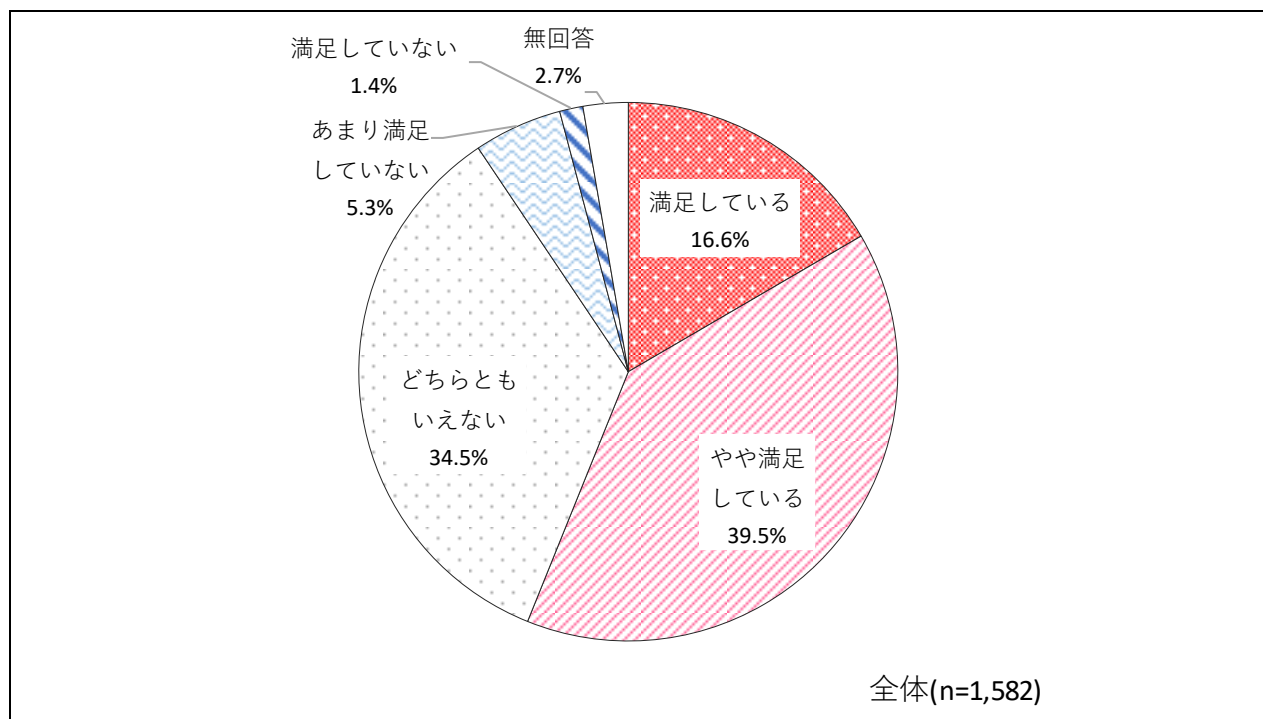
『満足している』は、女性(51.8%)に比べて男性(57.3%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、20代以下(61.0%)で最も高く、20代以下、50代(60.1%)で6割以上となっています。「満足している」は、20代以下(19.4%)で約2割と他の年代と比べて高くなっています。



③-6 地域の自然・歴史・文化



— 地域の自然・歴史・文化に『満足している』は5割以上 —

【全体結果】

地域の自然・歴史・文化について、「満足している」(16.6%)と「やや満足している」(39.5%)を合わせた『満足している』(56.1%)は5割以上となっています。「あまり満足していない」(5.3%)と「満足していない」(1.4%)を合わせた『満足していない』(6.8%)は1割未満となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は5.4ポイント増加、『満足していない』は0.6ポイント増加しています。

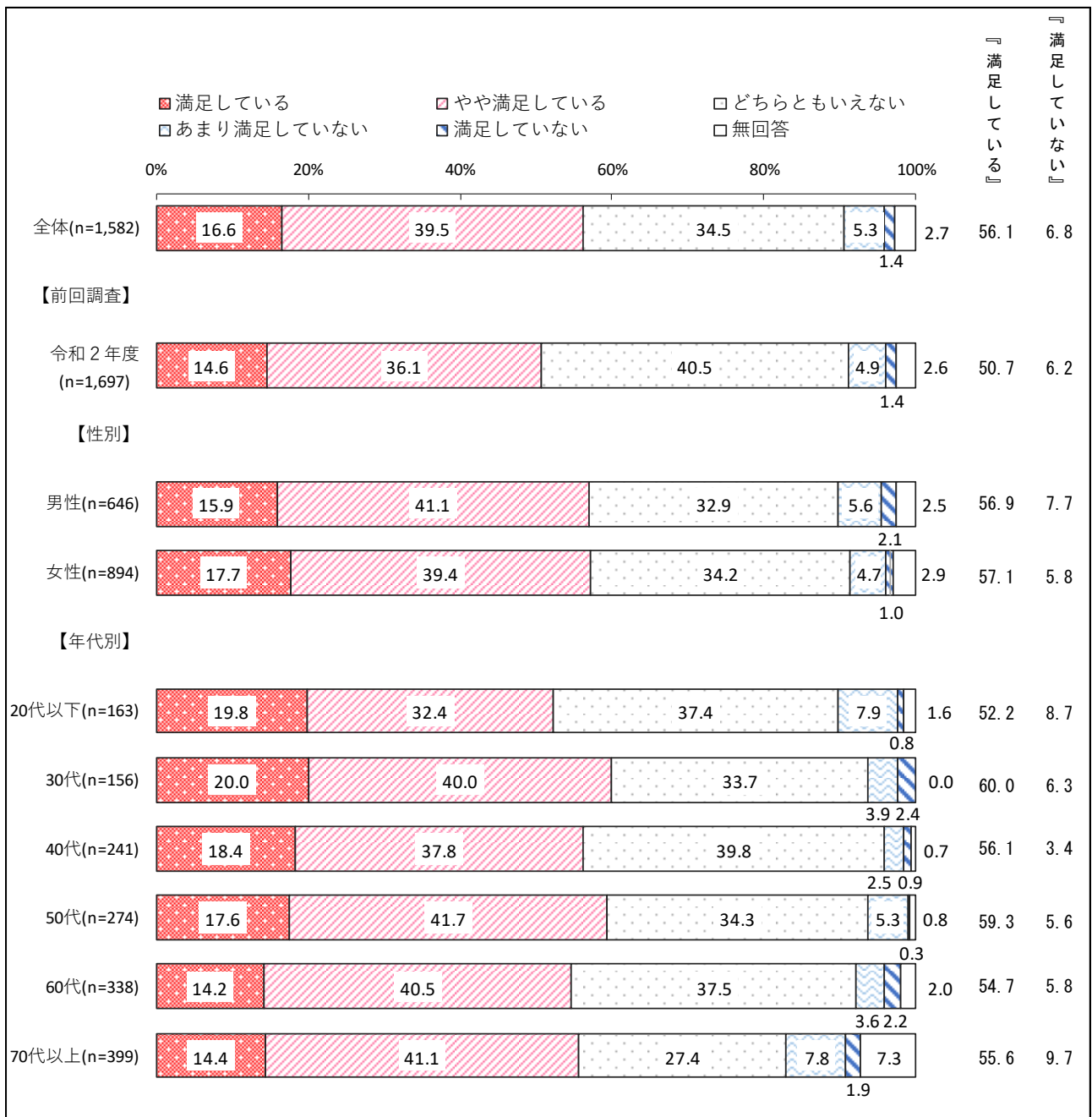
【属性別結果】

ア 性別

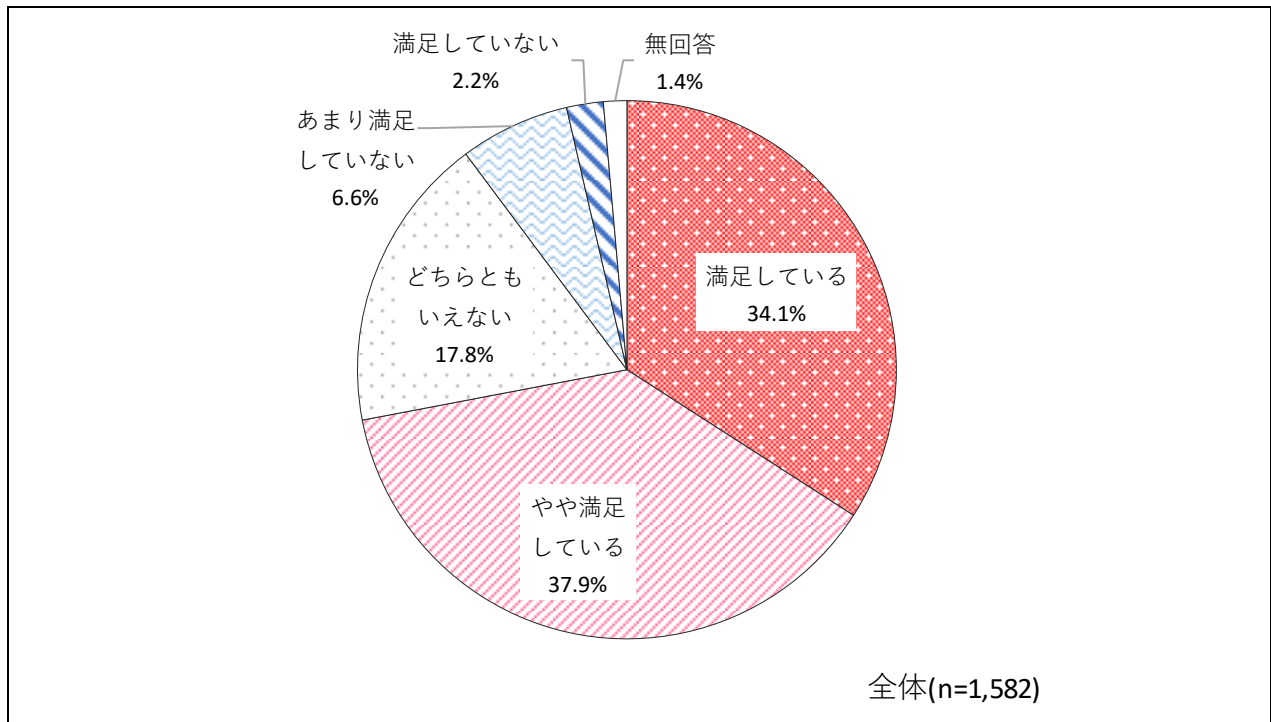
性別による大きな差はみられません。

イ 年代別

『満足している』は、30代(60.0%)で最も高く6割となっており、すべての年代で5割以上となっています。



③-7 家族関係



— 家族関係に『満足している』は7割以上 —

【全体結果】

家族関係について、「満足している」(34.1%)と「やや満足している」(37.9%)を合わせた『満足している』(71.9%)は7割以上となっています。「あまり満足していない」(6.6%)と「満足していない」(2.2%)を合わせた『満足していない』(8.8%)は1割未満となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は1.3ポイント減少、『満足していない』は0.1ポイント減少しています。

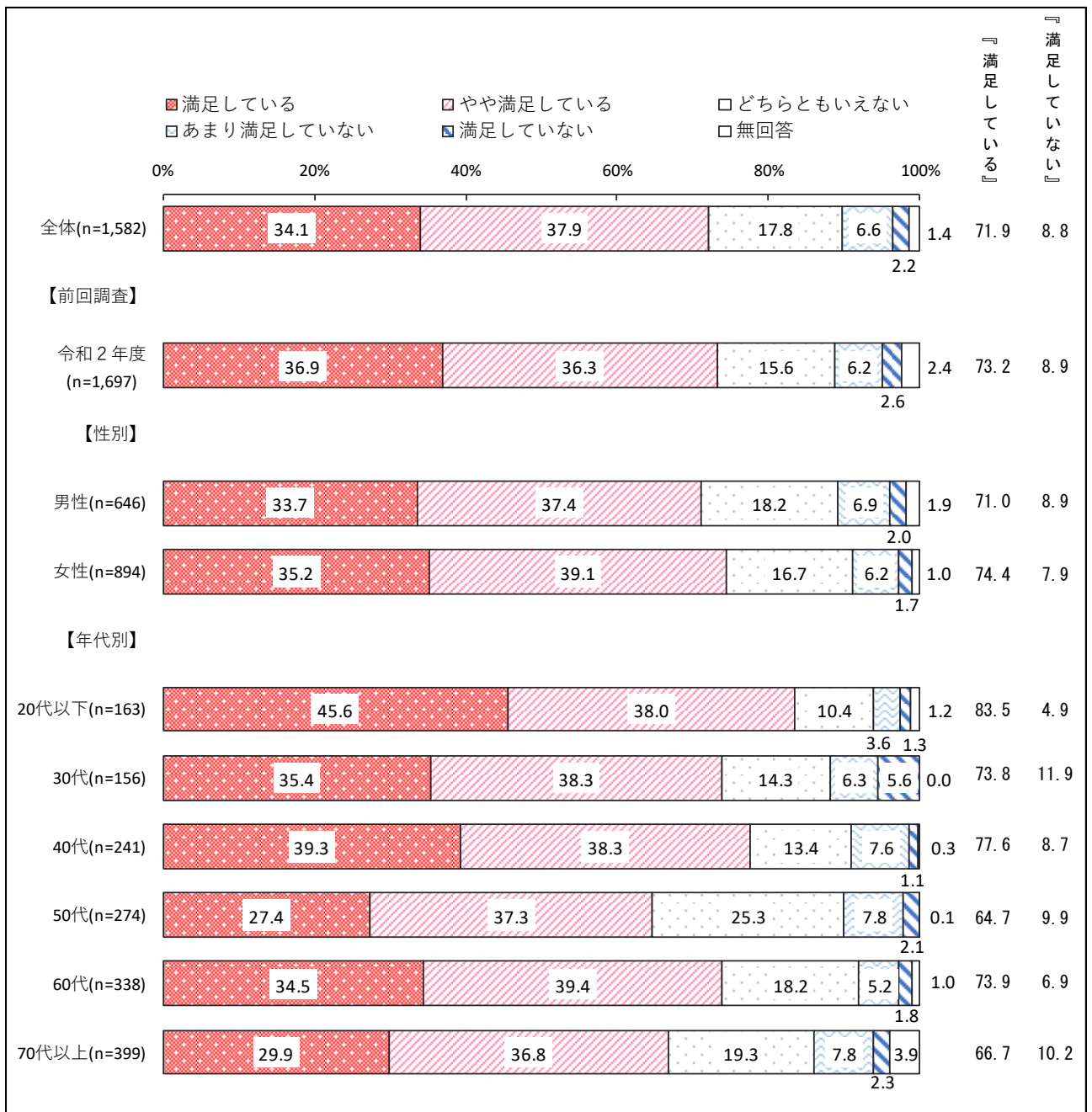
【属性別結果】

ア 性別

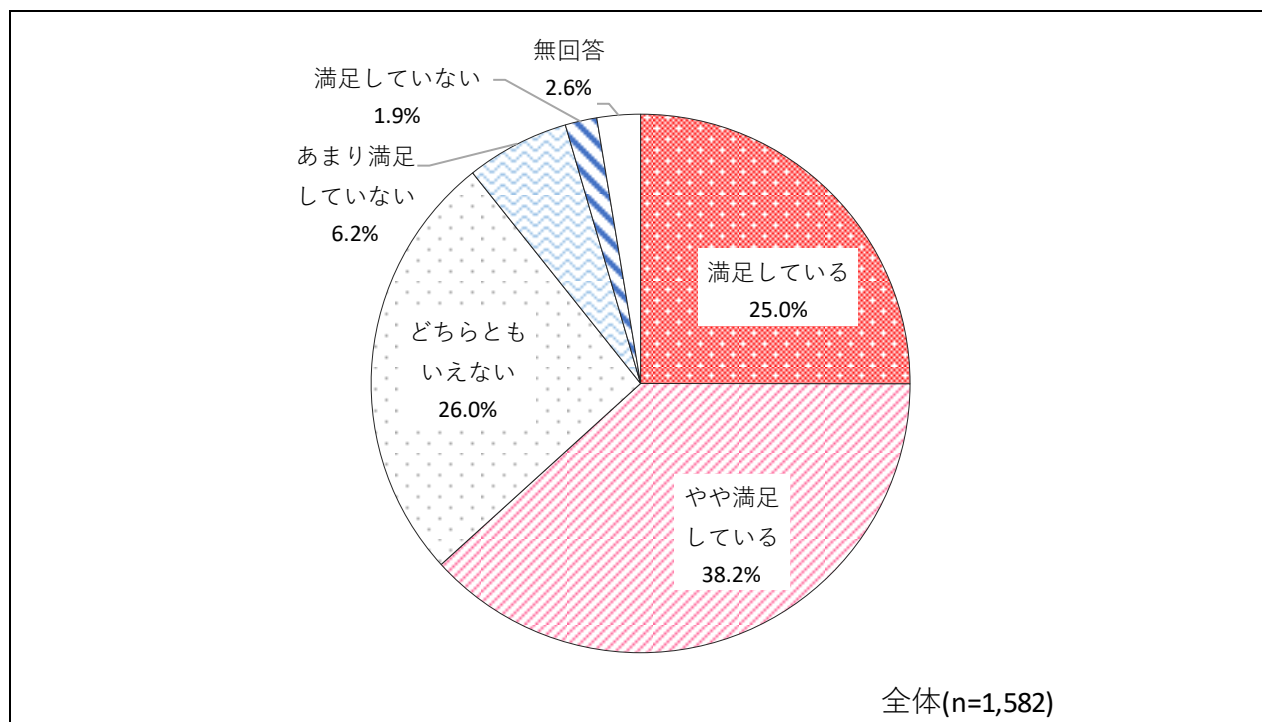
『満足している』は、男性(71.0%)に比べて女性(74.4%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、20代以下(83.5%)で最も高く8割以上となっています。50代(64.7%)、70代以上(66.7%)で6割台と他の年代と比べて低くなっています。



③-8 友人関係



— 友人関係に『満足している』は6割以上 —

【全体結果】

友人関係について、「満足している」(25.0%)と「やや満足している」(38.2%)を合わせた『満足している』(63.2%)は6割以上となっています。「あまり満足していない」(6.2%)と「満足していない」(1.9%)を合わせた『満足していない』(8.1%)は1割未満となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は2.0ポイント減少、『満足していない』は1.6ポイント減少しています。

【属性別結果】

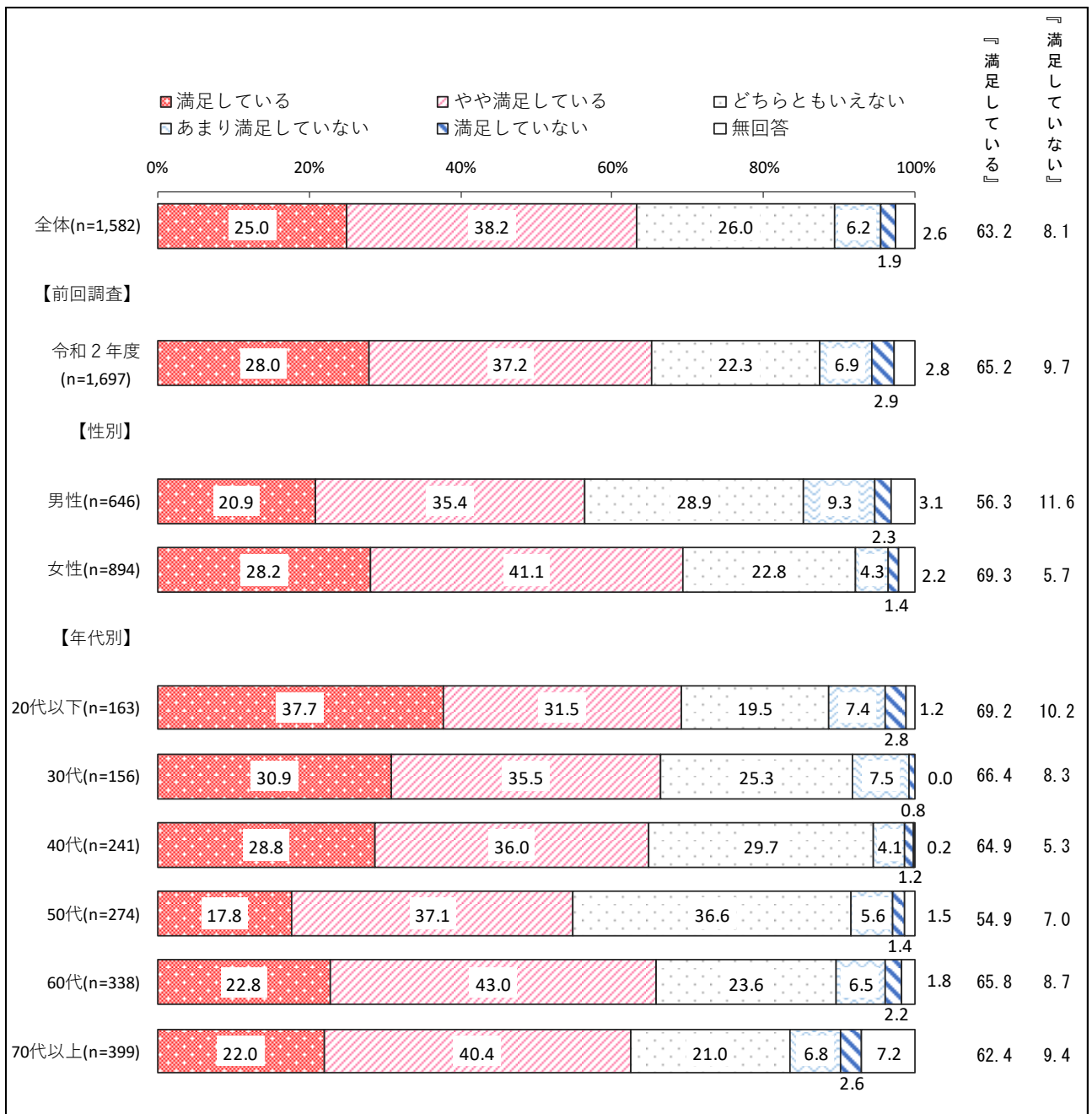
ア 性別

『満足している』は、男性(56.3%)に比べて女性(69.3%)で高くなっています。

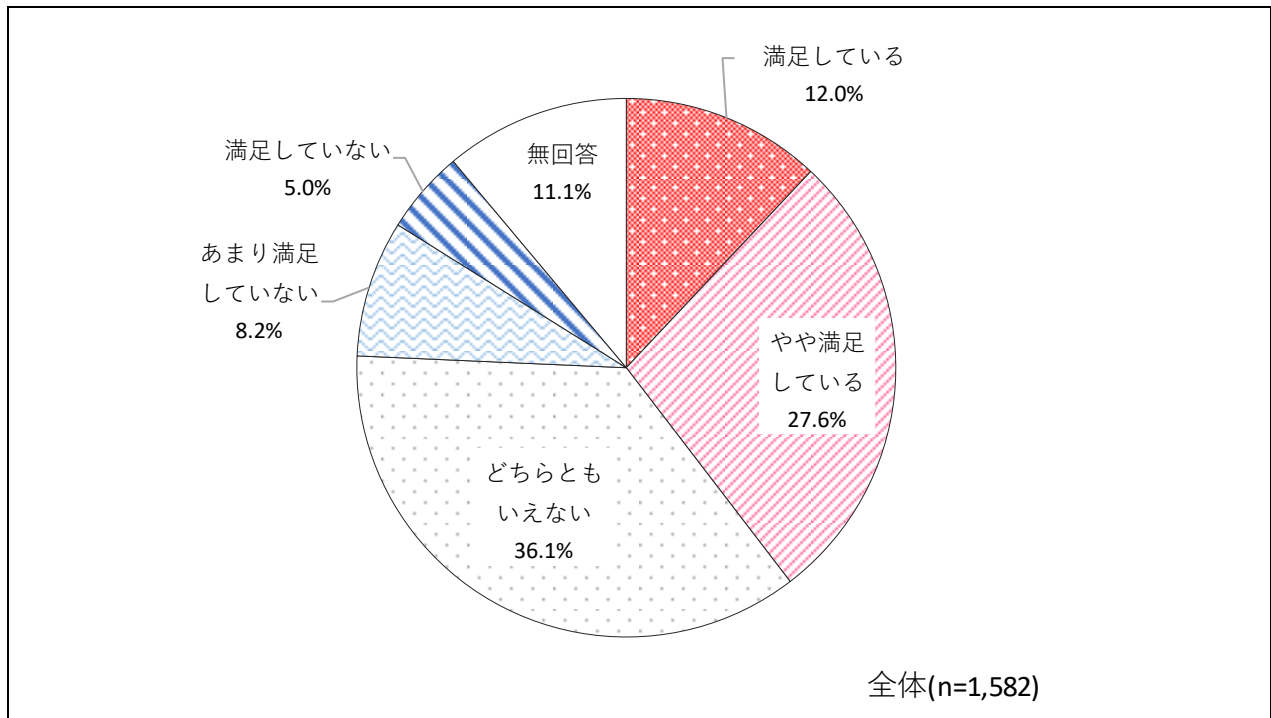
イ 年代別

『満足している』は、20代以下(69.2%)で最も高く約7割を占めています。「満足している」は、20代以下(37.7%)、30代(30.9%)で3割台と他の年代と比べて高くなっています。

50代では、「満足している」(17.8%)が1割台と低く、「どちらともいえない」(36.6%)が3割台と高くなっています。



③-9 職場の人間関係



— 職場の人間関係に『満足している』は約4割 —

【全体結果】

職場の人間関係について、「満足している」(12.0%)と「やや満足している」(27.6%)を合わせた『満足している』(39.6%)は約4割となっています。「あまり満足していない」(8.2%)と「満足していない」(5.0%)を合わせた『満足していない』(13.2%)は1割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は2.3ポイント減少、『満足していない』は0.3ポイント減少しています。

【属性別結果】

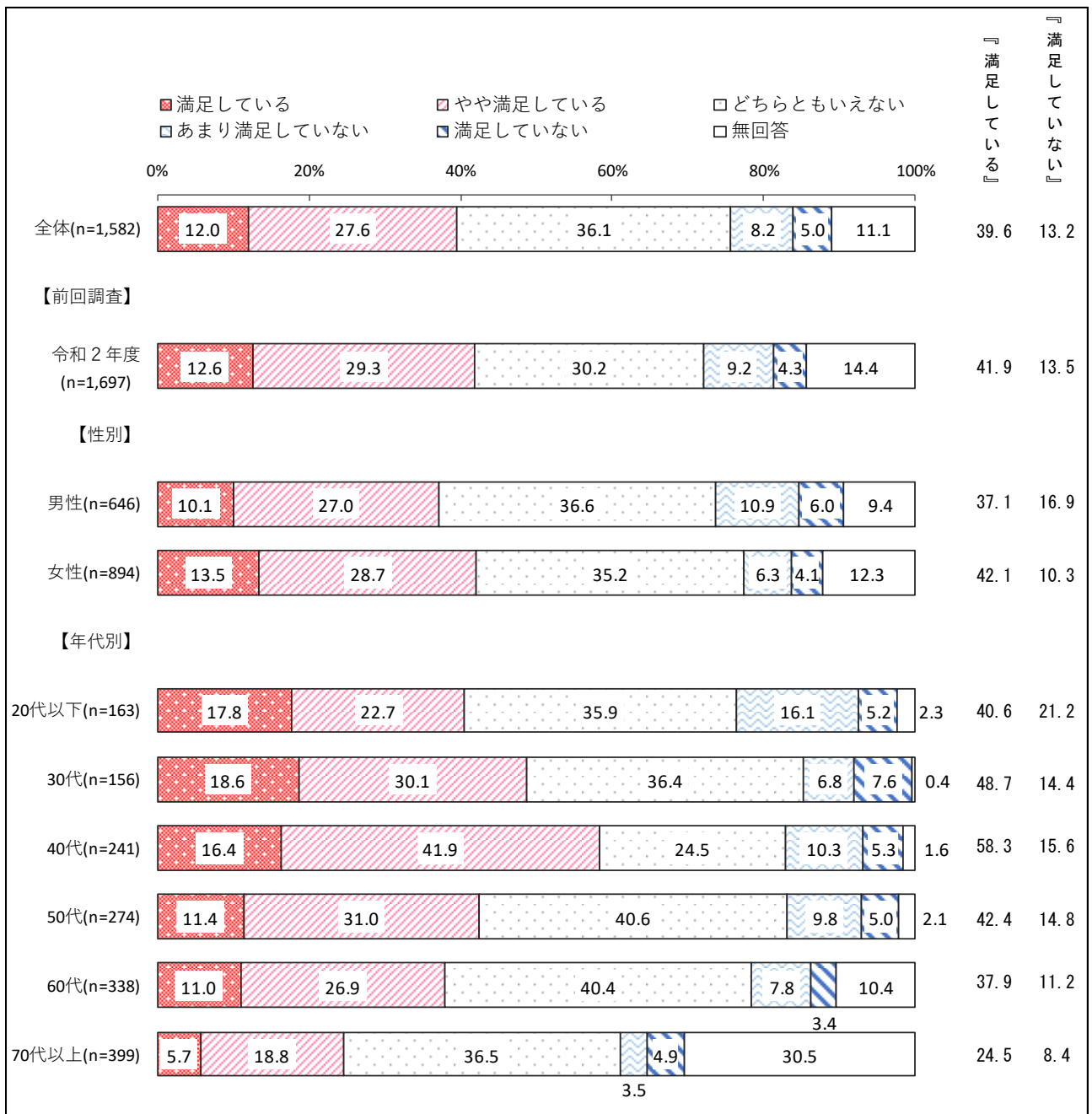
ア 性別

『満足している』は、男性(37.1%)に比べて女性(42.1%)で高くなっています。

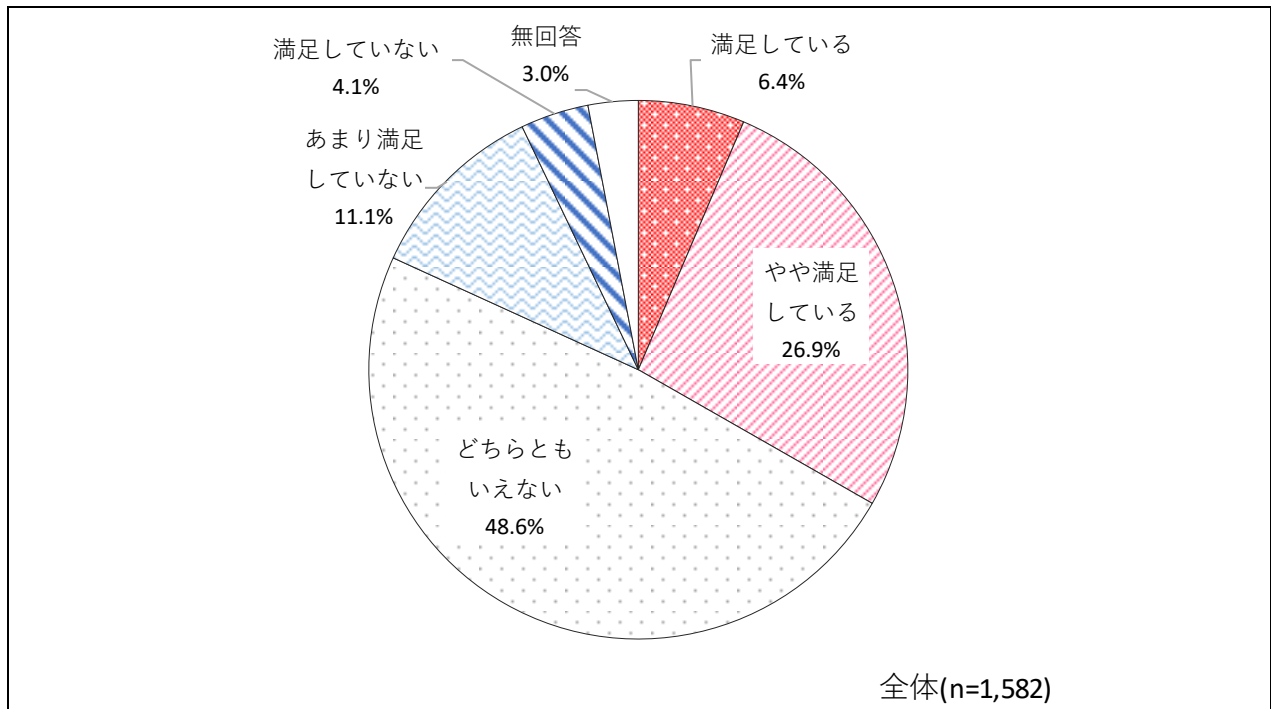
イ 年代別

『満足している』は、40代(58.3%)で最も高く5割以上、70代以上(24.5%)で最も低く2割台となっています。『満足していない』は、20代以下(21.2%)で最も高く2割以上となっています。

70代以上では、「無回答」(30.5%)が約3割と高くなっています。



③-10 地域コミュニティとの関係



— 地域コミュニティとの関係に『満足している』は3割台 —

【全体結果】

地域コミュニティとの関係について、「満足している」(6.4%)と「やや満足している」(26.9%)を合わせた『満足している』(33.3%)は3割台となっています。「あまり満足していない」(11.1%)と「満足していない」(4.1%)を合わせた『満足していない』(15.1%)は1割台となっています。「どちらともいえない」(48.6%)は4割以上となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は0.9ポイント減少、『満足していない』はポイントの増減はほとんどみられません。

【属性別結果】

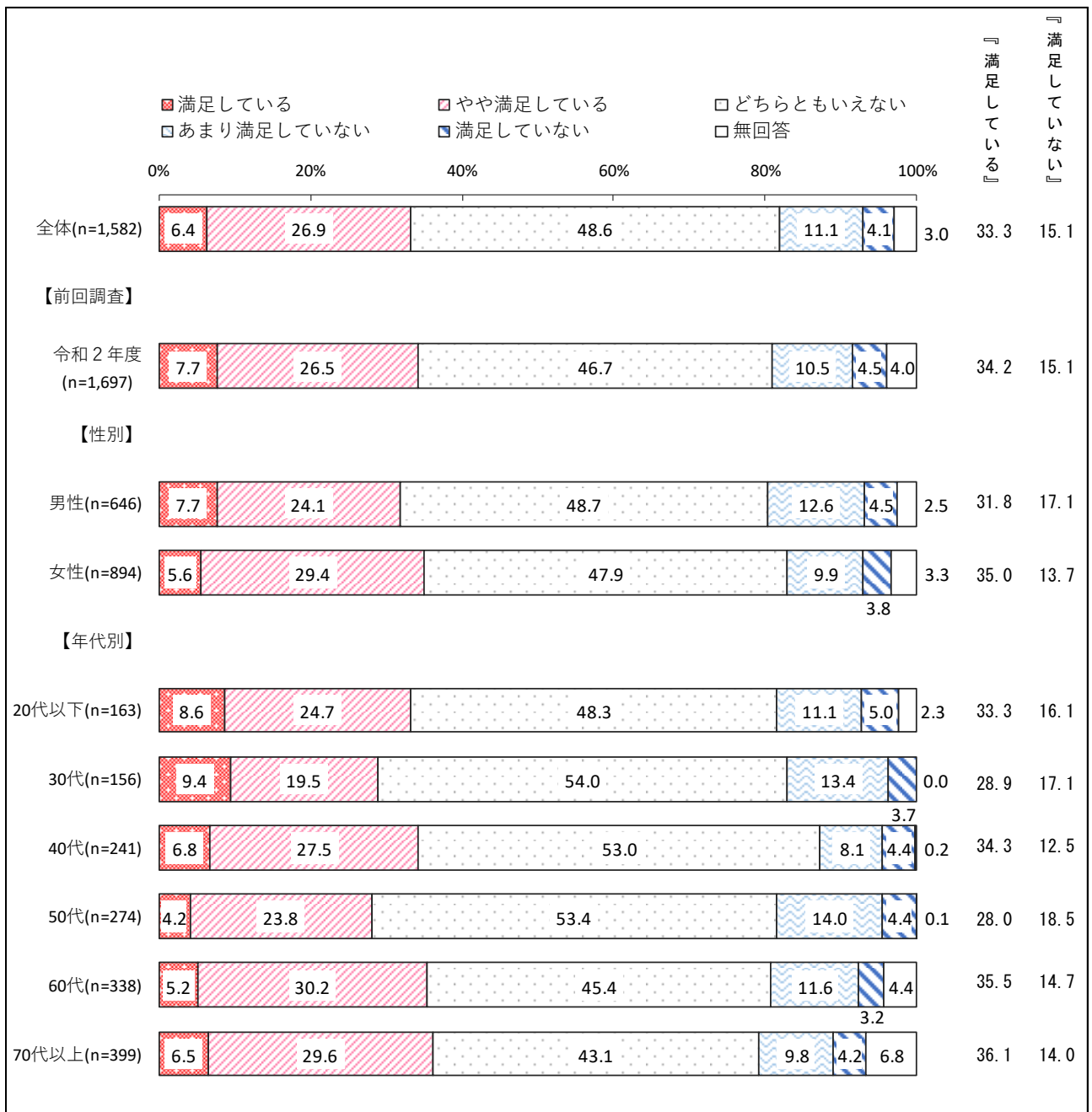
ア 性別

『満足している』は、男性(31.8%)に比べて女性(35.0%)でやや高くなっています。

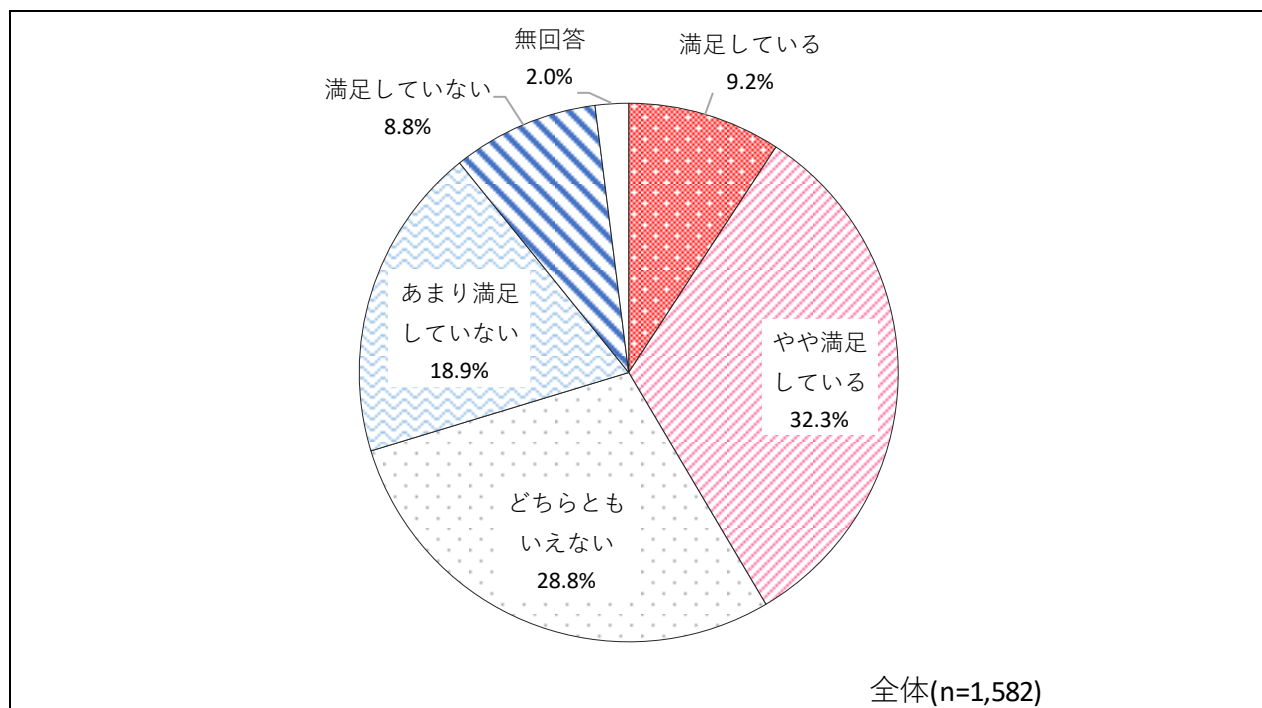
『満足していない』は、女性(13.7%)に比べて男性(17.1%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、70代以上(36.1%)で最も高くなっています。30代(28.9%)、50代(28.0%)で2割台と他の年代と比べて低くなっています。



③-11 精神的なゆとり



— 精神的なゆとりに『満足している』は4割以上 —

【全体結果】

精神的なゆとりについて、「満足している」(9.2%)と「やや満足している」(32.3%)を合わせた『満足している』(41.6%)は4割以上となっています。「あまり満足していない」(18.9%)と「満足していない」(8.8%)を合わせた『満足していない』(27.6%)は2割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は2.3ポイント減少、『満足していない』は0.1ポイント増加しています。

【属性別結果】

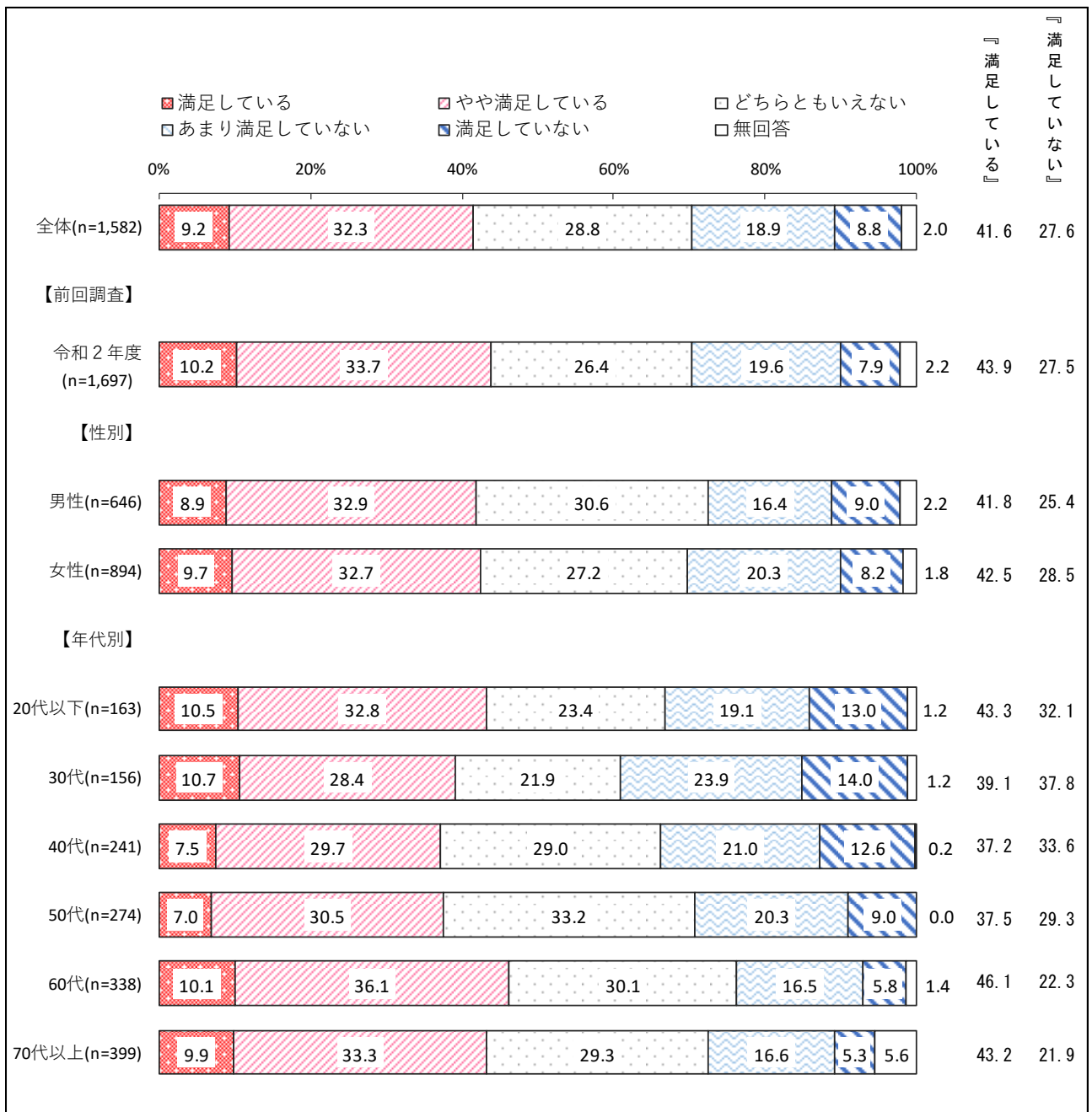
ア 性別

『満足している』は、性別による大きな差はみられません。

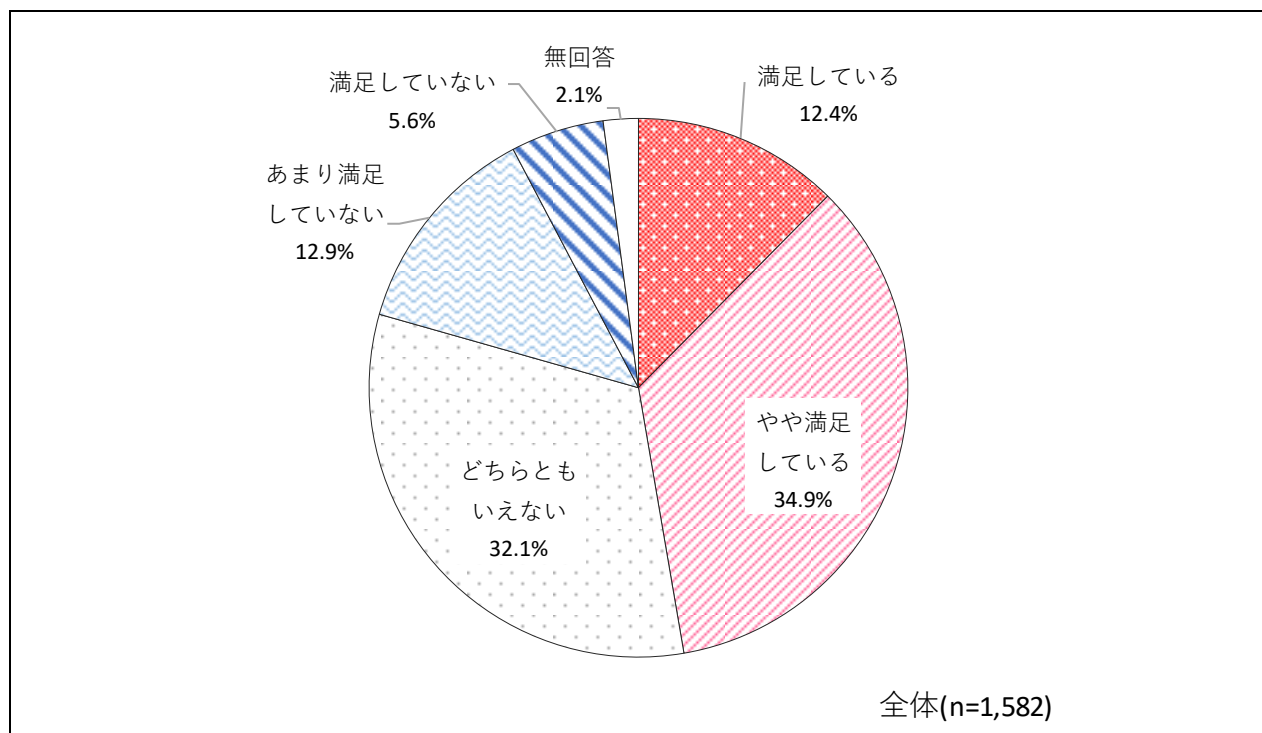
『満足していない』は、男性(25.4%)に比べて女性(28.5%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、60代(46.1%)で最も高く、次いで20代以下(43.3%)、70代以上(43.2%)と続いています。『満足していない』は、30代(37.8%)で高くなっています。



③-12 生きがい



— 生きがいに『満足している』は4割以上 —

【全体結果】

生きがいについて、「満足している」(12.4%)と「やや満足している」(34.9%)を合わせた『満足している』(47.3%)は4割以上となっています。「あまり満足していない」(12.9%)と「満足していない」(5.6%)を合わせた『満足していない』(18.4%)は1割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は0.8ポイント増加、『満足していない』は0.6ポイント減少しています。

【属性別結果】

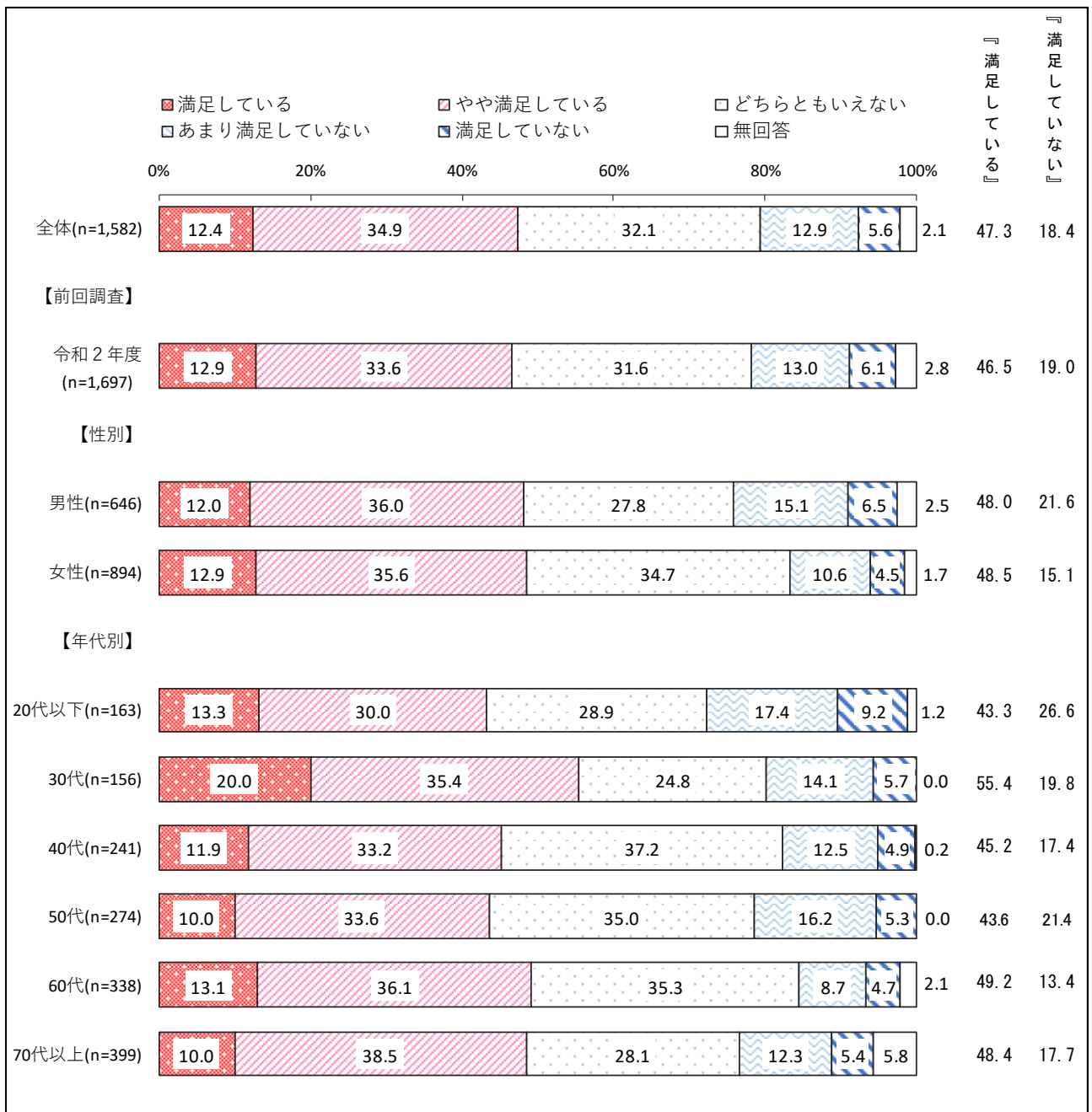
ア 性別

『満足している』は、性別による大きな差はみられません。

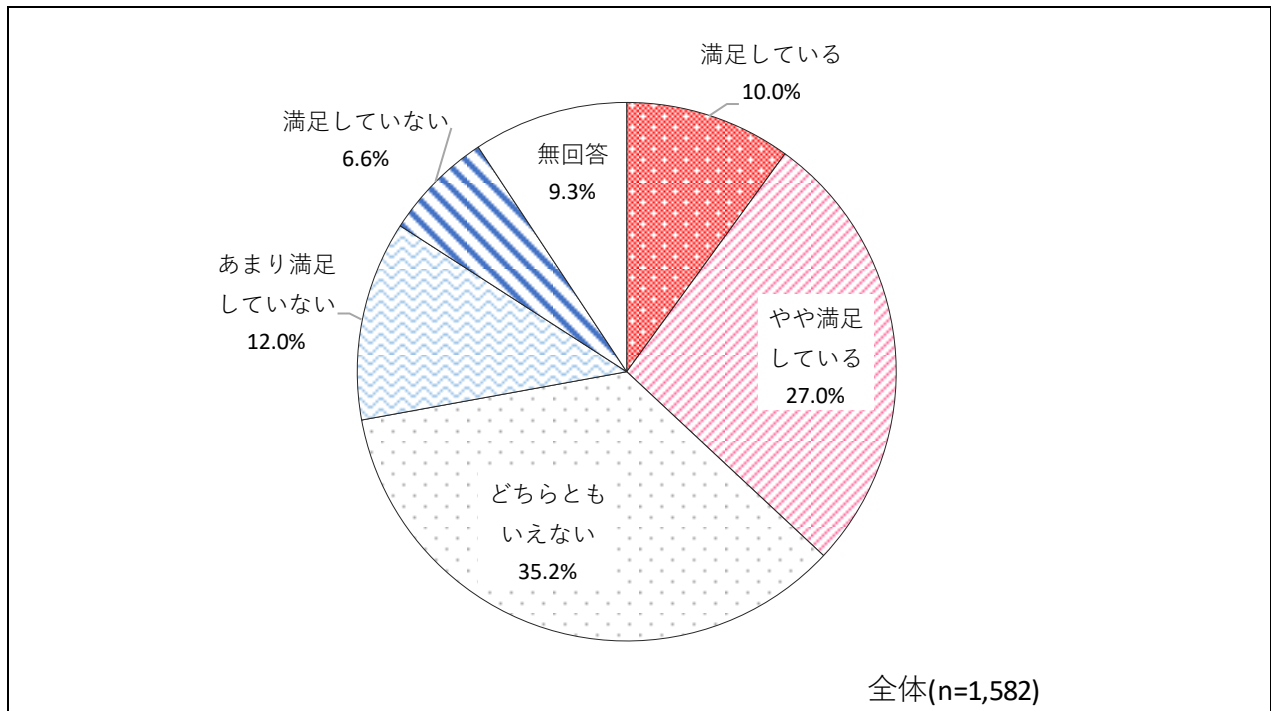
『満足していない』は、女性(15.1%)に比べて男性(21.6%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、30代(55.4%)で最も高く5割以上となっています。『満足していない』は、20代以下(26.6%)、50代(21.4%)で2割台と他の年代と比べてやや高くなっています。



③-13 仕事の充実度



— 仕事の充実度に『満足している』は3割台 —

【全体結果】

仕事の充実度について、「満足している」(10.0%)と「やや満足している」(27.0%)を合わせた『満足している』(36.9%)は3割台となっています。「あまり満足していない」(12.0%)と「満足していない」(6.6%)を合わせた『満足していない』(18.5%)は1割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は0.6ポイント増加、『満足していない』は0.5ポイント増加しています。

【属性別結果】

ア 性別

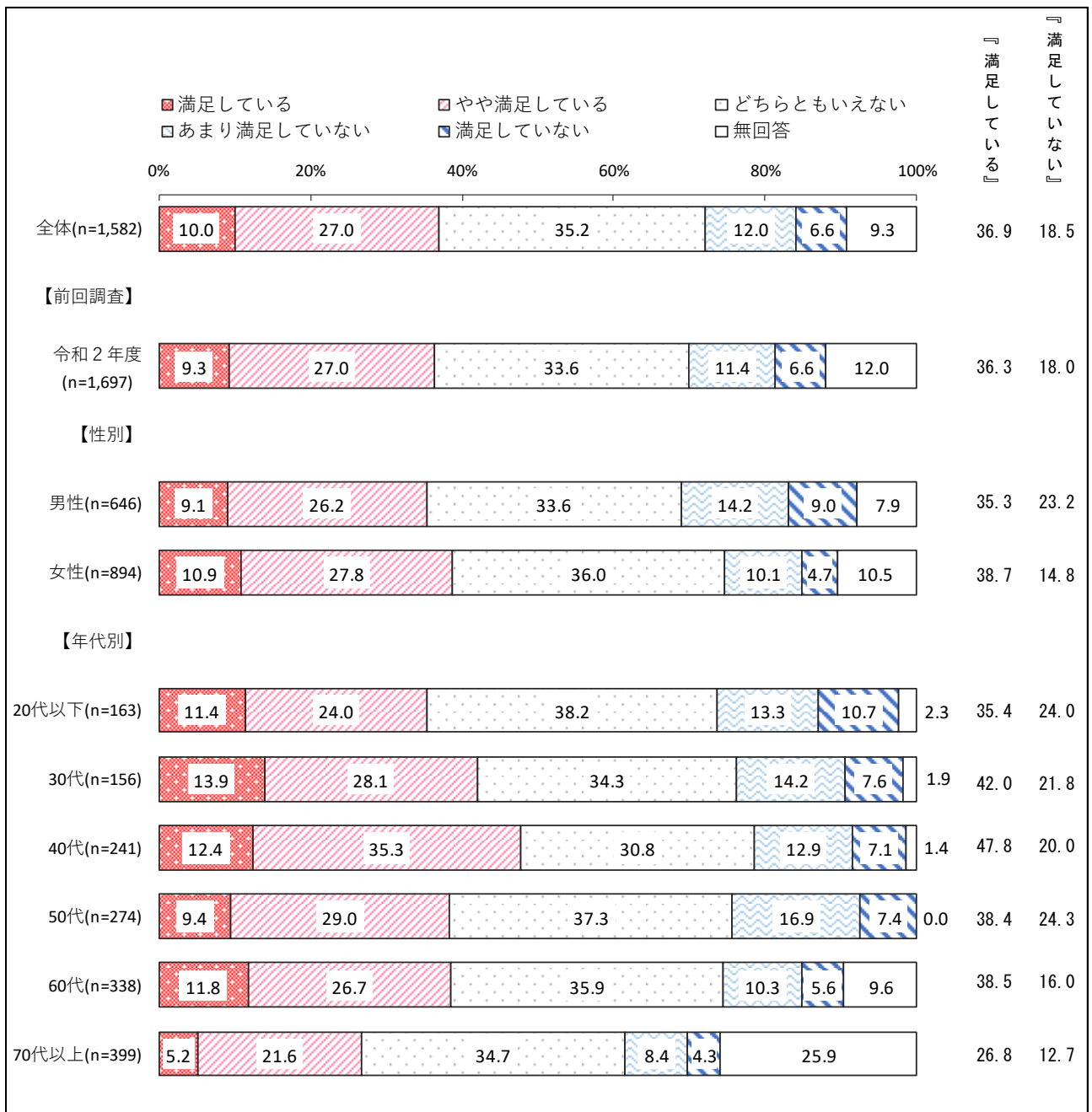
『満足している』は、男性(35.3%)に比べて女性(38.7%)でやや高くなっています。

『満足していない』は、女性(14.8%)に比べて男性(23.2%)で高くなっています。

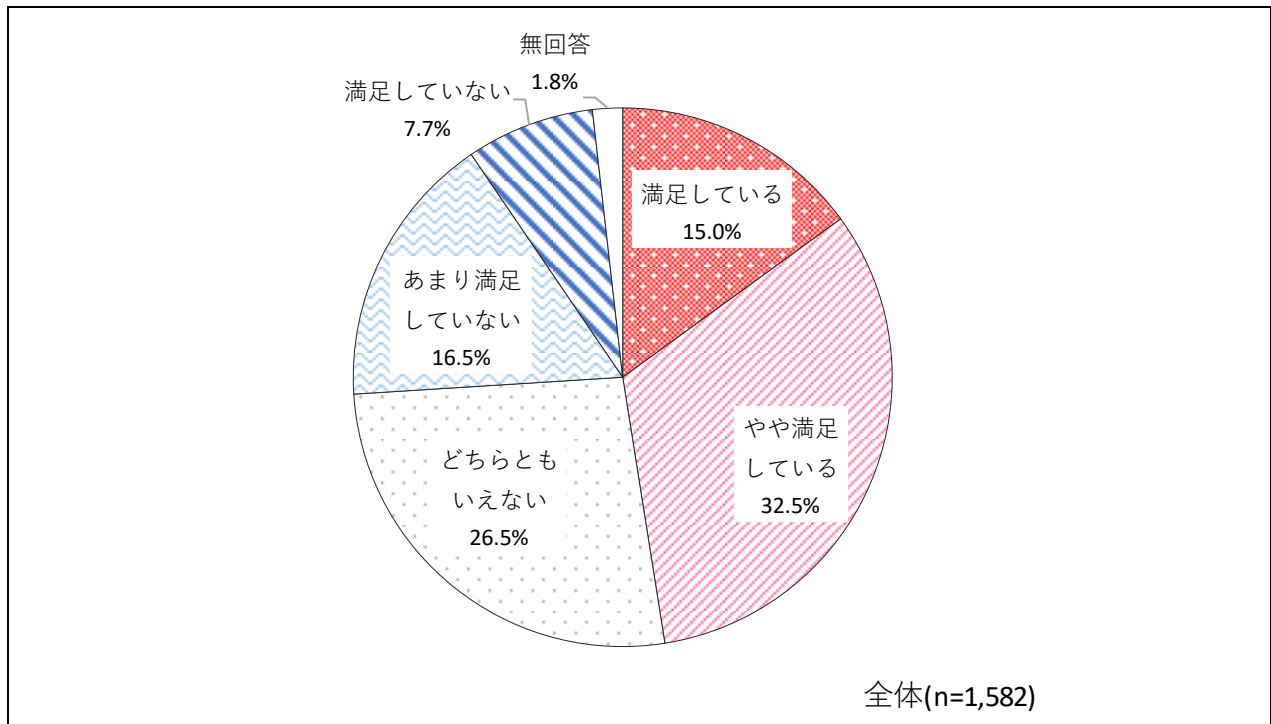
イ 年代別

『満足している』は、40代(47.8%)で最も高く、次いで30代(42.0%)となっています。

70代以上では、『満足している』(26.8%)が2割台と他の年代と比べて低く、「無回答」(25.9%)が2割台と高くなっています。



③-14 自由な時間・充実した余暇



— 自由な時間・充実した余暇について『満足している』は4割以上 —

【全体結果】

自由な時間・充実した余暇について、「満足している」（15.0％）と「やや満足している」（32.5％）を合わせた『満足している』（47.5％）は4割以上となっています。「あまり満足していない」（16.5％）と「満足していない」（7.7％）を合わせた『満足していない』（24.2％）は2割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『満足している』は2.0ポイント減少、『満足していない』は2.2ポイント増加しています。

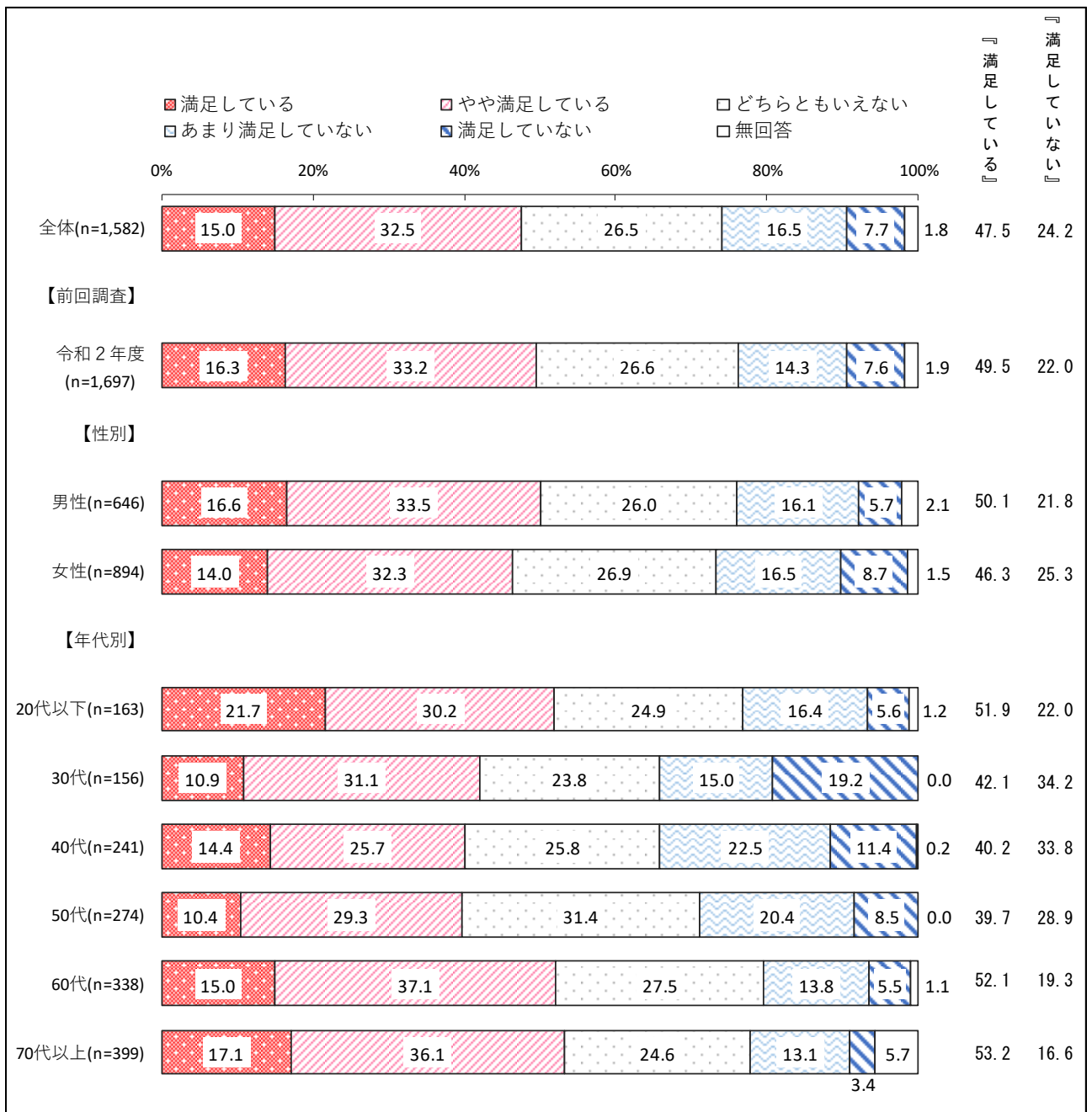
【属性別結果】

ア 性別

『満足している』は、女性（46.3％）に比べて男性（50.1％）でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』は、70代以上（53.2％）で最も高く、70代以上、60代（52.1％）、20代以下（51.9％）で5割以上となっています。『満足していない』は、30代（34.2％）、40代（33.8％）で3割台と高くなっています。

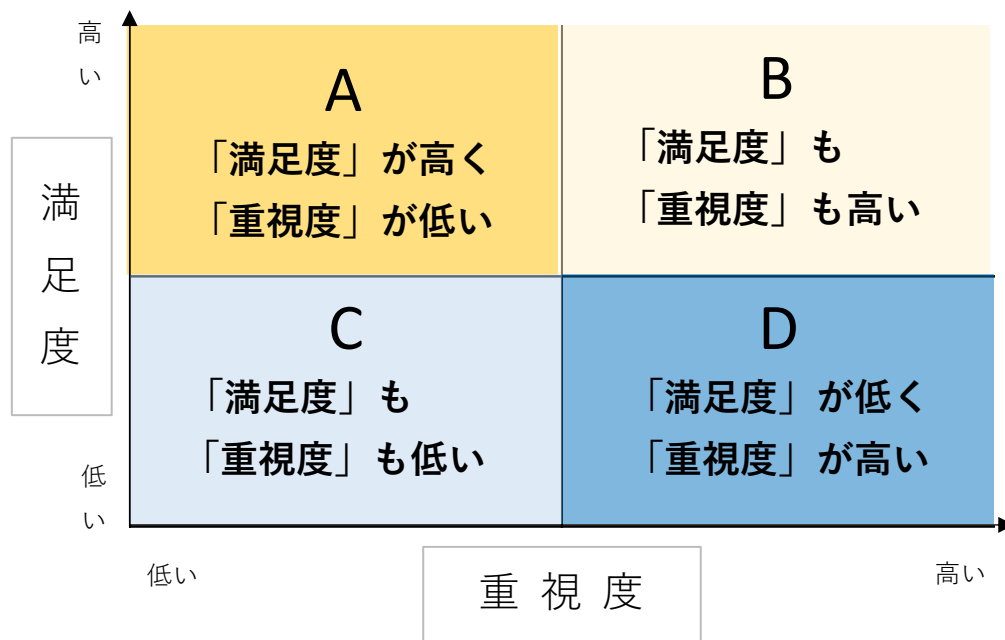


(3) 満足度と重視度の関係について

《満足度と重視度の散布図》

本県の取組における項目間の相対的な位置づけを整理するため、「満足度」を縦軸、「重視度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重視度」の数値を散布図に示しました。

「満足度」と「重視度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

満足度は高いが重視度は低い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

満足度が高く重視度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

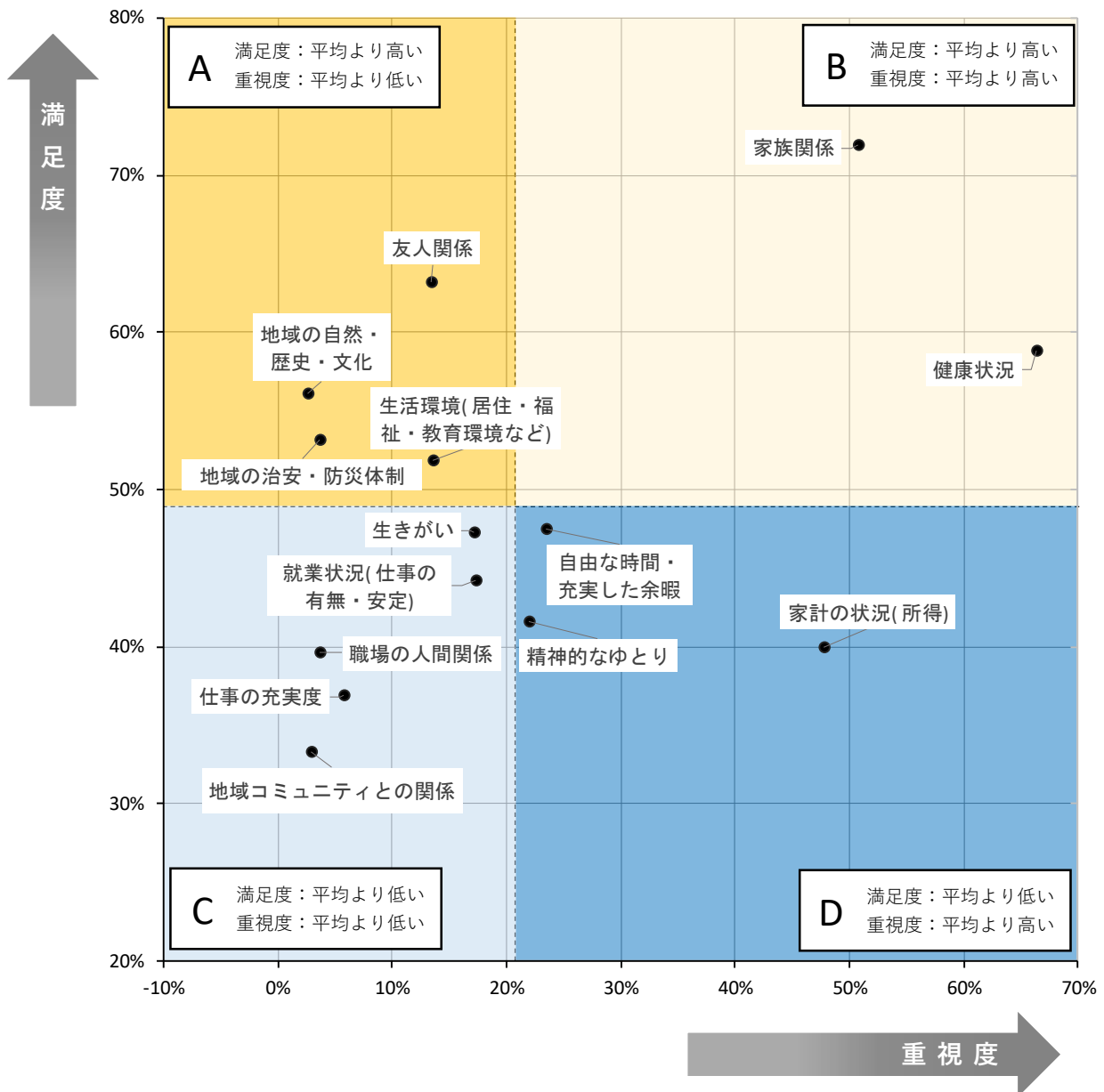
C：要検討領域

満足度が低く重視度も低い取組は、県民のニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

満足度は低いが重視度は高いため、現在のやり方を変え、満足度を高めていく必要がある項目

上記の領域に該当した項目の満足度や重視度の高低については、全体の平均と比較して、相対的に満足度や重視度が高いまたは低いとしています。



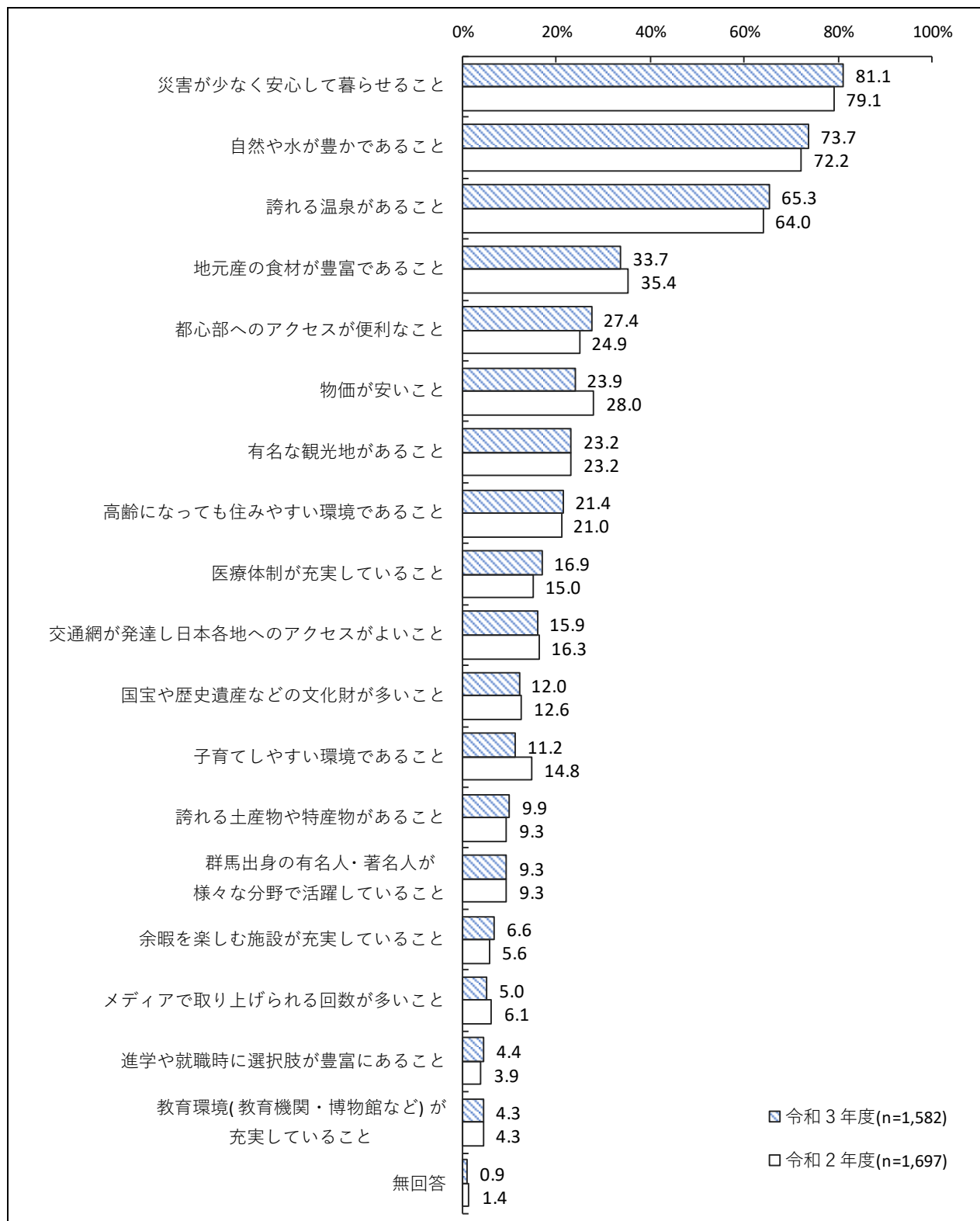
— 特に、重視度は高いが満足度が低いのは「家計の状況(所得)」 —

幸福感を判断する際の重視度は高いが満足度が低い「D 重点的改善領域」の項目は、「家計の状況(所得)」、「自由な時間・充実した余暇」、「精神的なゆとり」となっています。

2. 『群馬県に対する気持ち』について

(1) 群馬県のよいところ

Q あなたが思う「群馬県のよいところ」はどのようなところですか。次の1～18の中から、該当するすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 「災害が少なく安心して暮らせること」が8割以上 —

【全体結果】

「群馬県のよいところ」について、「災害が少なく安心して暮らせること」（81.1％）が最も高く8割以上となっています。次いで「自然や水が豊かであること」（73.7％）が7割台、「誇れる温泉があること」（65.3％）が6割台、「地元産の食材が豊富であること」（33.7％）が3割台、「都心部へのアクセスが便利なこと」（27.4％）、「物価が安いこと」（23.9％）、「有名な観光地があること」（23.2％）、「高齢になっても住みやすい環境であること」（21.4％）が2割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、上位3項目に大きな差はみられません。

「物価が安いこと」は4.1ポイント減少、「子育てしやすい環境であること」は3.6ポイント減少しています。

【属性別結果】

ア 性別

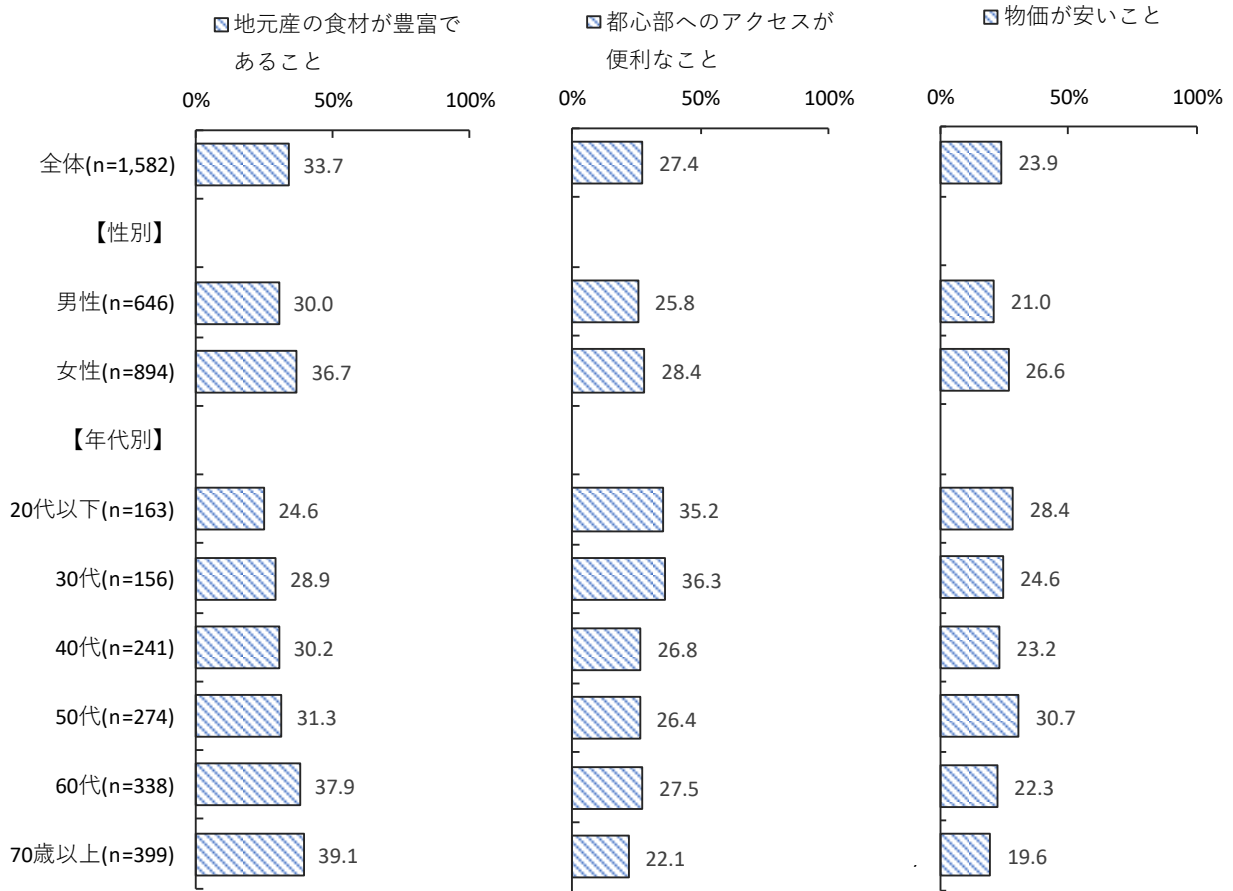
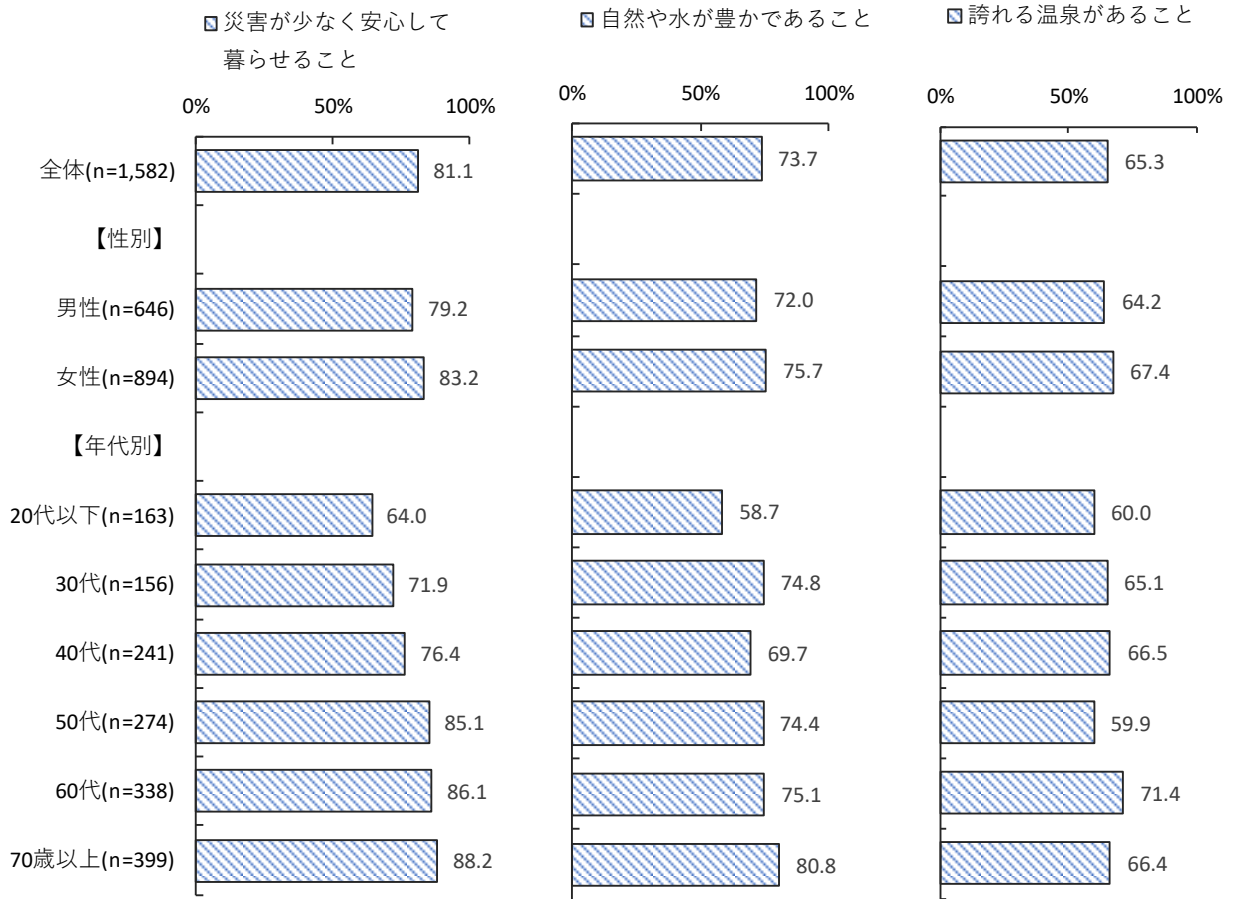
男女ともに、「災害が少なく安心して暮らせること」（79.2％、83.2％）が最も高く、次いで「自然や水が豊かであること」（72.0％、75.7％）、「誇れる温泉があること」（64.2％、67.4％）となっています。

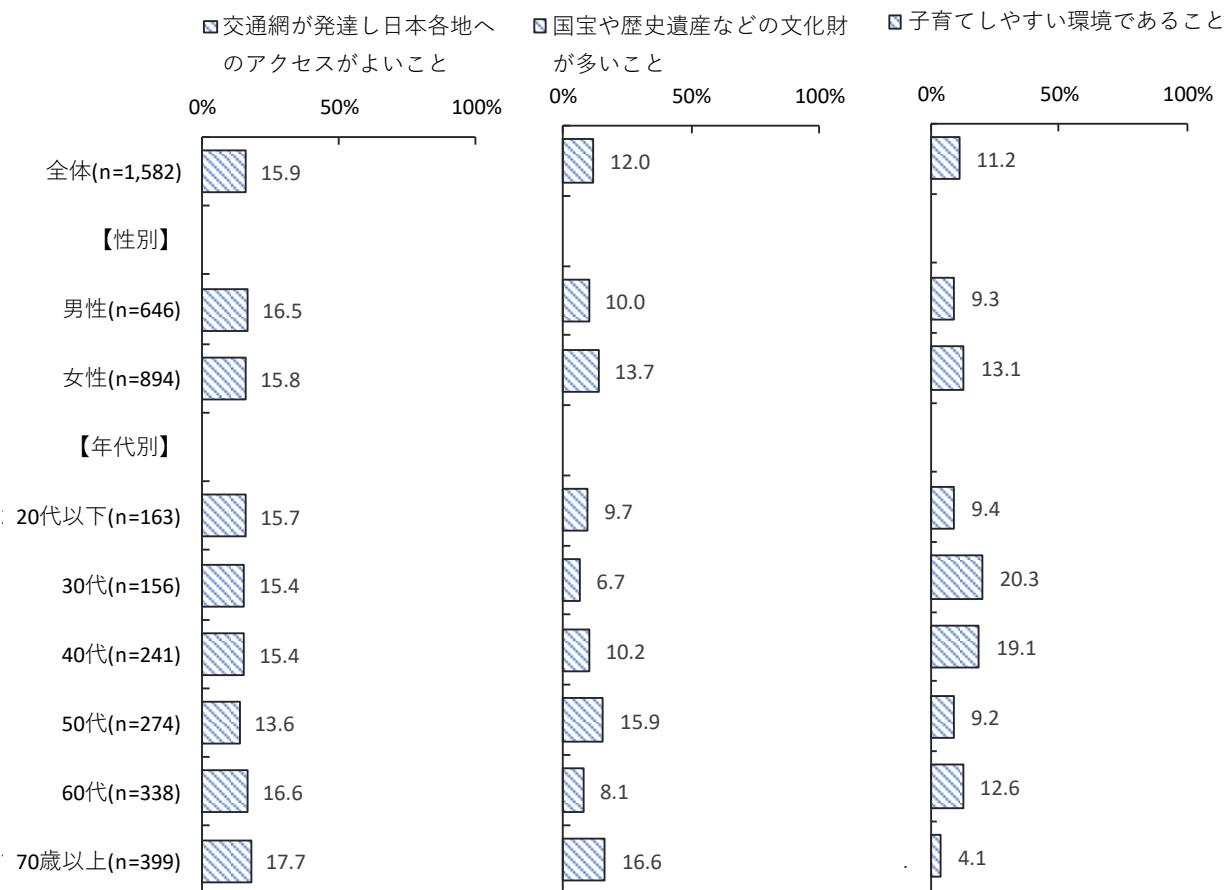
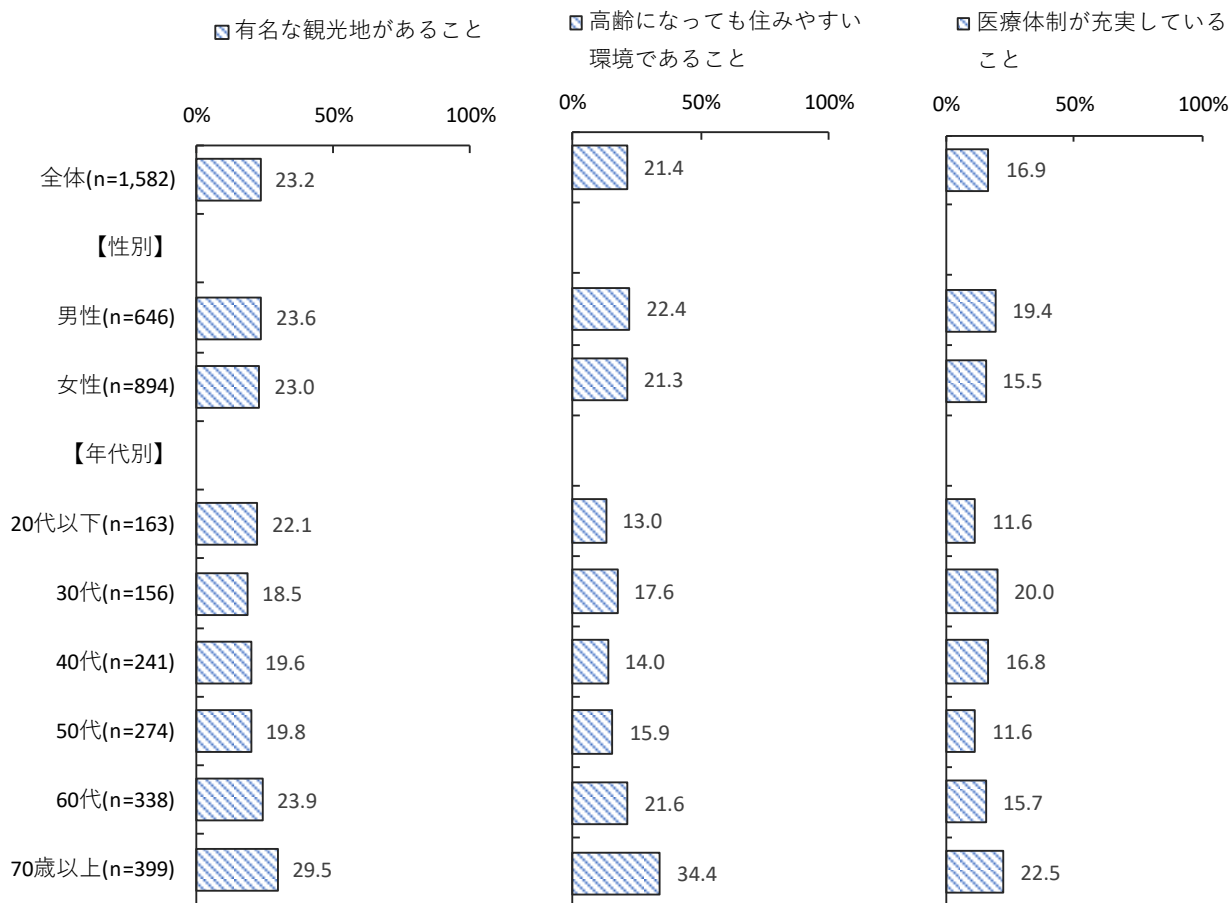
「地元産の食材が豊富であること」、「物価が安いこと」は、それぞれ男性（30.0％、21.0％）に比べて女性（36.7％、26.6％）で高くなっています。

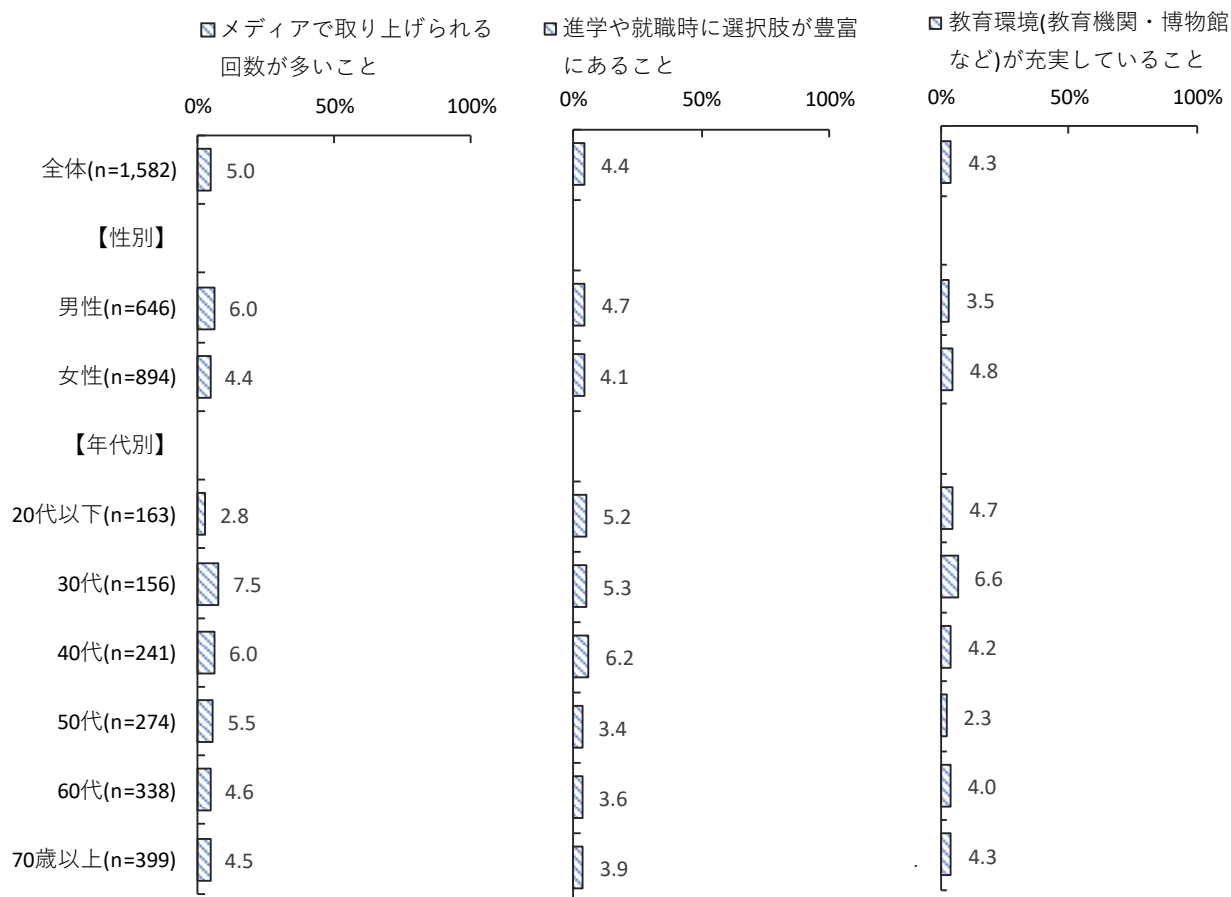
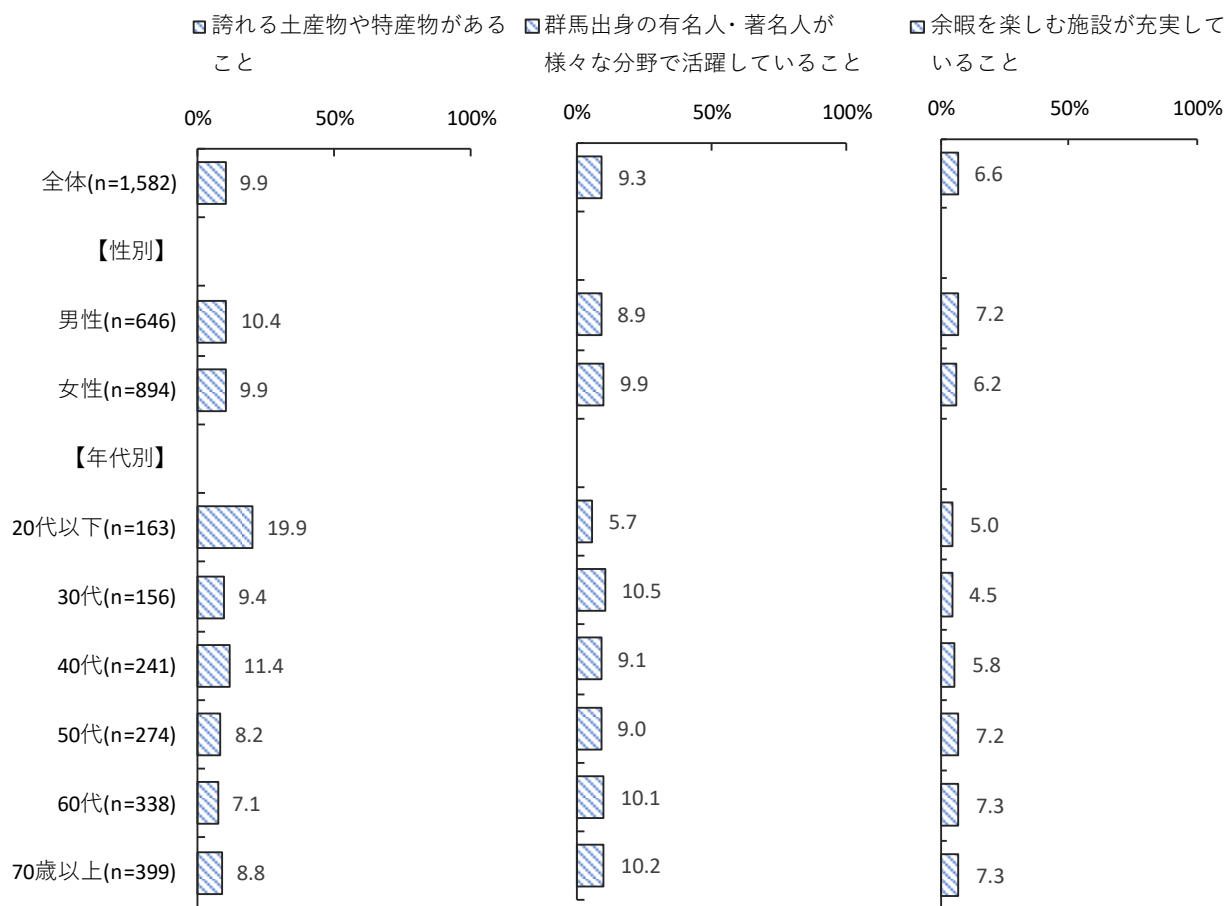
イ 年代別

30代では「自然や水が豊かであること」が最も高く、30代を除くすべての年代では「災害が少なく安心して暮らせること」が最も高くなっています。

「災害が少なく安心して暮らせること」は、20代以下（64.0％）で最も低く6割台、70代以上（88.2％）で最も高く8割台と、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。「自然や水が豊かであること」は、20代以下（58.7％）で5割台と他の年代と比べて低くなっています。「都心部へのアクセスが便利なこと」は、30代（36.3％）、20代以下（35.2％）で3割台、「子育てしやすい環境であること」は、30代（20.3％）、40代（19.1％）で2割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

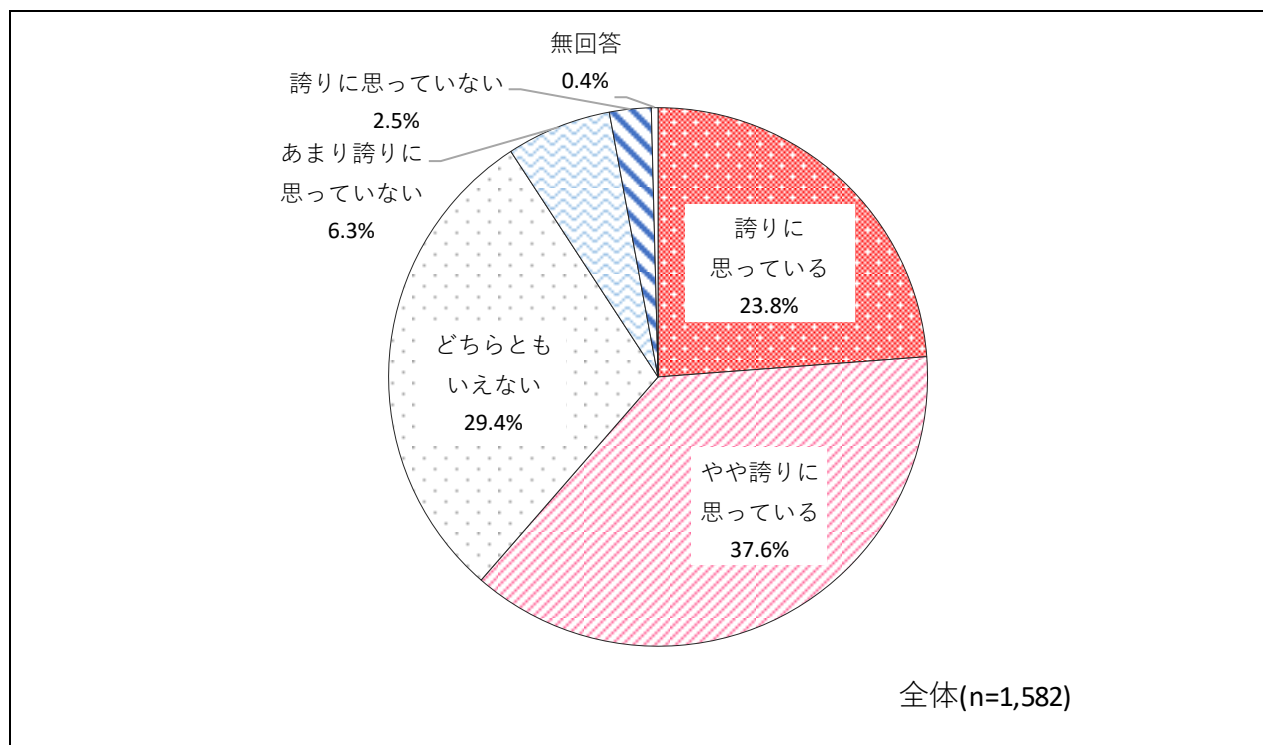






(2) 群馬県への誇り

Q あなたは、群馬県のことを誇りに思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 群馬県を『誇りに思っている』は6割以上 —

【全体結果】

群馬県への誇りについて、「誇りに思っている」(23.8%)と「やや誇りに思っている」(37.6%)を合わせた『誇りに思っている』(61.4%)は6割以上となっています。「あまり誇りに思っていない」(6.3%)と「誇りに思っていない」(2.5%)を合わせた『誇りに思っていない』(8.8%)は1割未満となっています。

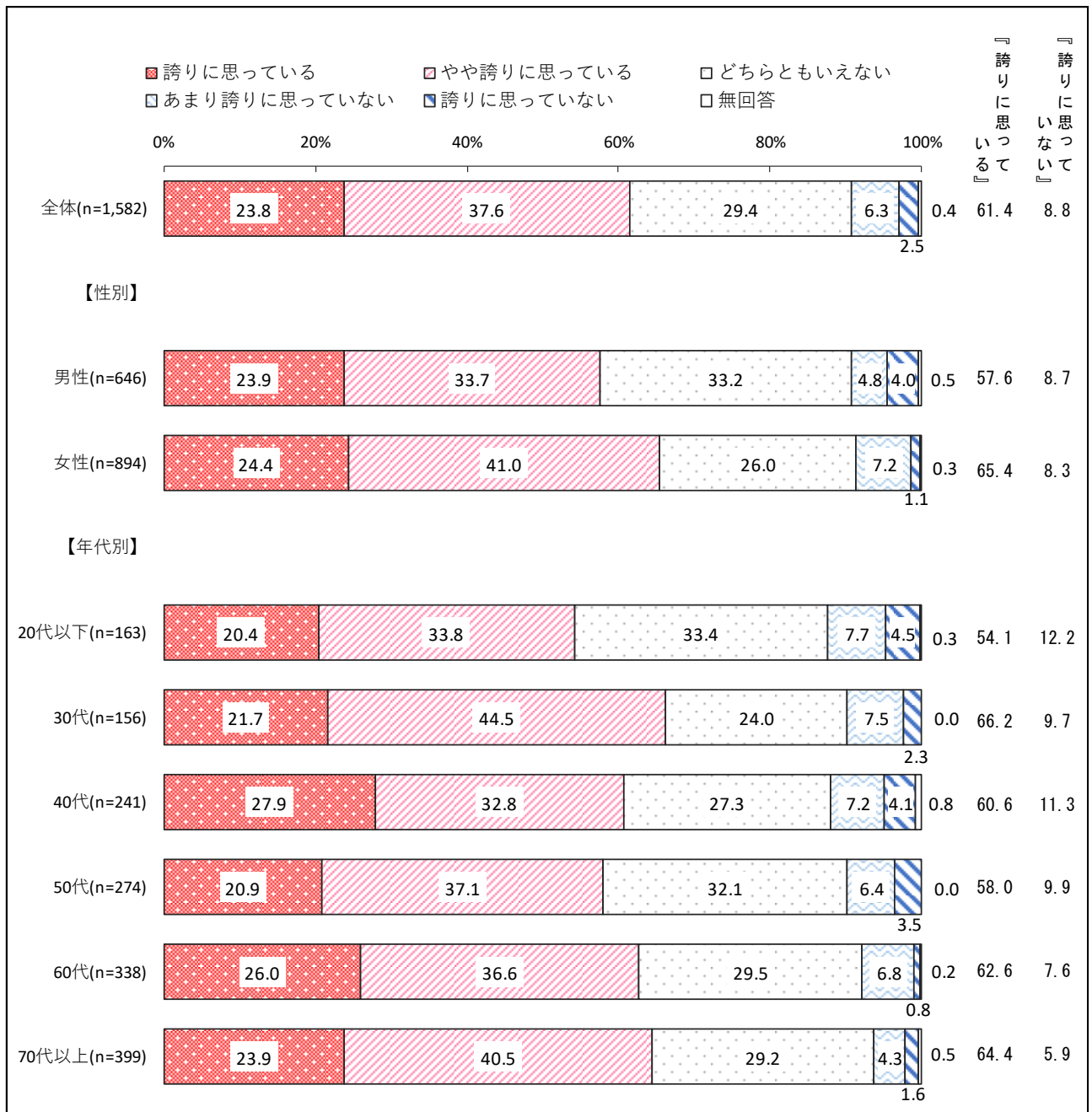
【属性別結果】

ア 性別

『誇りに思っている』は、男性(57.6%)に比べて女性(65.4%)で高くなっています。

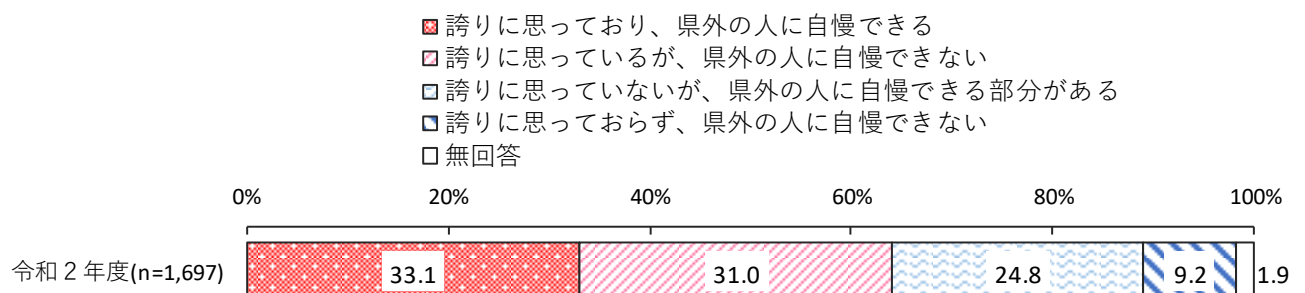
イ 年代別

『誇りに思っている』は、30代(66.2%)で最も高く、次いで70代以上(64.4%)となっています。「誇りに思っている」は、40代(27.9%)でやや高くなっています。



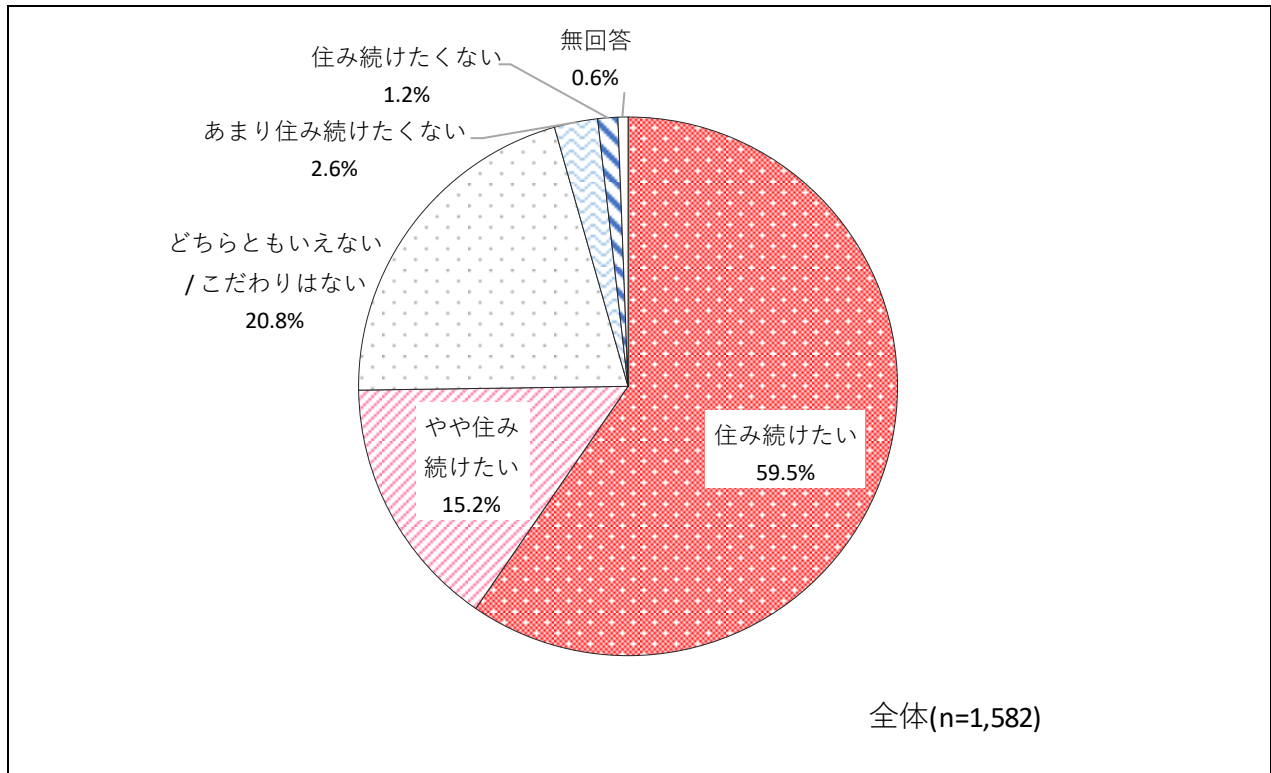
【前回調査比較結果】

令和2年度調査との比較は、選択肢を一部変更・削除しているため、比率を直接比較することができないことから、参考として調査結果のみを示します。



(3) 今後の居留意向

Q あなたは、今後も群馬県に住み続けたいと思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『住み続けたい』は7割以上 —

【全体結果】

今後の居留意向について、「住み続けたい」(59.5%)と「やや住み続けたい」(15.2%)を合わせた『住み続けたい』(74.7%)は7割以上となっています。「あまり住み続けたくない」(2.6%)と「住み続けたくない」(1.2%)を合わせた『住み続けたくない』(3.9%)は1割未満となっています。「どちらともいえない/こだわりはない」(20.8%)は約2割となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『住み続けたい』は0.6ポイント減少、『住み続けたくない』は0.6ポイント増加しています。

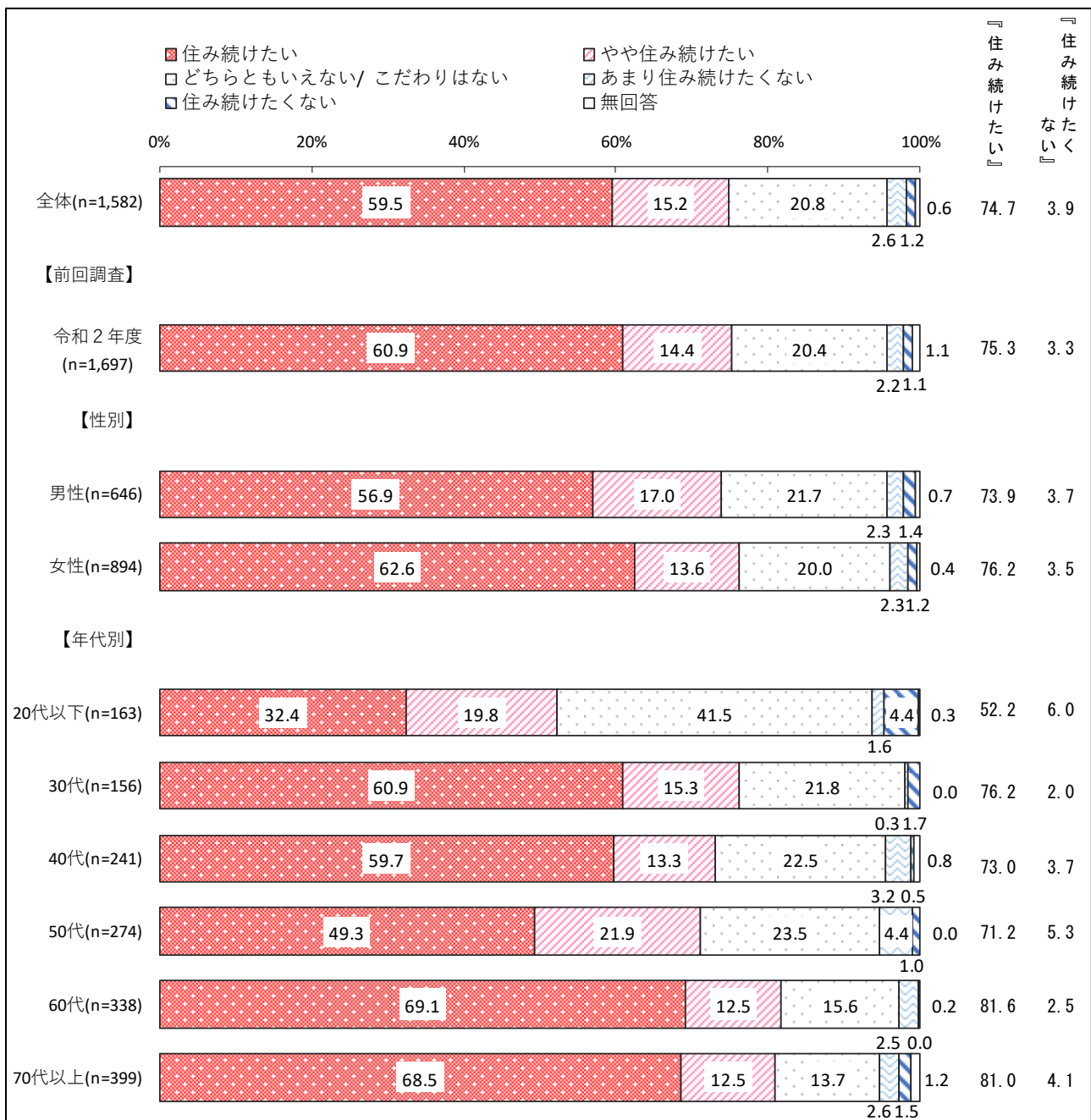
【属性別結果】

ア 性別

性別による大きな差はみられません。

イ 年代

『住み続けたい』は、60代(81.6%)で最も高く、60代、70代以上(81.0%)で8割以上となっています。20代以下では、「住み続けたい」(32.4%)が3割台と低く、「どちらともいえない/こだわりはない」(41.5%)が4割台と高くなっています。



3. 居住地域や社会状況等への所感（充足感）について

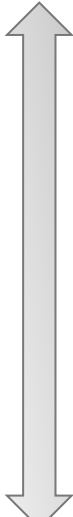
(1) 充足度結果一覧

Q 次の1～40の質問について、あなたの実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

40項目の充足度ランキング

順位	項目	充足度		差異 (R3-R2)
		令和3年度	令和2年度	
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.4	66.9	▲0.5
2	治安がよく安心した生活	66.1	66.7	▲0.6
3	群馬の歴史文化への誇り	63.3	62.4	0.9
4	消費者としての安心・安全	59.4	60.9	▲1.5
5	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境	58.9	57.8	1.1
6	海外からの観光客にとって魅力的だと思える観光地	58.1	57.2	0.9
7	救急医療体制	57.5	57.0	0.5
8	運動やスポーツに取り組むことができる環境	57.0	58.7	▲1.7
9	移住者を受け入れる土壌	56.2	56.3	▲0.1
10	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境	55.9	56.9	▲1.0
11	自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策	55.9	56.1	▲0.2
12	安心してこどもを産み育てられる環境	55.7	56.1	▲0.4
13	災害時に必要な情報提供を受けられる体制	53.5	52.9	0.6
14	必要な医療サービスを受けられる体制	53.4	53.2	0.2
15	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場	52.6	53.0	▲0.4
16	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境	52.4	52.3	0.1
17	自主的な健康づくりを促すための支援	51.3	50.2	1.1
18	交通事故が少なく安全な生活	51.3	51.7	▲0.4
19	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組	51.2	45.8	5.4
20	群馬県産の農林水産物がブランド評価、県内外への販路拡大	50.9	53.0	▲2.1
21	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会	49.6	48.9	0.7
22	魅力ある観光地づくり	49.6	49.8	▲0.2
23	子育てをしながら働き続けられる環境	49.3	43.3	6.0
24	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合った暮らし	49.2	49.1	0.1
25	運動やスポーツを観戦する機会	48.8	48.3	0.5
26	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、社会のあらゆる分野で個性と能力の発揮	46.9	46.5	0.4
27	子どもたちが自分の頭で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育	45.6	46.3	▲0.7
28	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められている	45.5	45.2	0.3
29	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間の整備	44.8	45.1	▲0.3
30	働きやすい職場環境の整備	44.8	44.4	0.4
31	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっている	44.4	42.3	2.1
32	適切な森林の管理や利用	44.3	42.8	1.5
33	地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの普及や利活用	44.2	46.3	▲2.1
34	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動の定着	43.2	43.3	▲0.1
35	新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制	42.1	40.8	1.3
36	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境	41.9	42.8	▲0.9
37	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事がある	41.5	40.7	0.8
38	農林水産業の担い手の確保・育成	40.9	40.4	0.5
39	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われている	40.9	41.5	▲0.6
40	鉄道・バスなどの公共交通機関の利用しやすさ	30.2	28.7	1.5
		平均	50.4点	50.0点

平均より高い






平均より低い

令和2年度充足度ランキング
(上位10項目)

令和3年度充足度ランキング
(上位10項目)

順位	項目	充足度	順位	項目	充足度	
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9	1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.4	→
2	治安がよく安心した生活	66.7	2	治安がよく安心した生活	66.1	→
3	群馬の歴史文化への誇り	62.4	3	群馬の歴史文化への誇り	63.3	→
4	消費者としての安心・安全	60.9	4	消費者としての安心・安全	59.4	→
5	運動やスポーツに取り組むことができる環境	58.7	5	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境	58.9	↗
6	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境	57.8	6	海外からの観光客にとって魅力的だと思う観光地	58.1	↗
7	海外からの観光客にとって魅力的だと思う観光地	57.2	7	救急医療体制	57.5	↗
8	救急医療体制	57.0	8	運動やスポーツに取り組むことができる環境	57.0	↘
9	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境	56.9	9	移住者を受け入れる土壌	56.2	↗
10	移住者を受け入れる土壌	56.3	10	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境	55.9	↘

 順位上昇
 順位変動なし
 順位下降

居住地域や社会状況等に関する40項目の充足度平均得点をランキング化しました。

【感じる】は100点、【やや感じる】は75点、【どちらともいえない】は50点、【あまり感じない】は25点、【感じない】は0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました。

平均得点が高いほど、「充足」との評価が高い項目となっています。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しています。

<p>※1 平均得点の算出式</p> $\frac{(\text{【感じる】} \times 100 + \text{【やや感じる】} \times 75 + \text{【どちらともいえない】} \times 50 + \text{【あまり感じない】} \times 25 + \text{【感じない】} \times 0)}{\div \text{無回答を除いた n 数}}$
<p>※2 平均得点の算出例</p> <p>「感じる」100人、「やや感じる」75人、「どちらともいえない」200人、「あまり感じない」50人、「感じない」25人の場合</p> $\frac{100 \text{人} \times 100 \text{点} + 75 \text{人} \times 75 \text{点} + 200 \text{人} \times 50 \text{点} + 50 \text{人} \times 25 \text{点} + 25 \text{人} \times 0 \text{点}}{450 \text{人}} \div 59.72$ <p>この場合、平均得点は59.7点となります</p>

【全体結果】

居住地域や社会状況等における充足度は、「安心・安全な食品・農畜産物の提供」（66.4 点）で最も得点が高くなっています。次いで、「治安がよく安心した生活」（66.1 点）、「群馬の歴史文化への誇り」（63.3 点）、「消費者としての安心・安全」（59.4 点）、「健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境」（58.9 点）と続いています。

【前回調査比較結果】

令和 2 年度調査と比較すると、40 項目のうち 22 項目で前回調査を上回っています。

「子育てをしながら働き続けられる環境」が 6.0 点、「教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組」が 5.4 点増加しています。

順位で見ると、上位 4 項目に変動はありません。上位 10 項目では、「運動やスポーツに取り組むことができる環境」が 5 位から 8 位（58.7 点→57.0 点）に下がっています。

【属性別結果】（上位 3 項目）

ア 性別

男性では「治安がよく安心した生活」が最も高く、女性では「安心・安全な食品・農畜産物の提供」が最も高くなっています。

イ 年代別

20 代以下を除くすべての年代で、充足度の上位 3 項目は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」、「治安がよく安心した生活」、「群馬の歴史文化への誇り」となっています。20 代以下では、「群馬の歴史文化への誇り」ではなく、「消費者としての安心・安全」が上位 3 項目に入っています。

40 代以下の年代では「安心・安全な食品・農畜産物の提供」が、50 代、60 代では「治安がよく安心した生活」が、70 代以上では「群馬の歴史文化への誇り」が最も高くなっています。

【性別】

男性		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	67.5
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.1
3	群馬の歴史文化への誇り	62.1
女性		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	67.0
2	治安がよく安心した生活	65.4
3	群馬の歴史文化への誇り	64.3

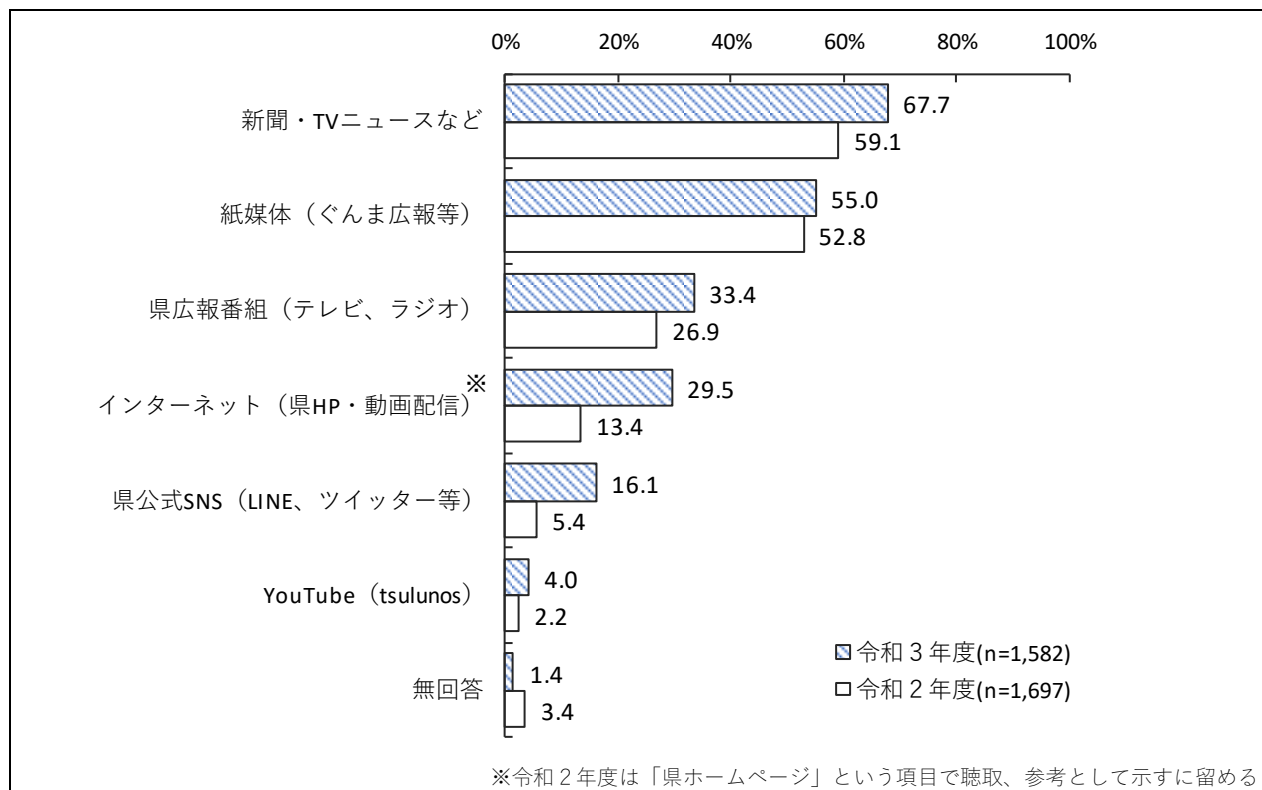
【年代別】

20代以下		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	71.2
2	治安がよく安心した生活	69.6
3	消費者としての安心・安全	64.0
30代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	64.9
2	治安がよく安心した生活	60.0
3	群馬の歴史文化への誇り	57.1
40代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9
2	治安がよく安心した生活	65.3
3	群馬の歴史文化への誇り	63.3
50代		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	67.9
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	67.2
3	群馬の歴史文化への誇り	62.0
60代		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	66.4
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.0
3	群馬の歴史文化への誇り	63.8
70代以上		
順位	項目	充足度
1	群馬の歴史文化への誇り	66.3
2	治安がよく安心した生活	65.8
3	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.2

4. 情報発信について

(1) 県政に関する情報の入手媒体

Q あなたは、県政に関する情報をどのような媒体から入手していますか。あなたの状況にあてはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 情報の入手媒体は「新聞・TVニュースなど」が6割台 —

【全体結果】

県政に関する情報の入手媒体について、「新聞・TVニュースなど」（67.7%）が最も高く6割台、次いで「紙媒体（ぐんま広報等）」（55.0%）となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、「県公式SNS（LINE、ツイッター等）」で10.7ポイント、「新聞・TVニュースなど」で8.6ポイント増加しています。

【属性別結果】

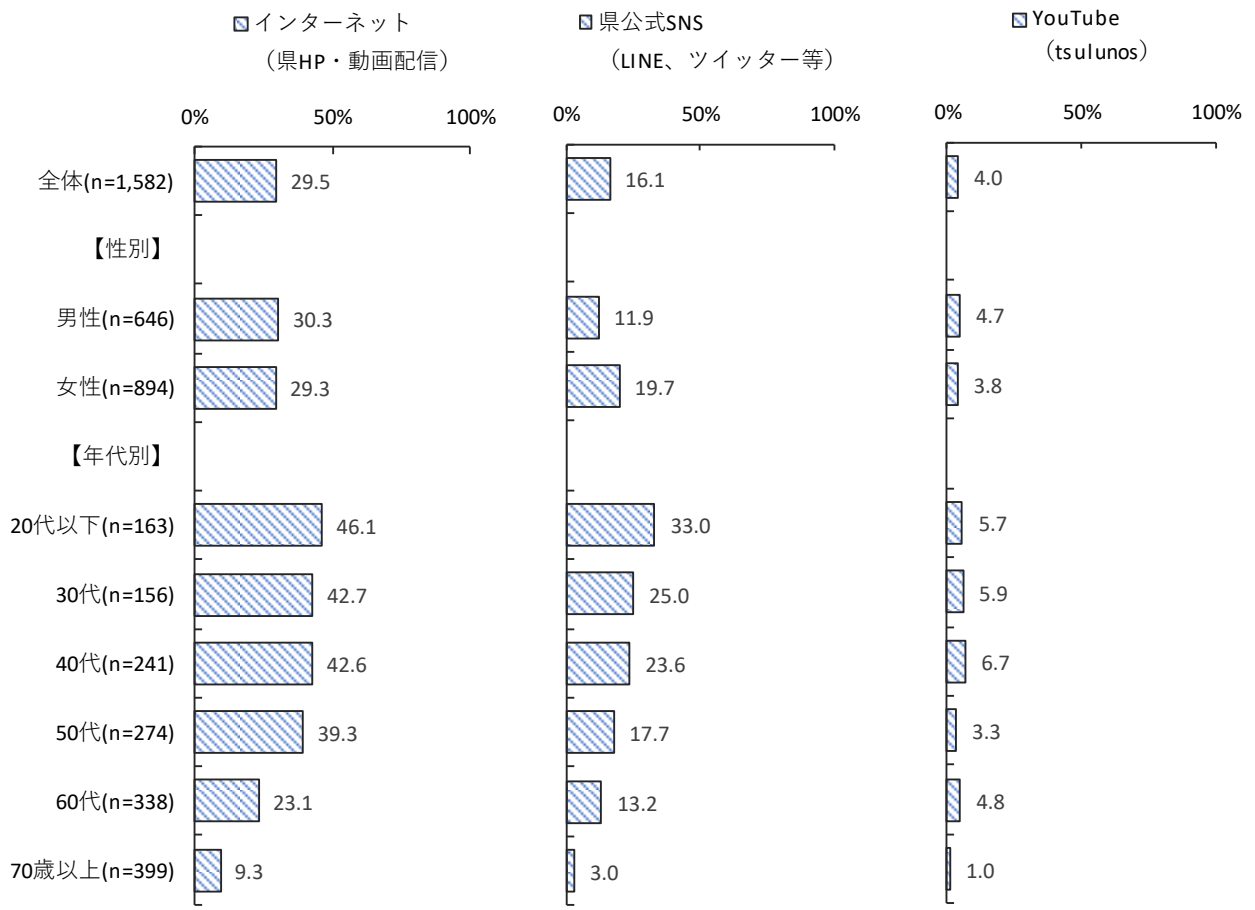
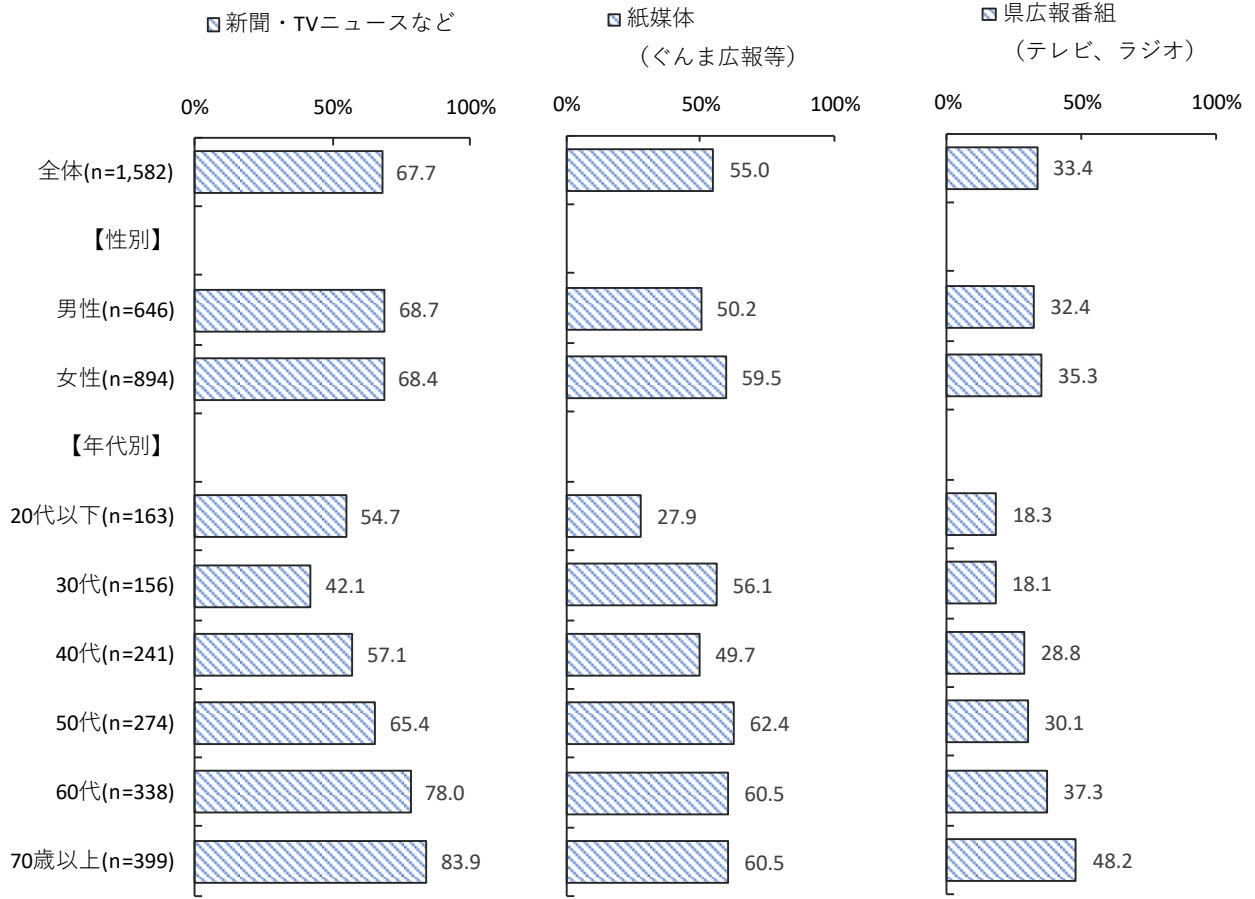
ア 性別

「紙媒体（ぐんま広報等）」、「県公式SNS（LINE、ツイッター等）」では、それぞれ男性（50.2%、11.9%）に比べて女性（59.5%、19.7%）で高くなっています。

イ 年代別

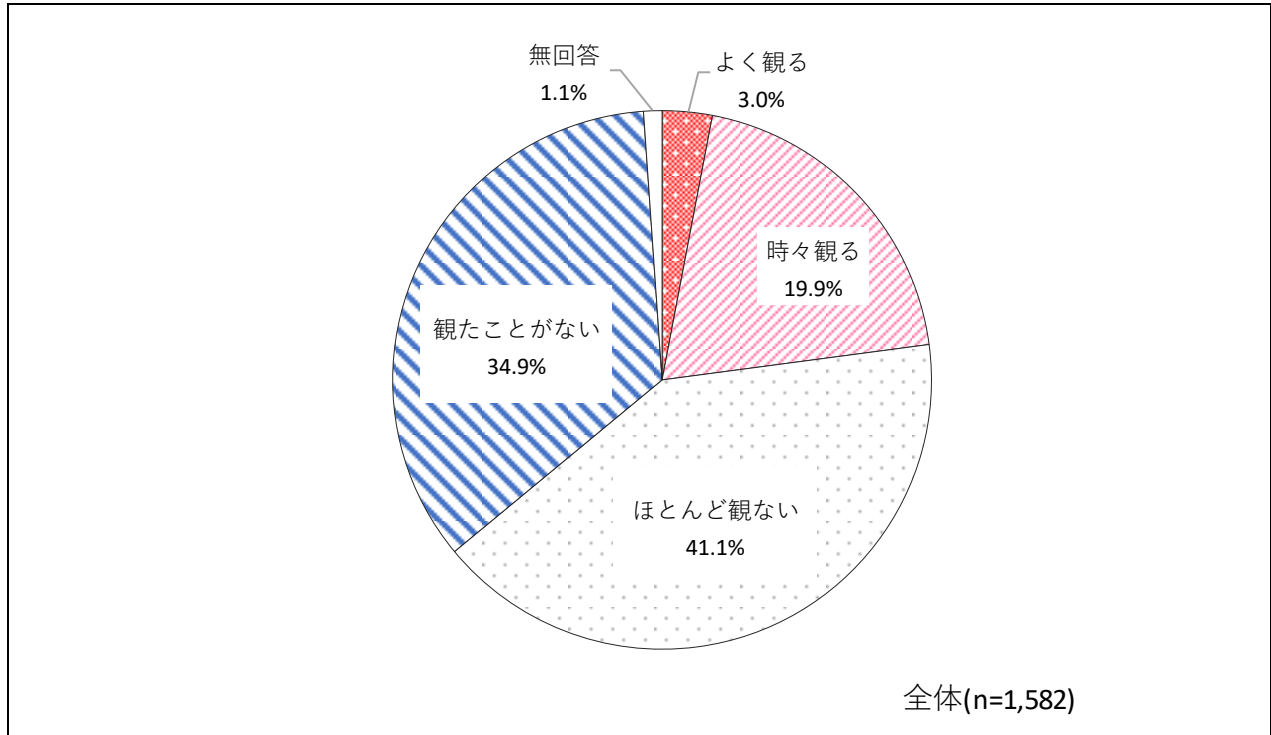
30代では「紙媒体（ぐんま広報等）」（56.1%）が最も高く、それ以外の年代では「新聞・TVニュースなど」が最も高くなっています。

「新聞・TVニュースなど」は、70代以上（83.9%）で最も高く8割台となっています。「紙媒体（ぐんま広報等）」は、20代以下（27.9%）で2割台と低くなっています。「インターネット（県HP・動画配信）」、「県公式SNS（LINE、ツイッター等）」は、ともに20代以下（46.1%、33.0%）で最も高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。



(2) 群馬県制作動画の視聴頻度

Q あなたは、県が制作した動画をどのくらいの頻度で視聴したことがありますか。あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 県が制作した動画を『観る』は2割台 —

【全体結果】

県が制作した動画について、「よく観る」(3.0%)と「時々観る」(19.9%)を合わせた『観る』(23.0%)は2割台となっています。「ほとんど観ない」(41.1%)は4割台となっており、「観たことがない」(34.9%)は3割台となっています。

【前回調査との比較結果】

令和2年度調査と比較すると、『観る』は9.8ポイント増加しています。

「ほとんど観ない」は11.1ポイント増加、「観たことがない」は21.0ポイント減少しています。

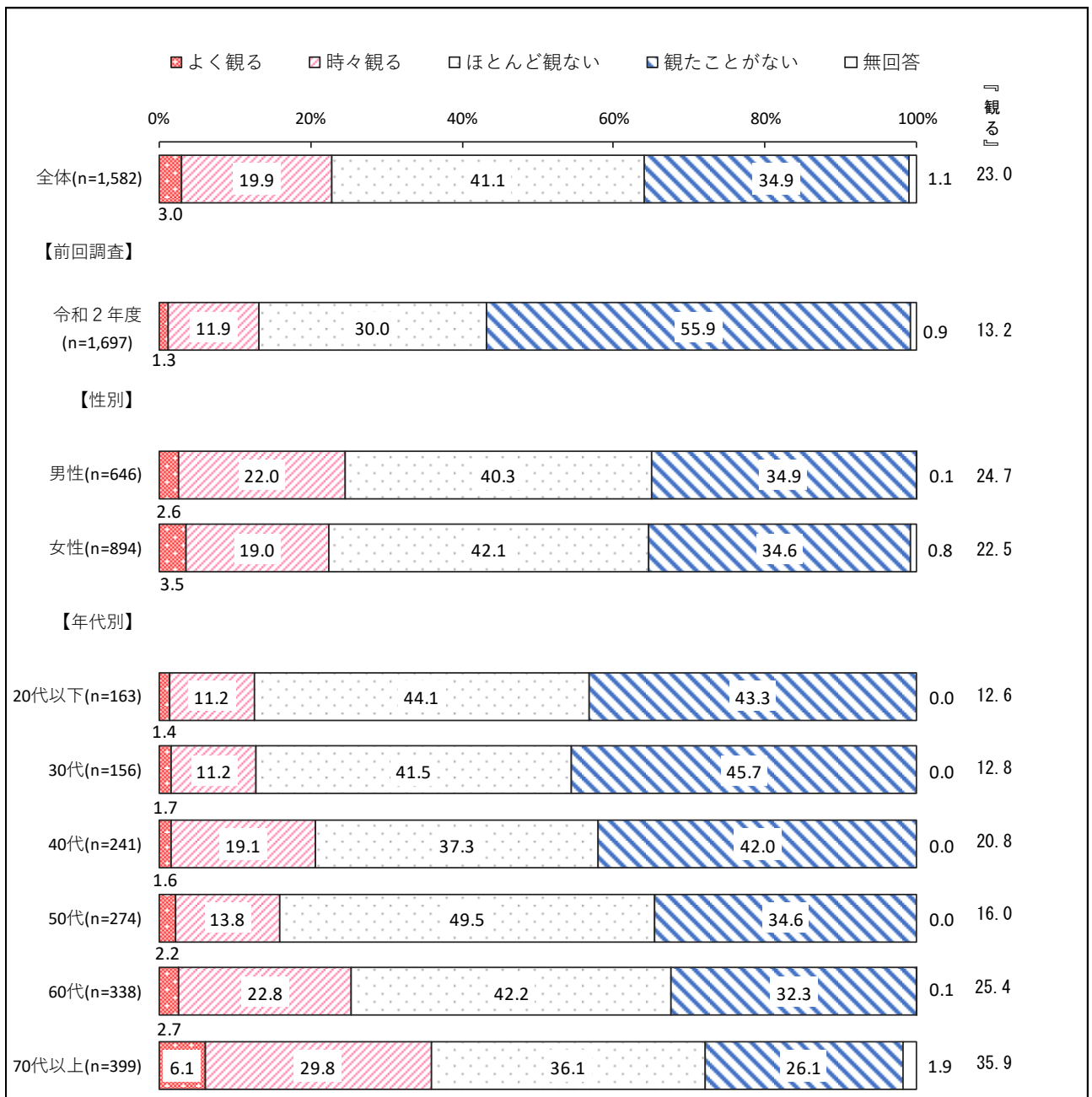
【属性別結果】

ア 性別

性別による大きな差はみられません。

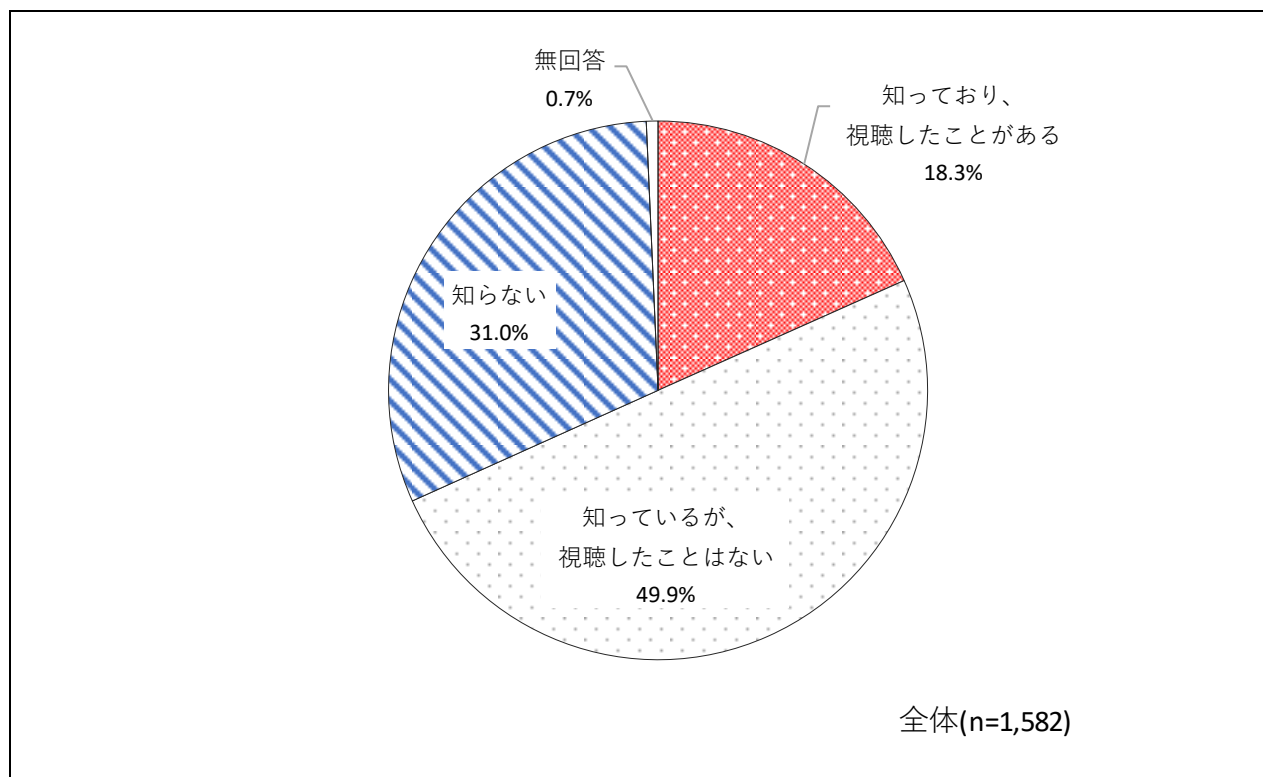
イ 年代別

『観る』は、70代以上(35.9%)で最も高く3割台、30代以下の年代で1割台と低くなっています。「観たことがない」は、40代以下の年代で4割を占め他の年代と比べて高くなっています。



(3) アニメ「ぐんまちゃん」の認知度・視聴状況

Q あなたは、群馬県が県のマスコットぐんまちゃんのアニメをテレビや動画配信サービスで放送・配信していることを知っていますか。あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— アニメ「ぐんまちゃん」を『知っている』は6割以上 —

【全体結果】

アニメ「ぐんまちゃん」について、「知っており、視聴したことがある」(18.3%)は1割台となっています。「知っているが、視聴したことはない」(49.9%)と合わせた『知っている』(68.2%)は6割以上となっています。「知らない」(31.0%)は3割台となっています。

【属性別結果】

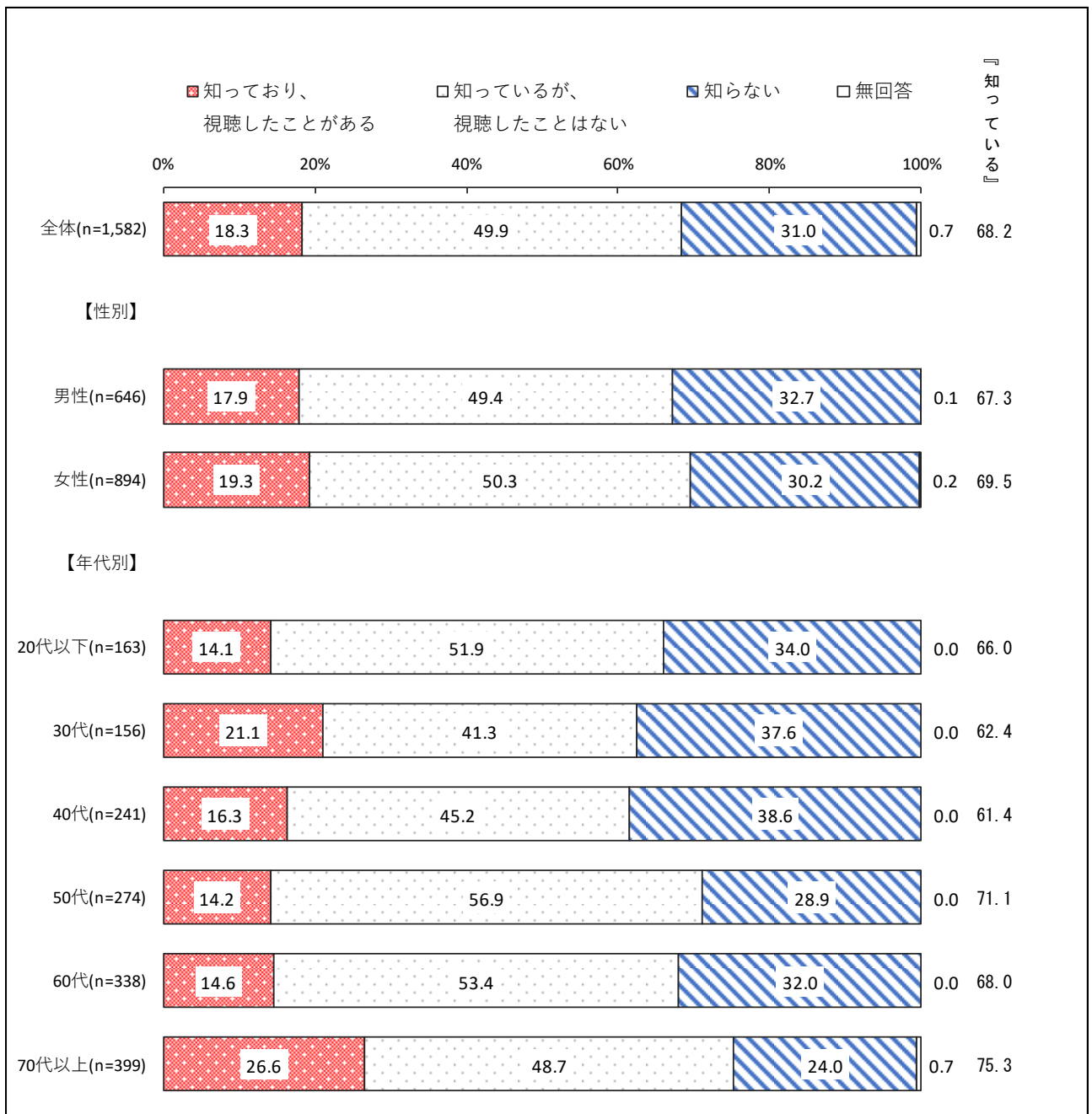
ア 性別

性別による大きな差はみられません。

イ 年代別

『知っている』は、70代以上(75.3%)で最も高く、70代以上、50代(71.1%)で7割以上となっています。

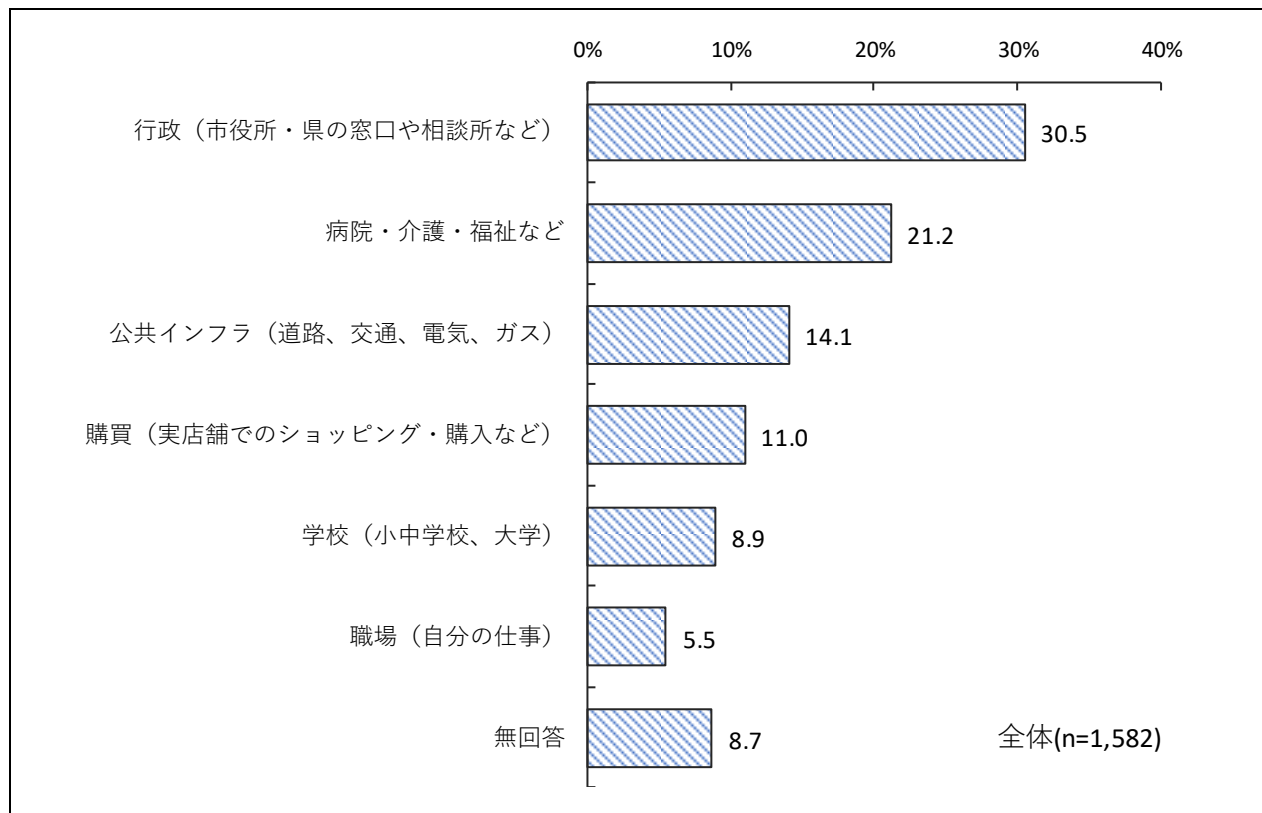
「知っており、視聴したことがある」は、70代以上(26.6%)、30代(21.1%)で2割台と他の年代と比べて高く、「知っているが、視聴したことはない」は、50代(56.9%)でやや高くなっています。



5. デジタルトランスフォーメーション（DX）について

(1) デジタル化の推進意向

Q あなたは、今後、生活や仕事などのようなシーンでデジタル化が進んでほしいと思いますか。あなたが特にデジタル化が進んでほしいと思うものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）



— デジタル化の推進意向は、「行政（市役所・県の窓口や相談所など）」が約3割 —

【全体結果】

デジタル化の推進意向について、「行政（市役所・県の窓口や相談所など）」（30.5%）が最も高く約3割、次いで「病院・介護・福祉など」（21.2%）、「公共インフラ（道路、交通、電気、ガス）」（14.1%）となっています。

【属性別結果】

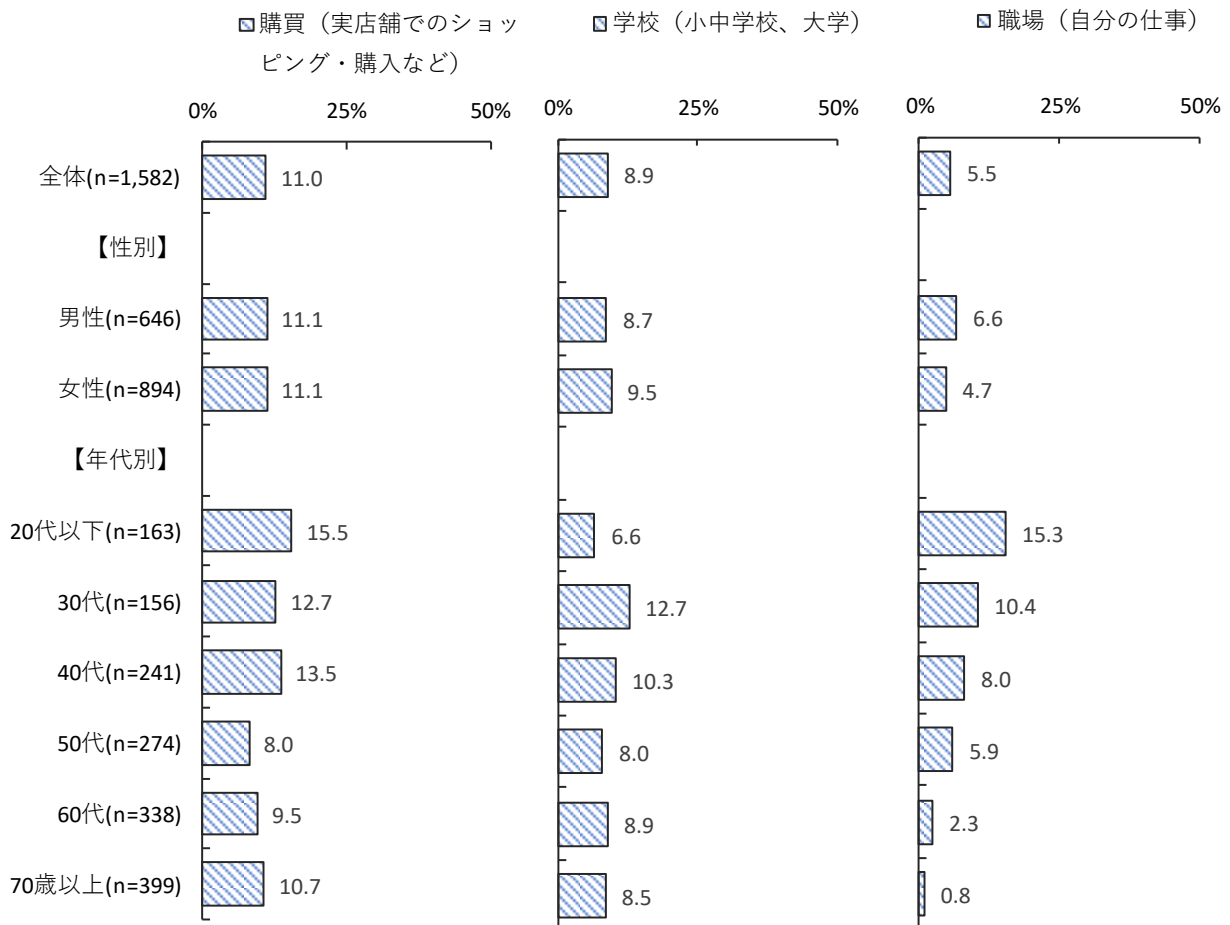
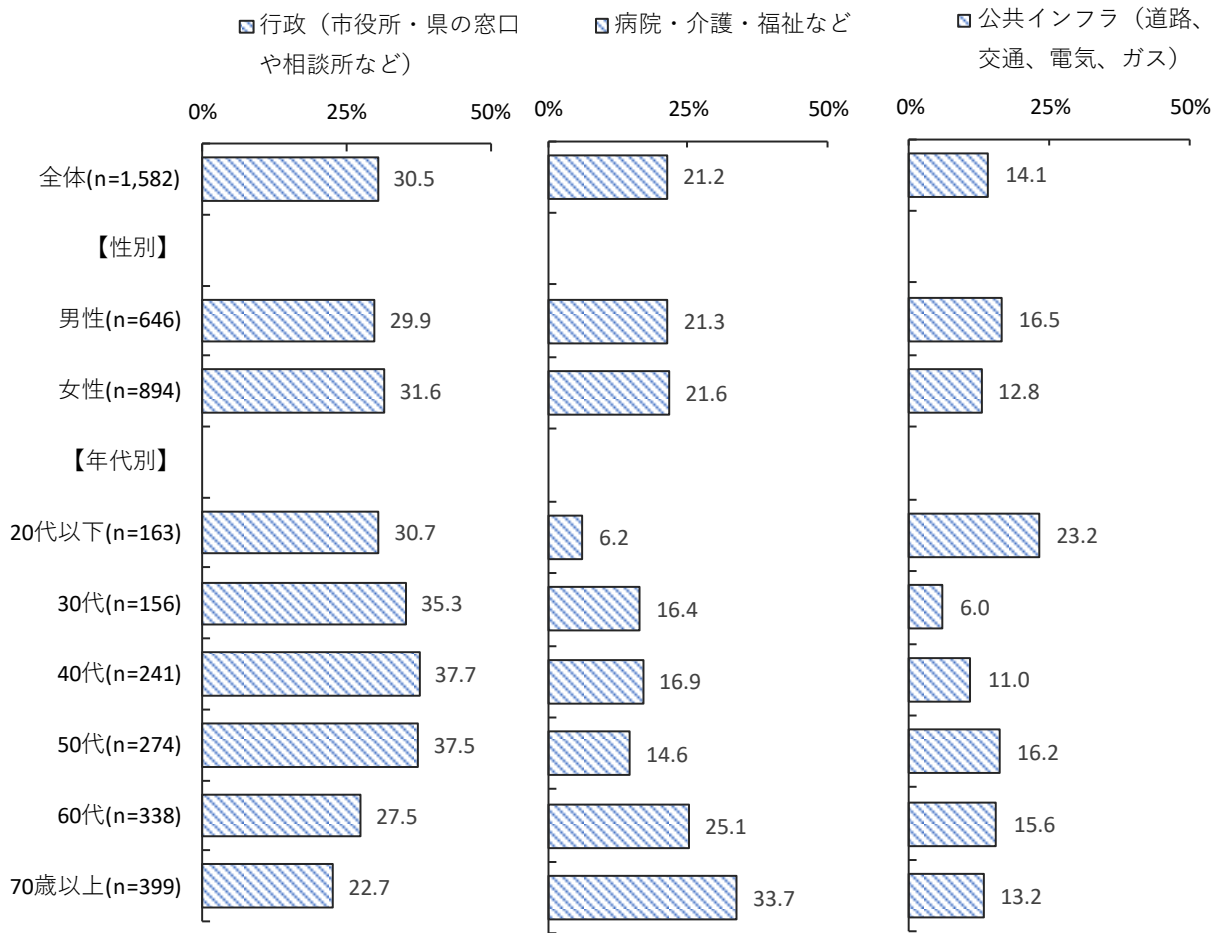
ア 性別

「公共インフラ（道路、交通、電気、ガス）」、「職場（自分の仕事）」は、それぞれ女性（12.8%、4.7%）に比べて男性（16.5%、6.6%）でやや高くなっています。

イ 年代別

70代以上では、「病院・介護・福祉など」（33.7%）が3割台で最も高く、それ以外の年代では、「行政（市役所・県の窓口や相談所など）」が最も高くなっています。

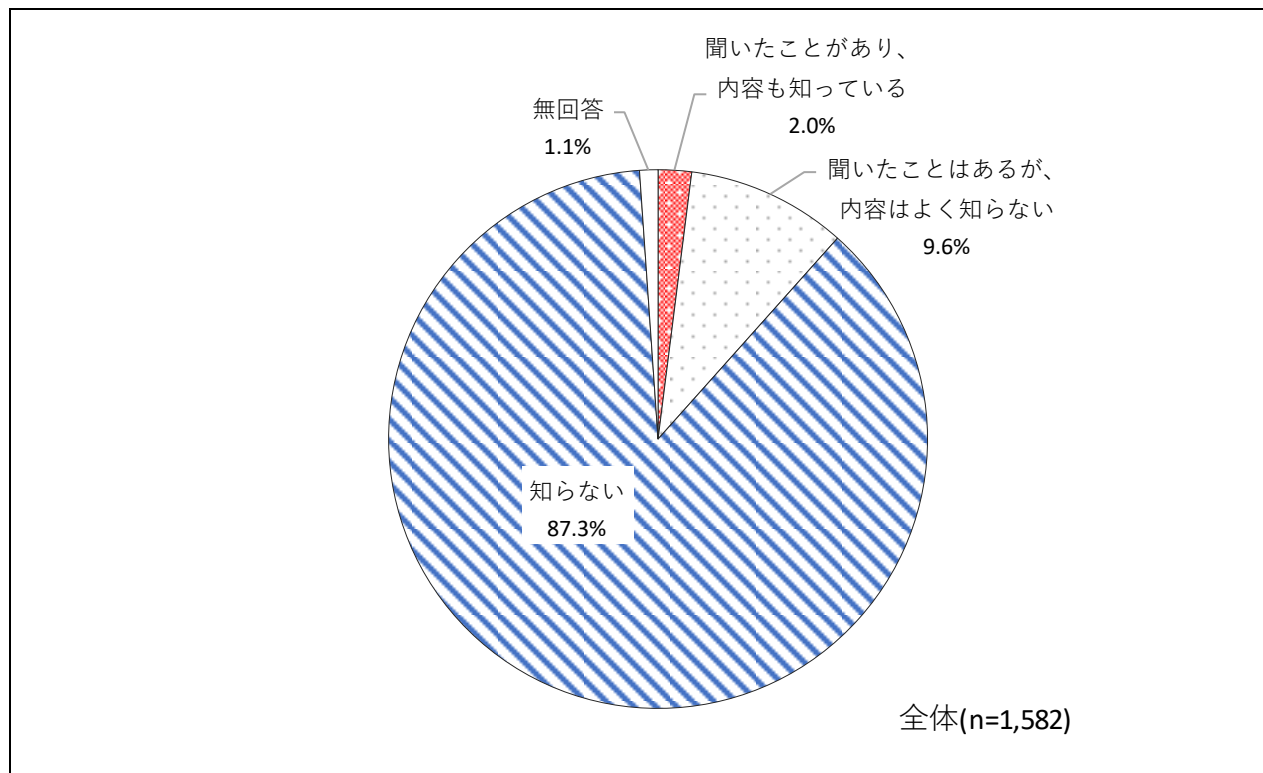
「公共インフラ（道路、交通、電気、ガス）」は、20代以下（23.2%）で2割台、「職場（自分の仕事）」は20代以下（15.3%）で1割半ばと、他の年代と比べて高くなっています。



6. 新・群馬県総合計画について

(1) 『始動人』の認知度

Q あなたは、県が策定した新・総合計画「ビジョン」のキーワードとしている『始動人(しどうじん)』を聞いたことがありますか。あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『始動人』を「知らない」が8割以上 —

【全体結果】

『始動人』の認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」(2.0%)は1割未満となっています。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(9.6%)と合わせた『聞いたことがある』(11.6%)は1割台となっており、「知らない」(87.3%)は8割以上となっています。

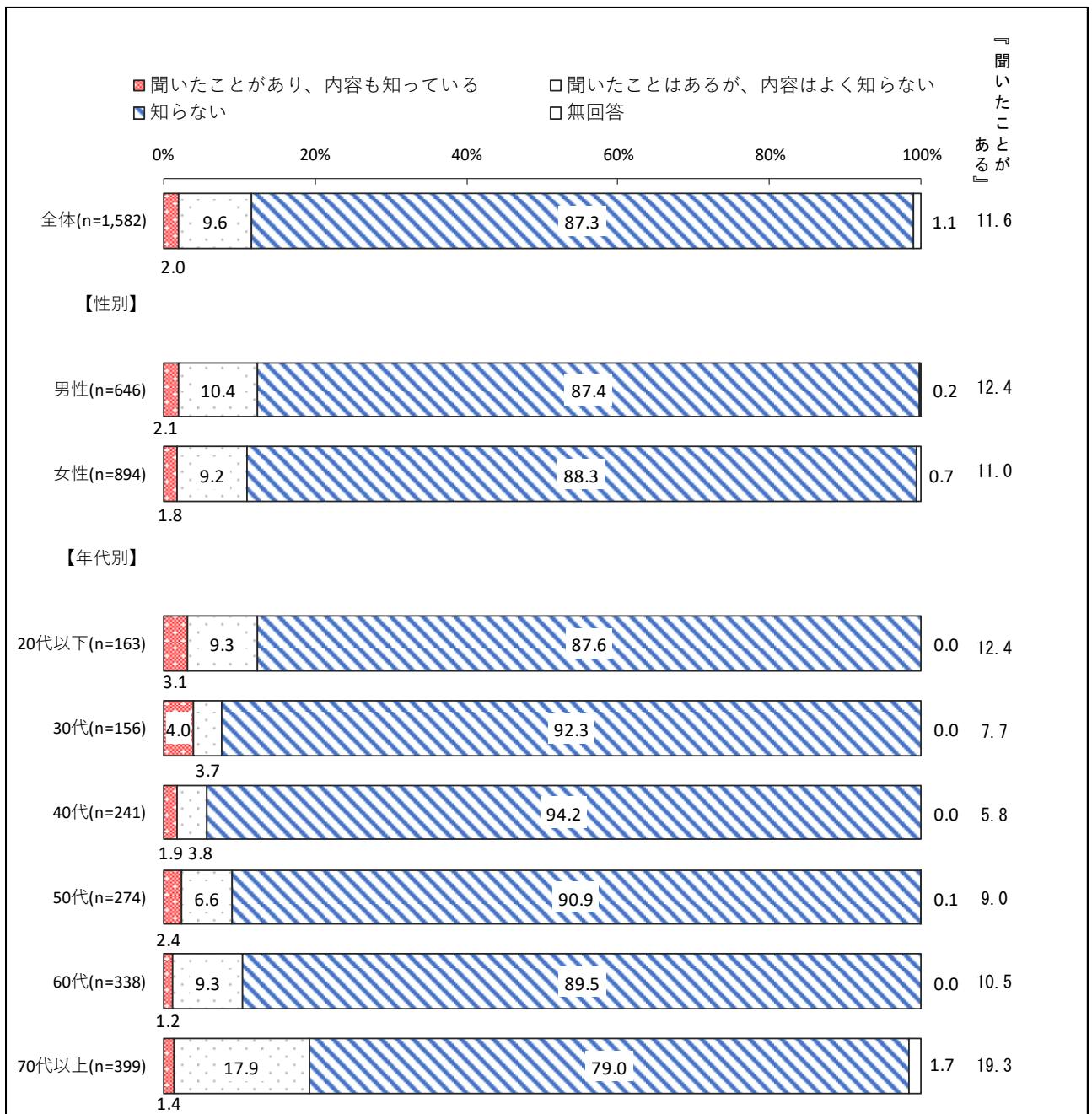
【属性別結果】

ア 性別

性別による大きな差はみられません。

イ 年代別

「聞いたことがあり、内容も知っている」は、すべての年代で1割未満となっています。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は70代以上(17.9%)で他の年代と比べて高くなっています。



(付) 調査票

あなたの声をお聞かせください ～ 令和3年度 県民幸福度アンケート ～



〈 ご記入前にお読みください 〉

- 1 **あて名のご本人**がお答えください。（代筆による回答も可能です。）
- 2 次のいずれかの方法でお答えください。

▼調査票に記入して回答する場合

- あてはまる回答番号に○をつけてください。
- ○をつける回答数は各設問の（ ）内の表記をご参照ください。
- 調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月24日（金）**までに投函してください。

▼インターネット用回答ページから回答する場合

- パソコン、スマートフォン、タブレットを使い、次のいずれかの方法でアクセスしてください。
 - ① 下図のQRコードを読み込む。



- ② 直接、次のURLを入力する。

https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=5740

- **12月24日（金）**までに送信してください。

この調査についてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

群馬県 知事戦略部 戦略企画課 総合計画・EBPM推進室 計画・EBPM係
電話：027-226-2405
メール：senryakuka@pref.gunma.lg.jp

はじめに、「幸福」に関する考え方などについてお聞きします。

Q1 現在のあなたご自身の気持ちについてお答えください。

次の1～14の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
1 健康状況	5	4	3	2	1
2 家計の状況(所得)	5	4	3	2	1
3 就業状況(仕事の有無・安定)	5	4	3	2	1
4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)	5	4	3	2	1
5 地域の治安・防災体制	5	4	3	2	1
6 地域の自然・歴史・文化	5	4	3	2	1
7 家族関係	5	4	3	2	1
8 友人関係	5	4	3	2	1
9 職場の人間関係	5	4	3	2	1
10 地域コミュニティとの関係	5	4	3	2	1
11 精神的なゆとり	5	4	3	2	1
12 生きがい	5	4	3	2	1
13 仕事の充実度	5	4	3	2	1
14 自由な時間・充実した余暇	5	4	3	2	1

Q2 あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

1 幸せだと感じている
2 やや幸せだと感じている
3 どちらともいえない
4 あまり幸せだと感じていない
5 幸せだと感じていない

Q3 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。
次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。

(○は3つ)

- 1 健康状況
- 2 家計の状況(所得)
- 3 就業状況(仕事の有無・安定)
- 4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)
- 5 地域の治安・防災体制
- 6 地域の自然・歴史・文化
- 7 家族関係
- 8 友人関係
- 9 職場の人間関係
- 10 地域コミュニティとの関係
- 11 精神的なゆとり
- 12 生きがい
- 13 仕事の充実度
- 14 自由な時間・充実した余暇
- 15 その他〔具体的に： 〕

Q4 10年後のあなたを想像してお答えください。

10年後のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に、重視するだろうと考えられる事項は何ですか。
次の1～15の中から、特に重視するだろうと考えられるものを3つ選び、番号に○をつけてください。

(○は3つ)

- 1 健康状況
- 2 家計の状況(所得)
- 3 就業状況(仕事の有無・安定)
- 4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)
- 5 地域の治安・防災体制
- 6 地域の自然・歴史・文化
- 7 家族関係
- 8 友人関係
- 9 職場の人間関係
- 10 地域コミュニティとの関係
- 11 精神的なゆとり
- 12 生きがい
- 13 仕事の充実度
- 14 自由な時間・充実した余暇
- 15 その他〔具体的に： 〕

次に、あなたの『群馬県に対する気持ち』をお聞きます。

Q5 あなたが思う「群馬県のよいところ」はどのようなところですか。
次の1～18の中から、該当するすべての番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

《 生活・暮らし 》

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 自然や水が豊かであること | 4 高齢になっても住みやすい環境であること |
| 2 交通網が発達し日本各地へのアクセスがよいこと | 5 物価が安いこと |
| 3 都心部へのアクセスが便利なこと | 6 余暇を楽しむ施設が充実していること |

《 安心・安全・子育て 》

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 7 医療体制が充実していること | 10 教育環境(教育機関・博物館など)が充実していること |
| 8 災害が少なく安心して暮らせること | 11 進学や就職時に選択肢が豊富にあること |
| 9 子育てしやすい環境であること | |

《 文化・魅力 》

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 12 国宝や歴史遺産などの文化財が多いこと | 16 地元産の食材が豊富であること |
| 13 誇れる温泉があること | 17 群馬出身の有名な・著名人が様々な分野で活躍していること |
| 14 有名な観光地があること | 18 メディアで取り上げられる回数が多いこと |
| 15 誇れる土産物や特産物があること | |

Q6 あなたは、群馬県のことを誇りに思っていますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|----------------|
| 1 誇りに思っている |
| 2 やや誇りに思っている |
| 3 どちらともいえない |
| 4 あまり誇りに思っていない |
| 5 誇りに思っていない |

Q7 あなたは、今後も群馬県に住み続けたいと思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|---------------------|
| 1 住み続けたい |
| 2 やや住み続けたい |
| 3 どちらともいえない/こだわりはない |
| 4 あまり住み続けたくない |
| 5 住み続けたくない |

続いて、お住まいの市町村や地域、社会の状況について、あなた自身の実感をお聞きます。

Q8 次の1～40の質問について、あなたの実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない

「生活・くらし」について、9項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

1	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境があると感じますか	5	4	3	2	1
2	移住者を受け入れる土壌があると感じますか	5	4	3	2	1
3	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できていると感じますか	5	4	3	2	1
4	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会であると感じますか	5	4	3	2	1
5	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっていると感じますか	5	4	3	2	1
6	鉄道・バスなどの公共交通機関が利用しやすいと感じますか	5	4	3	2	1
7	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間が整備されていると感じますか	5	4	3	2	1
8	地球温暖化防止のため再生可能エネルギー(太陽光発電や水力発電など)の普及や利活用がされていると感じますか	5	4	3	2	1
9	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動(期限が近い商品の購入など)が定着していると感じますか	5	4	3	2	1

「子育て・教育」について、4項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

10	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
11	子育てをしながら働き続けられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
12	子どもたちが自分の頭で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育がされていると感じますか	5	4	3	2	1
13	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組がされていると感じますか	5	4	3	2	1

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない

「健康・医療・福祉」について、6項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

14	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
15	自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか	5	4	3	2	1
16	必要な医療サービス（在宅医療なども含む）を受けられる体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
17	救急医療体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
18	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境があると感じますか	5	4	3	2	1
19	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

「産業」について、7項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

20	群馬県産の農林水産物がブランドとして評価され、県内外に販路が拡大していると感じますか	5	4	3	2	1
21	群馬県では、農林水産業の担い手の確保・育成が十分に行われていると感じますか	5	4	3	2	1
22	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われていると感じますか	5	4	3	2	1
23	群馬県では、森林の管理や利用が適切にされていると感じますか	5	4	3	2	1
24	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事があると感じますか	5	4	3	2	1
25	群馬県内の企業や職場では、働きやすい職場環境が整備されていると感じますか	5	4	3	2	1
26	群馬県では、新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。				
感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない

「安心・安全」について、6項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

27	消費者としての安心・安全が図られていると感じますか	5	4	3	2	1
28	治安がよく安心して生活できると感じますか	5	4	3	2	1
29	交通事故が少なく安全に生活できると感じますか	5	4	3	2	1
30	群馬県では、安心・安全な食品・農畜産物が提供されていると感じますか	5	4	3	2	1
31	地震、豪雨、暴風、火山噴火などの自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策が進んでいると感じますか	5	4	3	2	1
32	災害時に必要な情報提供を受けられる体制が整っていると感じますか	5	4	3	2	1

「文化・スポーツ」について、5項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

33	運動やスポーツに取り組むことができる環境が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
34	運動やスポーツを観戦する機会が充実していると感じますか	5	4	3	2	1
35	群馬の歴史文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1
36	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場が整っていると感じますか	5	4	3	2	1
37	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合って暮らすことができていると感じますか	5	4	3	2	1

「魅力・発信」について、3項目おたずねします。(○はそれぞれ1つ)

38	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められていると感じますか	5	4	3	2	1
39	群馬県では、魅力ある観光地づくりが進んでいると感じますか	5	4	3	2	1
40	群馬県には、海外からの観光客にとって魅力的だと思える観光地があると感じますか	5	4	3	2	1

群馬県では、情報発信に力を入れています。

Q9 あなたは、県政に関する情報をどのような媒体から入手していますか。
あなたの状況にあてはまるすべての番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 紙媒体（ぐんま広報等） | 4 県公式SNS（LINE、ツイッター等） |
| 2 インターネット（県HP・動画配信） | 5 YouTube（tsulunos） |
| 3 県広報番組（テレビ、ラジオ） | 6 新聞・TVニュースなど |

Q10 あなたは、県が制作した動画をどのくらいの頻度で視聴したことがありますか。
あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|-----------|
| 1 よく観る |
| 2 時々観る |
| 3 ほとんど観ない |
| 4 観たことがない |

Q11 あなたは、群馬県が県のマスコットぐんまちゃんのアニメをテレビや動画配信サービスで放送・配信していることを知っていますか。あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|--------------------|
| 1 知っており、視聴したことがある |
| 2 知っているが、視聴したことはない |
| 3 知らない |

群馬県では、行政・産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を集中的に推進し、2023年に日本最先端クラスのデジタル県となることを目指しています。

※デジタルトランスフォーメーション（DX）：ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させること

Q12 あなたは、今後、生活や仕事等どのようなシーンでデジタル化が進んでほしいと思いますか。
あなたが特にデジタル化が進んでほしいと思うものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1 購買（実店舗でのショッピング・購入など） |
| 2 公共インフラ（道路、交通、電気、ガス） |
| 3 学校（小中学校、大学） |
| 4 職場（自分の仕事） |
| 5 病院・介護・福祉など |
| 6 行政（市役所・県の窓口や相談所など） |

群馬県では、2040年を目指す姿を描く「ビジョン」と、これを踏まえて、今後10年間に重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「基本計画」の2つをあわせた、新たな総合計画（新・群馬県総合計画）を策定しました。

Q13 あなたは、県が策定した新・総合計画「ビジョン」のキーワードとしている『始動人(しどうじん)』を聞いたことがありますか。
あなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2 | 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 3 | 知らない |

最後に、あなたご自身の現在のことについてお答えください。

これまでお答えいただいた内容を統計的に分析するために、以下のような情報が必要です。
本アンケートは無記名回答であり、個人が特定されることは一切ありません。
ご協力をお願いいたします。

Q14 あなたの性別をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|----|---|--------|
| 1 | 男性 | 3 | その他 |
| 2 | 女性 | 4 | 答えたくない |

Q15 あなたの年齢をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | | | | | | |
|---|--------|----|--------|----|--------|
| 1 | 18～19歳 | 6 | 40～44歳 | 11 | 65～69歳 |
| 2 | 20～24歳 | 7 | 45～49歳 | 12 | 70～74歳 |
| 3 | 25～29歳 | 8 | 50～54歳 | 13 | 75～79歳 |
| 4 | 30～34歳 | 9 | 55～59歳 | 14 | 80歳以上 |
| 5 | 35～39歳 | 10 | 60～64歳 | | |

Q16 あなたの主な職業をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------------|
| 1 | 自営業・自由業(家族従事者も含む) | 6 | 非正規雇用者(パートタイム勤務) |
| 2 | 会社役員・団体役員 | 7 | 無職(専業主婦・主夫、退職者含む) |
| 3 | 正規雇用者(フルタイム勤務) | 8 | 学生(アルバイトをしている人も含む) |
| 4 | 正規雇用者(パートタイム勤務) | 9 | その他 |
| 5 | 非正規雇用者(フルタイム勤務) | | |

Q17 あなたのお住まいの市町村名をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

県央 エリア	1	前橋市	利根 沼田 エリア	16	沼田市
	2	伊勢崎市		17	片品村
	3	渋川市		18	川場村
	4	榛東村		19	昭和村
	5	吉岡町		20	みなかみ町
	6	玉村町		21	中之条町
西部 エリア	7	高崎市	吾妻 エリア	22	長野原町
	8	藤岡市		23	嬬恋村
	9	富岡市		24	草津町
	10	安中市		25	高山村
	11	上野村		26	東吾妻町
	12	神流町		27	桐生市
	13	下仁田町	東部 エリア	28	太田市
	14	南牧村		29	館林市
	15	甘楽町		30	みどり市
			31	板倉町	
			32	明和町	
			33	千代田町	
			34	大泉町	
			35	邑楽町	

Q18 あなたは、群馬県外で暮らしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- 1 生まれてからずっと群馬県に住んでいる
- 2 群馬県で生まれ、県外に転出したが、再び転入してきた
- 3 県外で生まれたが、群馬県に転入してきた
- 4 その他

Q19 あなたは群馬県に住んで通算何年になりますか。あてはまるものに○をつけてください。

(※通算：転出した期間の前後を合算した期間)

(○は1つだけ)

- 1 1年未満
- 2 1～5年未満
- 3 5～10年未満
- 4 10～20年未満
- 5 20年以上

Q20 あなたの世帯構成をお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

- 1 単身世帯（ひとり暮らしなど）
- 2 1世代世帯（夫婦のみなど）
- 3 2世代世帯（親と子など）
- 4 3世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他

Q21 あなたの世帯全体の年間収入（税込み、ボーナスも含む）はどのくらいですか。
あてはまるものに○をつけてください。

（○は1つだけ）

1 100万円未満	5 600万～800万円未満
2 100万～200万円未満	6 800万～1,000万円未満
3 200万～400万円未満	7 1,000万円以上
4 400万～600万円未満	8 わからない

Q22 あなたは結婚（事実婚含む）していらっしゃいますか。あてはまるものに○をつけてください。

（○は1つだけ）

1 未婚（結婚したことはない）
2 既婚・配偶者あり（現在、夫または妻がいる）
3 既婚・死別（結婚したことはあるが、死別した）
4 既婚・離別（結婚したことはあるが、離別した）

Q23 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか（同居・別居は問いません）。
次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 小学校入学前（乳幼児含む）
2 小学生
3 中学生
4 高校生
5 専門学校、短大、大学、大学院に在学
6 学校教育終了で同居
7 学校教育終了で別居
8 その他
9 子どもはいない

アンケートは以上で終わりです。最後までご協力いただきありがとうございました。

この調査用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月24日（金）**までに郵便ポストに投函してください。

（インターネットでご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。）

ご回答いただいた内容については統計的に分析し、県政運営のための貴重な資料として活用させていただきます。

アンケート結果は令和4年6月頃に、県ホームページにて公表する予定です。

令和5年3月

群馬県 知事戦略部 戦略企画課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

MAIL keikaku@pref.gunma.lg.jp